

令和 7 年度

決算に係る主要な施策の成果に関する報告書

館 山 市

目 次

令和7年度決算の概要	1 頁
一般会計決算状況の推移	3 頁
一般会計歳入の構成	4 頁
一般会計歳入歳出 款別決算の状況	6 頁
一般会計歳入 市税決算の状況	8 頁
一般会計歳出 性質別決算の状況	9 頁
特別会計決算状況	11 頁
経常収支比率及び健全化判断比率等の状況	12 頁
市債残高及び基金残高の状況	13 頁
各部門の事業概要（一般会計）	15 頁
各部門の事業概要（特別会計）	86 頁
定額運用基金の運用状況調書	92 頁
目的税（入湯税・都市計画税）の使途に関する説明書	93 頁
森林環境譲与税の使途に関する説明書	95 頁
消費税率引上げ分に係る地方消費税交付金の使途に関する説明書	96 頁
各部門の事業概要（下水道事業会計）	97 頁

令和 7 年 度 決 算 の 概 要

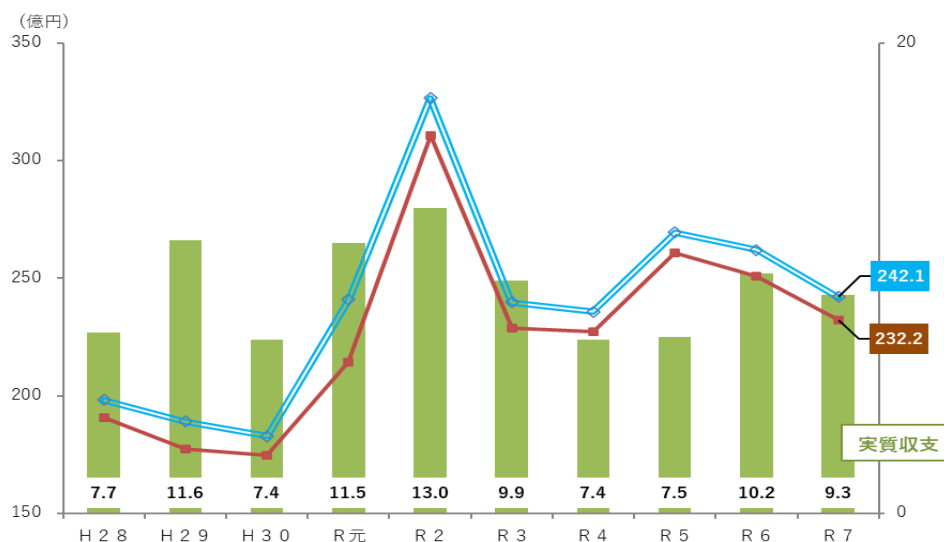
1 一般会計の状況

(1) 決算規模及び収支の状況〔第1表〕

令和7年度における一般会計の決算規模は、歳入総額 242 億 981 万 5 千円（前年度比 19 億 8,781 万 2 千円、7.6%の減）、歳出総額 232 億 2,098 万 7 千円（前年度比 18 億 8,483 万 7 千円、7.5%の減）となり、歳入歳出差引額は 9 億 8,882 万 8 千円で、翌年度への繰越財源 6,097 万 1 千円を差し引いた実質収支は、9 億 2,785 万 7 千円（前年度比 9,177 万円、9.0%の減）となりました。

館山小学校・那古小学校統合改修工事の大規模事業があったものの、館山中学校整備の事業費減少により、過去2年間の決算水準より減額となりました。

一般会計歳入歳出決算額及び実質収支の推移【過去10年】



(2) 歳入決算の特徴〔第2表 第3表 第4表 図-1〕

- 個人市民税の大幅な増加
- 個人市民税の増加による普通交付税の減少
- 館山中学校整備事業費減少による市債の減少

単位 (億円)

種 別	R 7	R 6	増 減
市税	71.5	59.4	12.1
個人市民税	31.4	19.8	11.6
固定資産税	25.4	25.0	0.4
地方譲与税・各種交付金	18.6	19.1	▲ 0.5
利子割・配当割・株式譲渡所得割	1.5	1.3	0.2
地方消費税	12.8	11.9	0.9
地方交付税	46.4	50.7	▲ 4.3
普通交付税	42.8	47.3	▲ 4.5
特別交付税	3.6	3.4	0.2
国・県支出金	50.6	61.8	▲ 11.2
防衛施設周辺防音事業補助金	0.0	9.3	▲ 9.3
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	3.5	8.3	▲ 4.8
繰入金	14.5	16.9	▲ 2.4
館山市財政調整基金繰入金	6.2	8.7	▲ 2.5
前澤友作館山応援基金繰入金	3.4	0.7	2.7
市 債	15.2	30.1	▲ 14.9
学校教育施設等整備事業債	11.4	21.5	▲ 10.1
防災施設整備事業債	0.2	1.2	▲ 1.0

(3) 歳出決算の特徴〔第 3 表 第 5 表 図 - II 〕

単位 (億円)

款 (目的)	R 7	R 6	増 減	増 減
② 総務費	32.4	25.5	6.9	減債基金積立金 +6.0 ふるさと納税費 +0.5
③ 民生費	91.3	92.1	▲ 0.8	障害介護給付費 +1.0 認定こども園整備事業 ▲4.6 児童手当費 +1.2
④ 衛生費	20.3	20.9	▲ 0.6	予防接種委託料 ▲0.5
⑥ 農林水産業費	3.7	4.9	▲ 1.2	食のまちづくり拠点施設改修費 ▲0.6 農用地総合整備事業負担金 ▲0.5
⑦ 商工費	4.7	5.7	▲ 1.0	重点支援地方交付金事業 ▲0.7
⑧ 土木費	12.8	15.3	▲ 2.5	道路新設改良工事 ▲0.7 船形館山線道路整備事業 ▲0.5
⑨ 消防費	12.2	13.0	▲ 0.8	防災行政無線更新工事 ▲0.9
⑩ 教育費	32.6	52.4	▲ 19.8	館山中学校整備事業 ▲27.8 小学校統合改修工事 +9.3
⑫ 公債費	17.6	17.4	0.2	市債返済額の増加

(4) 物価高騰対応 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金) にかかる決算状況

単位 (千円)

事業名	充当額	事業名	充当額
低所得者支援及び定額減税を補足する給付	147,837	小学校運営費 (光熱水費)	9,000
令和 6 年度住民税非課税世帯給付金	23,670	中学校運営費 (光熱水費)	8,000
こども加算給付金	1,020	飼料高騰緊急支援給付金	19,640
こども医療費給付金	72,311	私立保育園給食材料費高騰対応支援給付金	4,679
ひとり親家庭等支援事業	6,000	公立保育園給食材料費助成事業	934
多子世帯給食費無償化事業	5,887	公共施設等光熱費	2,487
給食材料購入費	30,000	館山くらし応援商品券事業	20,140

2 その他

- 特別会計の状況〔第 6 表〕
- 経常収支比率及び健全化判断比率等の状況〔図 - III 第 7 表〕
- 市債残高及び基金残高の状況〔図 - IV 図 - V〕

第1表 一般会計決算状況の推移

(単位：千円)

年 度	歳 入	歳 出	差 引 額	翌年度への繰越財源	実 質 収 支	単年度収支
平成18年度	14,798,787	14,375,887	422,900	55,171	367,729	11,692
平成19年度	15,513,073	14,855,889	657,184	87,909	569,275	201,546
平成20年度	16,122,444	15,416,042	706,402	164,926	541,476	△ 27,799
平成21年度	17,843,557	17,169,219	674,338	153,406	520,932	△ 20,544
平成22年度	18,105,675	17,138,285	967,390	86,181	881,209	360,277
平成23年度	17,594,596	16,568,544	1,026,052	73,065	952,987	71,778
平成24年度	18,140,145	17,125,737	1,014,408	73,679	940,729	△ 12,258
平成25年度	18,828,557	17,788,308	1,040,249	186,399	853,850	△ 86,879
平成26年度	18,641,077	17,775,324	865,753	112,914	752,839	△ 101,011
平成27年度	19,834,185	18,712,222	1,121,963	140,350	981,613	228,774
平成28年度	19,834,136	19,056,677	777,459	2,807	774,652	△ 206,961
平成29年度	18,922,564	17,747,046	1,175,518	13,855	1,161,663	387,011
平成30年度	18,275,799	17,478,376	797,423	57,330	740,093	△ 421,570
令和元年度	24,085,660	21,418,571	2,667,089	1,512,991	1,154,098	414,005
令和2年度	32,671,916	31,079,616	1,592,300	292,248	1,300,052	145,954
令和3年度	23,972,870	22,878,835	1,094,035	105,033	989,002	△ 311,050
令和4年度	23,584,306	22,721,034	863,272	127,258	736,014	△ 252,988
令和5年度	26,942,385	26,097,698	844,687	95,625	749,062	13,048
令和6年度	26,197,627	25,105,824	1,091,803	72,176	1,019,627	270,565
令和7年度	24,209,815	23,220,987	988,828	60,971	927,857	△ 91,770

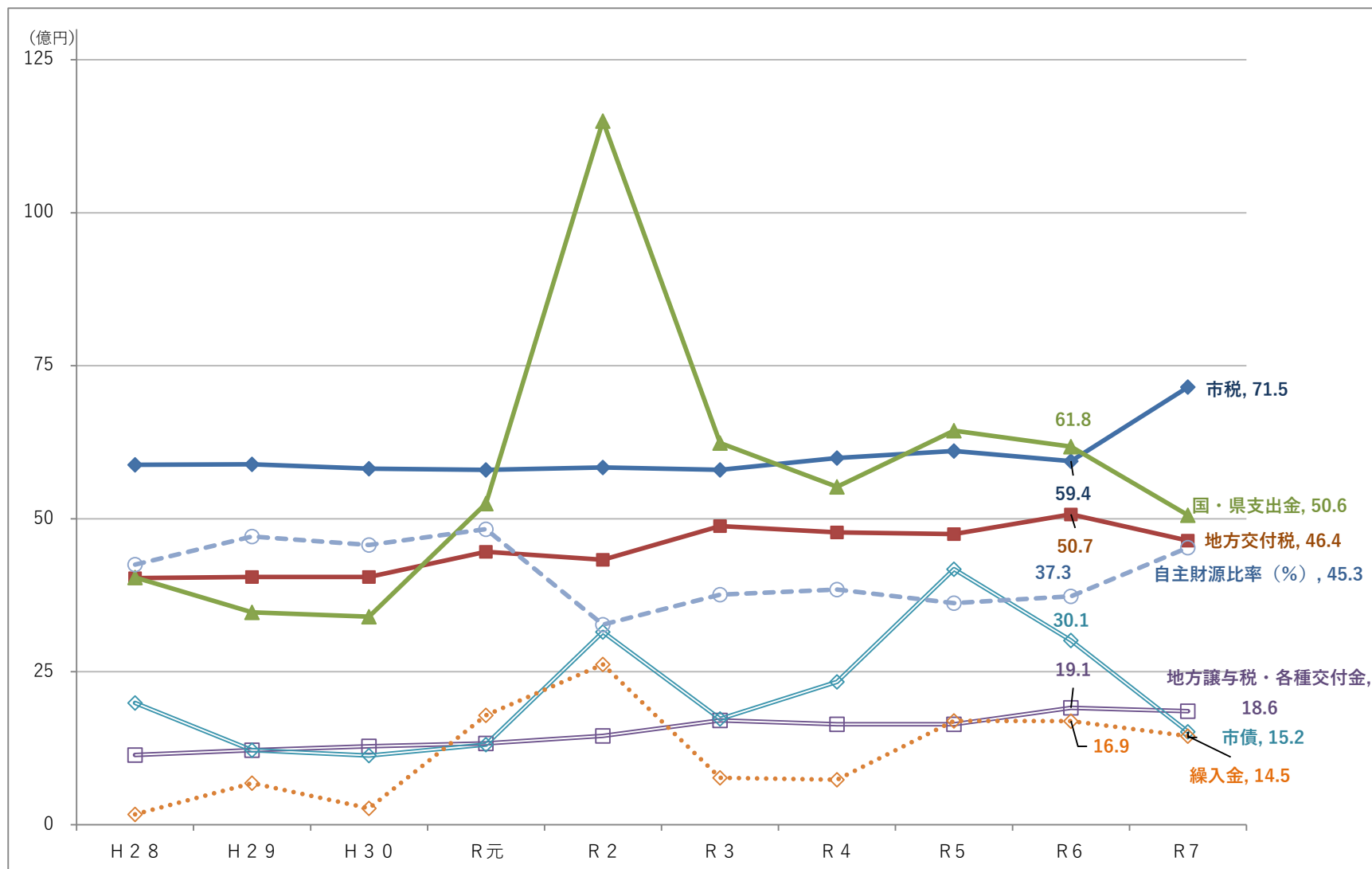
第2表 一般会計歳入の構成

(単位：千円)

区 分		令和7年度			令和6年度		
		決 算 額	構 成 比 %	対前年度比 %	決 算 額	構 成 比 %	対前年度比 %
自主財源	市 税	7,150,359	29.5	120.3	5,941,494	22.7	97.3
	分 担 金 及 び 負 担 金	42,103	0.2	85.2	49,442	0.2	80.7
	使 用 料 及 び 手 数 料	502,209	2.1	94.9	529,035	2.0	98.5
	財 産 収 入	56,150	0.2	257.2	21,831	0.1	46.8
	寄 附 金	756,696	3.1	112.6	671,834	2.6	165.9
	繰 入 金	1,446,380	6.0	85.3	1,694,863	6.5	99.8
	繰 越 金	509,627	2.1	136.2	374,062	1.4	101.9
	諸 収 入	498,898	2.1	100.1	498,425	1.9	92.7
	小 計	10,962,422	45.3	112.1	9,780,986	37.3	100.2
依存財源	地 方 譲 与 税	131,170	0.5	101.4	129,386	0.5	100.7
	利 子 割 交 付 金	9,482	0.0	328.0	2,891	0.0	115.0
	配 当 割 交 付 金	51,616	0.2	105.6	48,866	0.2	136.8
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	85,752	0.4	116.8	73,434	0.3	171.2
	地 方 消 費 税 交 付 金	1,280,883	5.3	108.0	1,186,101	4.5	103.0
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	32,182	0.1	99.2	32,445	0.1	105.5
	法 人 事 業 税 交 付 金	128,361	0.5	106.1	120,969	0.5	110.5
	環 境 性 能 割 交 付 金	24,846	0.1	100.6	24,704	0.1	118.7
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	82,083	0.3	100.4	81,752	0.3	99.4
	地 方 特 例 交 付 金	25,879	0.1	12.6	204,737	0.8	613.2
	地 方 交 付 税	4,642,927	19.2	91.5	5,071,975	19.4	106.8
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,190	0.0	92.6	4,523	0.0	83.7
	国 庫 支 出 金	3,557,556	14.7	72.9	4,877,467	18.6	99.7
	県 支 出 金	1,501,856	6.2	115.3	1,302,348	5.0	84.0
	繰 越 金	72,176	0.3	75.5	95,625	0.4	75.1
	諸 収 入	98,334	0.4	66.2	148,618	0.6	324.8
	市 債	1,518,100	6.3	50.4	3,010,800	11.5	72.1
	小 計	13,247,393	54.7	80.7	16,416,641	62.7	95.5
合 計		24,209,815	100.0	92.4	26,197,627	100.0	97.2

(注) 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入したものです。

図－Ⅰ 歳入決算額の推移（過去10年間／一般会計）



第3表 一般会計歳入歳出 款別決算の状況

1 歳入

(単位：千円)

款 別	予 算 現 額				令和7年度 収入済額 B	予算現額 対比増減 B - A	令和6年度 収入済額 C	前年度比較 B - C	対前年度比 B / C %
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計 A					
1 市 税	6,039,170	836,803	0	6,875,973	7,150,360	274,387	5,941,495	1,208,865	120.3
2 地 方 譲 与 税	127,740	0	0	127,740	131,170	3,430	129,386	1,784	101.4
3 利 子 割 交 付 金	3,500	0	0	3,500	9,482	5,982	2,891	6,591	328.0
4 配 当 割 交 付 金	33,514	0	0	33,514	51,616	18,102	48,866	2,750	105.6
5 株式等譲渡所得割交付金	36,706	0	0	36,706	85,752	49,046	73,434	12,318	116.8
6 地方消費税交付金	1,300,000	0	0	1,300,000	1,280,883	△ 19,117	1,186,101	94,782	108.0
7 ゴルフ場利用税交付金	30,000	0	0	30,000	32,182	2,182	32,445	△ 263	99.2
8 法 人 事 業 税 交 付 金	91,248	0	0	91,248	128,361	37,113	120,969	7,392	106.1
9 環 境 性 能 割 交 付 金	28,000	0	0	28,000	24,846	△ 3,154	24,704	142	100.6
10 国 有 提 供 施 設 等 所在市町村助成交付金	80,000	0	0	80,000	82,083	2,083	81,752	331	100.4
11 地 方 特 例 交 付 金	27,084	0	0	27,084	25,879	△ 1,205	204,737	△ 178,858	12.6
12 地 方 交 付 税	4,800,000	△ 216,907	0	4,583,093	4,642,927	59,834	5,071,975	△ 429,048	91.5
13 交通安全対策特別交付金	5,900	0	0	5,900	4,190	△ 1,710	4,523	△ 333	92.6
14 分 担 金 及 び 負 担 金	54,552	0	0	54,552	42,103	△ 12,449	49,442	△ 7,339	85.2
15 使 用 料 及 び 手 数 料	505,452	0	0	505,452	502,209	△ 3,243	529,035	△ 26,826	94.9
16 国 庫 支 出 金	2,955,684	1,016,355	243,254	4,215,293	3,557,555	△ 657,738	4,877,467	△ 1,319,912	72.9
17 県 支 出 金	1,570,136	45,042	0	1,615,178	1,501,856	△ 113,322	1,302,348	199,508	115.3
18 財 産 収 入	26,765	21,732	0	48,497	56,150	7,653	21,831	34,319	257.2
19 寄 附 金	600,000	65,771	0	665,771	756,696	90,925	671,834	84,862	112.6
20 繰 入 金	1,821,083	△ 374,343	16,608	1,463,348	1,446,380	△ 16,968	1,694,863	△ 248,483	85.3
21 繰 越 金	300,000	209,627	72,176	581,803	581,803	0	469,687	112,116	123.9
22 諸 収 入	550,066	9,726	0	559,792	597,232	37,440	647,042	△ 49,810	92.3
23 市 債	915,400	320,700	798,300	2,034,400	1,518,100	△ 516,300	3,010,800	△ 1,492,700	50.4
合 計	21,902,000	1,934,506	1,130,338	24,966,844	24,209,815	△ 757,029	26,197,627	△ 1,987,812	92.4

2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 現 額					令和7年度 支出済額 B	予算現額 対比増減 B - A	令和6年度 支出済額 C	前年度比較 B - C	対前年度比 B / C %
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越 事業費繰越額	予備費充当	計 A					
1 議 会 費	177,821	△ 815	0	0	177,006	173,284	△ 3,722	176,060	△ 2,776	98.4
2 総 務 費	2,915,054	478,331	3,061	6,214	3,402,660	3,244,025	△ 158,635	2,550,878	693,147	127.2
3 民 生 費	8,616,461	728,318	42,708	591	9,388,078	9,125,573	△ 262,505	9,209,796	△ 84,223	99.1
4 衛 生 費	2,204,145	△ 61,844	0	0	2,142,301	2,025,239	△ 117,062	2,087,003	△ 61,764	97.0
5 労 働 費	15	0	0	0	15	0	△ 15	0	0	-
6 農林水産業費	387,949	17,764	1,900	670	408,283	367,241	△ 41,042	493,521	△ 126,280	74.4
7 商 工 費	460,898	422,019	0	211	883,128	469,222	△ 413,906	566,358	△ 97,136	82.8
8 土 木 費	1,250,046	57,942	123,277	4,627	1,435,892	1,278,081	△ 157,811	1,534,692	△ 256,611	83.3
9 消 防 費	1,277,499	13,254	5,295	21	1,296,069	1,216,232	△ 79,837	1,303,889	△ 87,657	93.3
10 教 育 費	2,483,075	328,450	899,097	107	3,710,729	3,264,035	△ 446,694	5,244,403	△ 1,980,368	62.2
11 災 害 復 旧 費	9,701	0	55,000	0	64,701	41,961	△ 22,740	30,648	11,313	136.9
12 公 債 費	1,784,399	0	0	0	1,784,399	1,759,440	△ 24,959	1,737,685	21,755	101.3
13 諸 支 出 金	304,937	△ 48,913	0	651	256,675	256,654	△ 21	170,891	85,763	150.2
14 予 備 費	30,000	0	0	△ 13,092	16,908	0	△ 16,908	0	0	-
合 計	21,902,000	1,934,506	1,130,338	0	24,966,844	23,220,987	△ 1,745,857	25,105,824	△ 1,884,837	92.5

第4表 一般会計歳入 市税決算の状況 (令和7年度課税分)

区 分			課税標準等	税率	調定額 (円)	徴収率 (%)	決算額 (円)
市民税	個人	均 等 割	24,858人	3,000円	74,574,000	99.0	3,122,056,748
		所 得 割		6.0%	3,077,543,257		
	法人	均 等 割	1,540法人	50千円～ 3,000千円	148,506,200	99.6	324,925,800
		法 人 税 割	6.0%,8.4%(R元.10.1以降)		177,642,700		
	計					3,478,266,157	
固定資産税	土 地		60,886千円	1.4%	844,849,000	98.1	2,515,639,799
	家 屋		99,337千円		1,322,660,100		
	償 却 資 産		28,397千円		397,262,200		
	固有資産等所在 市町村交付金		479,511千円		6,712,600	100.0	6,712,600
	計		668,131千円			2,571,483,900	
軽自動車税 (種別割)	50 c c 以 下		1,948台	2,000円	3,896,000	98.5	178,427,700
	特 定 小 型 原 付		16台	2,000円	32,000		
	50cc 超 90cc 以 下		242台	2,000円	484,000		
	90 c c 超		526台	2,400円	1,262,400		
	ミ ニ カ ー		161台	3,700円	595,700		
	農 耕 用		820台	2,400円	1,968,000		
	軽 2 輪		581台	3,600円	2,091,600		
	軽 3 輪		2台	3,100円～ 4,600円	9,200		
	4 輪乗用自家用		12,972台	7,200円～ 12,900円	138,632,100		
	4 輪乗用営業用		8台	5,500円～ 8,200円	56,300		
	4 輪貨物自家用		5,190台	4,000円～ 6,000円	27,444,600		
	4 輪貨物営業用		73台	3,000円～ 4,500円	276,700		
	2 輪 小 型		618台	6,000円	3,708,000		
	小 型 特 殊		85台	5,900円	501,500		
	ボートトレーラー		35台	3,600円	126,000		
	計		23,277台			181,084,100	
軽自動車税(環境性能割)			1,088台	0.5%～2.0%	11,313,200	100.0	11,313,200

区 分		課税標準等	税率	調定額 (円)	徴収率 (%)	決算額 (円)
市 た ば こ 税		58,996,449本	千本当たり 6,552円	386,544,723	100.0	386,544,723
入湯税	宿 泊 を の 伴 う も の	221,286人	150円	35,553,400	100.0	35,553,400
	宿 泊 を 伴 わ ない も の	47,210人	50円			
都 市 計画税	土 地	78,735千円	0.3%	233,915,300	98.1	516,374,588
	家 屋	99,341千円		292,544,300		
総 計				7,190,705,080		7,097,548,558

市民1人・1世帯当たりの税額表 (現年課税分)

税 目 \ 区 分	令和7年度 決算額(円)	1人当たり 税額(円)	1世帯当たり 税額(円)
市 民 税 (個 人)	3,122,056,748	72,944	134,606
固定資産税 (交付金除く)	2,515,639,799	58,775	108,461
軽自動車税 (種別割)	178,427,700	4,169	7,693
軽自動車税 (環境性能割)	11,313,200	264	488
市 た ば こ 税	386,544,723	9,031	16,666
入 湯 税	35,553,400	831	1,533
都 市 計 画 税	516,374,588	12,065	22,263
合 計	6,765,910,158	158,079	291,710

(注) 令和8年1月1日現在 住基 人口：42,801人 世帯：23,194世帯

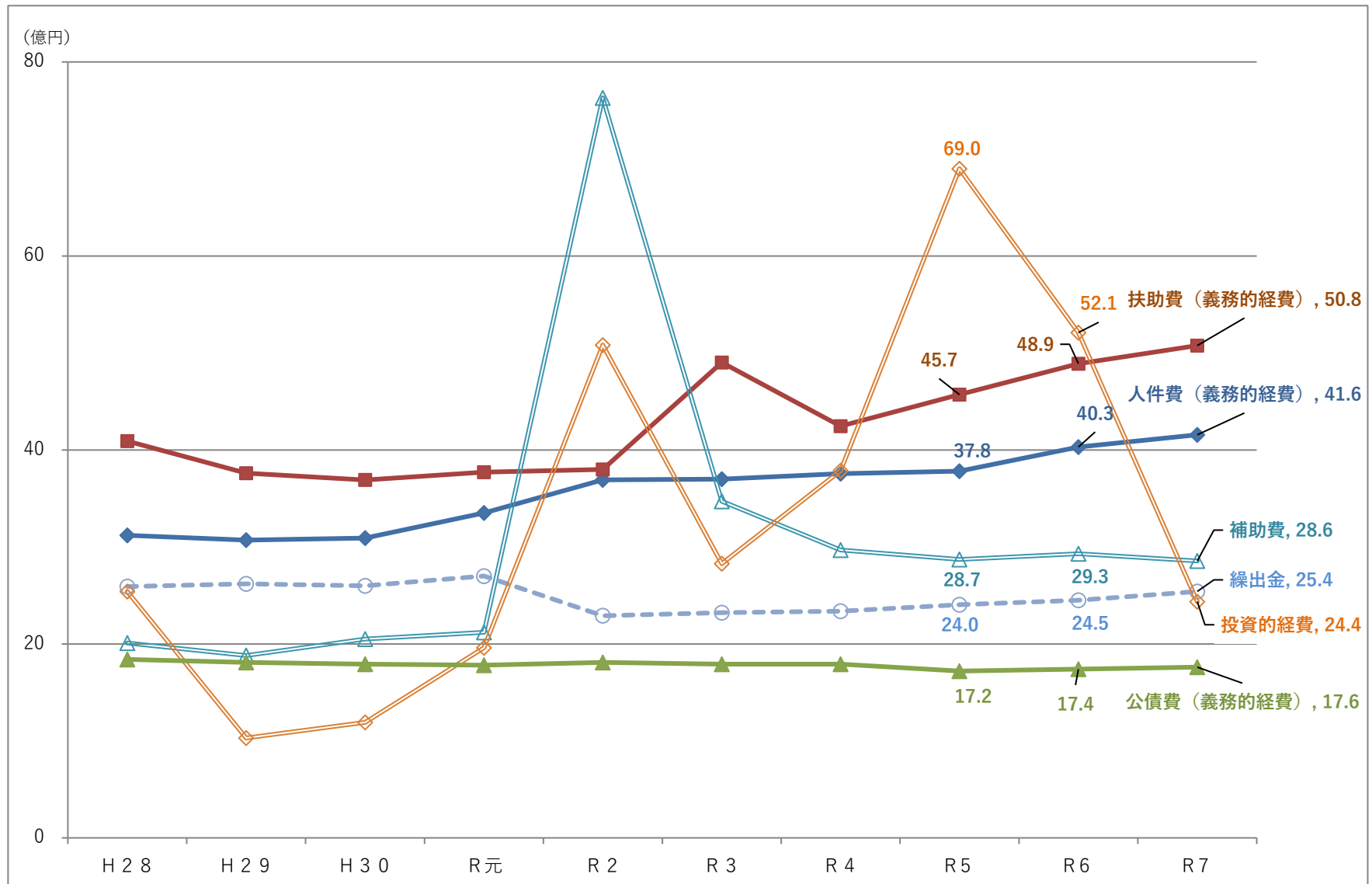
第5表 一般会計歳出 性質別決算の状況

(単位：千円)

区 分	令和7年度		令和6年度		前年度比較	対前年度比 %
	決 算 額	構成比 %	決 算 額	構成比 %		
1 人 件 費	4,156,452	17.9	4,026,721	16.0	129,731	103.2
2 扶 助 費	5,076,055	21.9	4,892,685	19.5	183,370	103.7
3 公 債 費	1,759,440	7.6	1,737,685	6.9	21,755	101.3
(義務的経費小計)	10,991,947	47.3	10,657,091	42.4	334,856	103.1
4 物 件 費	3,075,877	13.2	3,199,058	12.7	△ 123,181	96.1
5 維 持 補 修 費	56,353	0.2	76,616	0.3	△ 20,263	73.6
6 補 助 費 等	2,855,480	12.3	2,932,184	11.7	△ 76,704	97.4
7 積 立 金	1,166,375	5.0	509,921	2.0	656,454	228.7
8 投資・出資金・貸付金	97,478	0.4	70,000	0.3	27,478	139.3
9 繰 出 金	2,541,032	10.9	2,451,661	9.8	89,371	103.6
10 前年度繰上充用金	0	0.0	0	0.0	0	-
11 投 資 的 経 費	2,436,445	10.5	5,209,293	20.7	△ 2,772,848	46.8
普通建設事業費	2,393,225	10.3	5,177,111	20.6	△ 2,783,886	46.2
災害復旧事業費	43,220	0.2	32,182	0.1	11,038	134.3
合 計	23,220,987	100.0	25,105,824	100.0	△ 1,884,837	92.5

(注) 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入したものです。

図－Ⅱ 歳出（性質別）決算額の推移 （過去10年間／一般会計）



第6表 特別会計決算状況

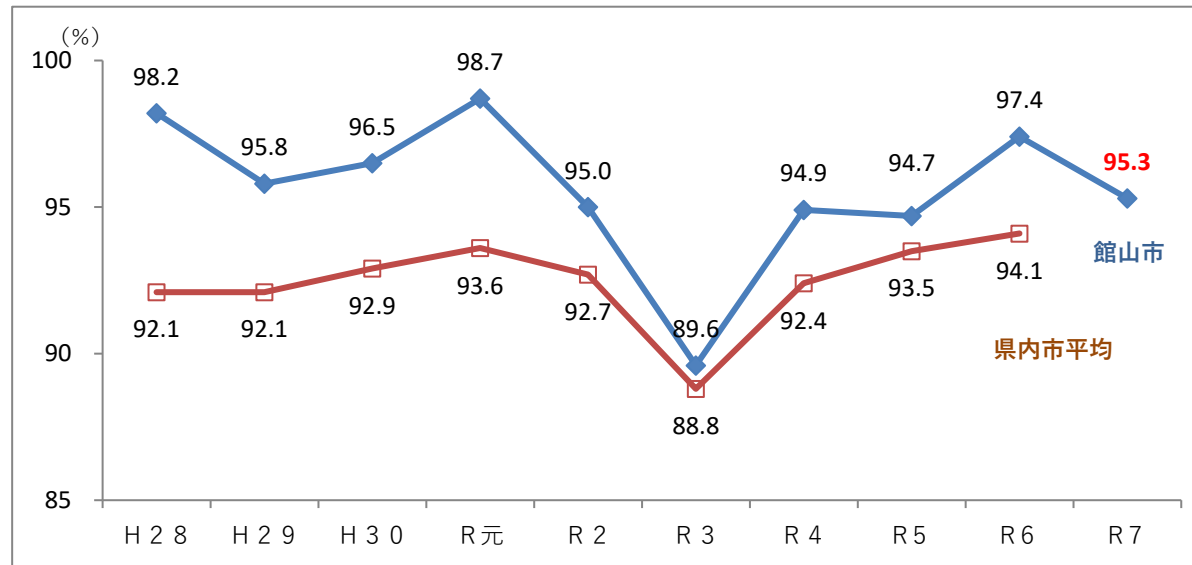
(単位：千円)

会 計 名	区 分	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
		決 算 額	対前年度比 %	決 算 額	対前年度比 %	決 算 額	対前年度比 %
国 民 健 康 保 険	歳 入	5,784,073	100.4	5,758,599	97.0	5,939,642	99.4
	歳 出	5,597,445	100.3	5,579,781	96.4	5,787,255	101.2
	差引額	186,628	104.4	178,818	117.3	152,387	59.1
後 期 高 齢 者 医 療	歳 入	995,388	104.9	948,928	109.2	869,341	102.4
	歳 出	993,314	104.8	947,968	109.5	865,637	102.2
	差引額	2,074	216.0	960	25.9	3,704	163.3
介 護 保 険	歳 入	6,903,751	103.5	6,672,873	102.1	6,532,602	102.1
	歳 出	6,532,240	102.1	6,398,893	102.0	6,275,850	104.0
	差引額	371,511	135.6	273,980	106.7	256,752	70.4
特 別 会 計 合 計	歳 入	13,683,212	102.3	13,380,400	100.3	13,341,585	100.9
	歳 出	13,122,999	101.5	12,926,642	100.0	12,928,742	102.6
	差引額	560,213	123.5	453,758	109.9	412,843	66.1

(税込み 単位：千円)

会 計 名	区 分	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
		決 算 額	対前年度比 %	決 算 額	対前年度比 %	決 算 額	対前年度比 %
下 水 道 事 業 会 計	収益の収入	573,197	101.2	566,659	101.2	560,117	108.9
	収益の支出	516,645	98.6	523,727	101.4	516,596	107.3
	差引額	56,552	131.7	42,932	98.6	43,521	133.5
	資本の収入	299,157	79.7	375,348	86.0	436,647	99.1
	資本の支出	464,566	88.6	524,148	90.9	576,689	102.8
	差引額	△ 165,409	111.2	△ 148,800	106.3	△ 140,042	116.5

図一Ⅲ 経常収支比率の状況 (過去10年間)



【経常収支比率 増減理由】

- 経常収支比率 95.3%
(前年度比2.1%改善)
- 経常一般財源額 (分母) 128.4億円
(前年度比+6.5億円/5.3%増)
※市税収入及び地方消費税交付金の増
- 経常経費充当一般財源額 (分子) 122.4億円
(前年度比+3.6億円/3.0%増)
※扶助費及び人件費の増
- 分母の増加額が分子の増加額を上回ったことにより、比率が改善しました。

【健全化判断比率及び資金不足比率 増減理由】

- 健全化判断比率及び資金不足比率 (下水道事業) は、法令等で定める早期健全化及び経営健全化の基準内数値となっています。
- 市税収入及び地方消費税交付金の増により、実質公債比率及び将来負担比率は減少しています。
- 実質公債費比率 (3カ年の平均値) 6.5%
(前年度比0.6%減少)
- 実質公債費比率 (単年度の比率) 5.6%
(前年度比0.7%減少)
- 将来負担比率 61.8%
(前年度比8.9%減少)
- 実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率については、赤字 (資金不足) 額がなかったため、「該当なし」となっています (「-」で表示)。

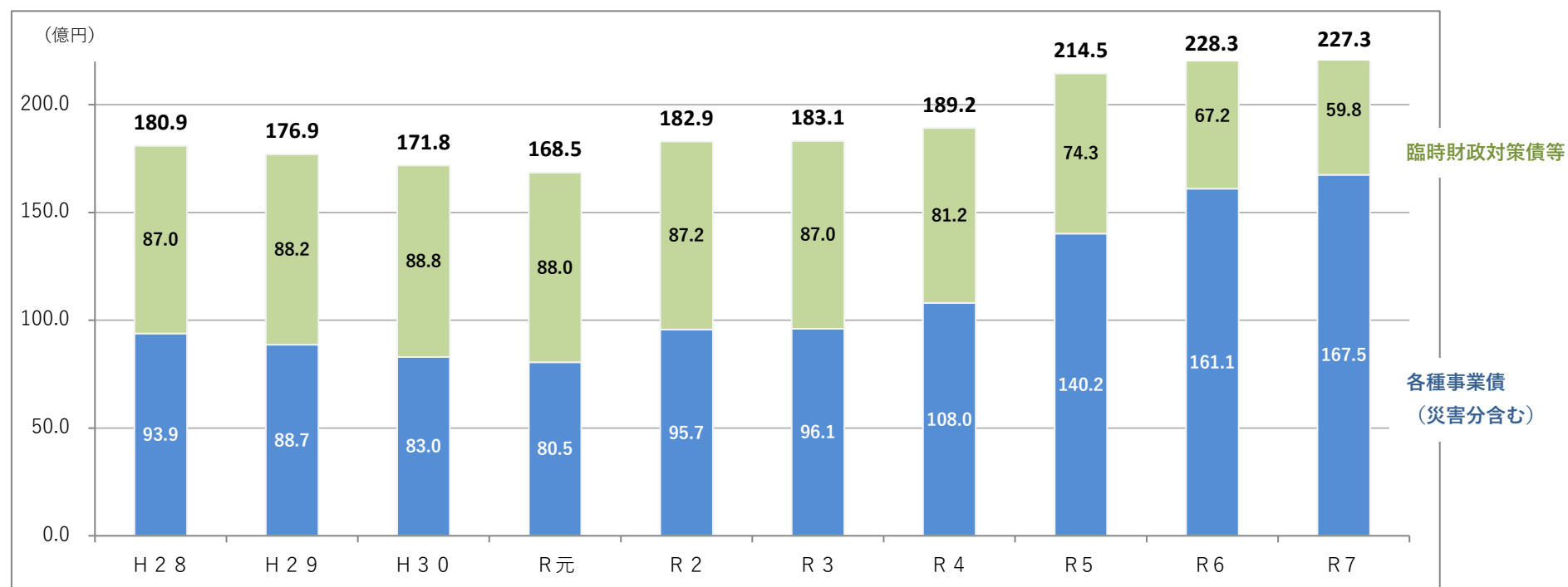
第7表 健全化判断比率及び資金不足比率の状況 (過去5年間)

単位 (%)

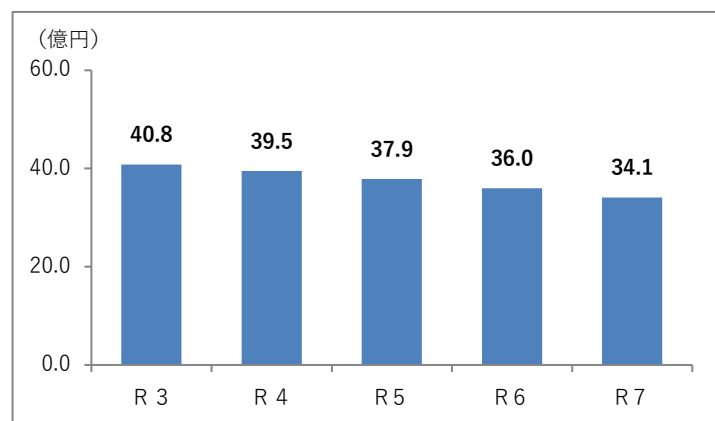
各種指標	館山市の比率					早期健全化基準	財政再生基準
	R3	R4	R5	R6	R7		
実質赤字比率	-	-	-	-	-	13.02	20.0
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	18.02	30.0
実質公債費比率	5.5	6.1	6.8	7.1	6.5	25.0	35.0
将来負担比率	26.7	21.2	51.1	70.7	61.8	350.0	
資金不足比率	-	-	-	-	-	20.0 (経営健全化基準)	

※ 経常収支比率及び第7表の各種数値は、国・県において内容確認中であり確定数値ではありません。

図一Ⅳ 市債残高の状況 (過去10年間／一般会計債)



【参考】 下水道事業債の状況 (過去5年間)



●市債残高（一般会計債）：227億3,056万円（令和7年度末）
前年度比 ▲9,929万円（▲0.4%）

（近年の大規模事業の実施状況）

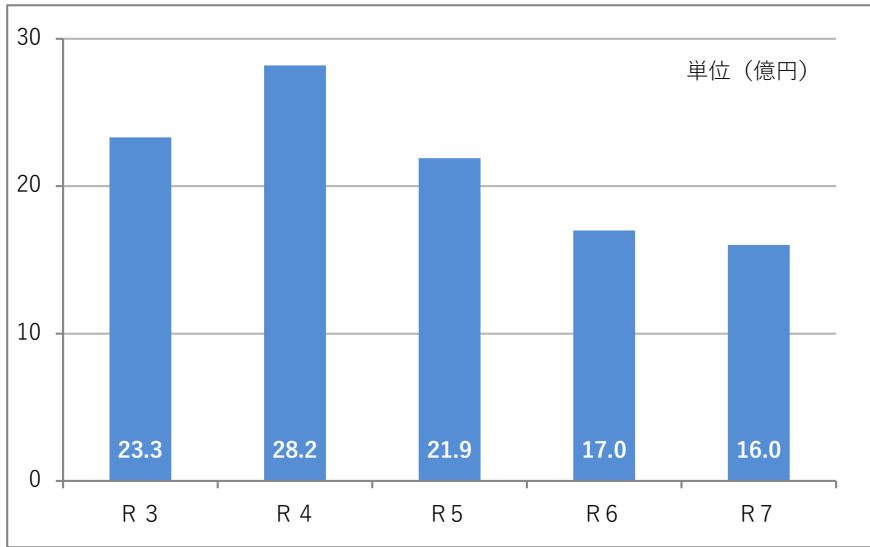
- * 災害復旧事業（令和元年度から令和3年度）
- * 給食センター整備事業（令和2年度）
- * 清掃センター大規模改修事業（令和3年度から令和5年度）
- * 館山中学校整備事業（令和2年度から令和7年度）
- * 館山小学校・北条小学校整備事業（令和7年度から令和8年度）

（留意点）

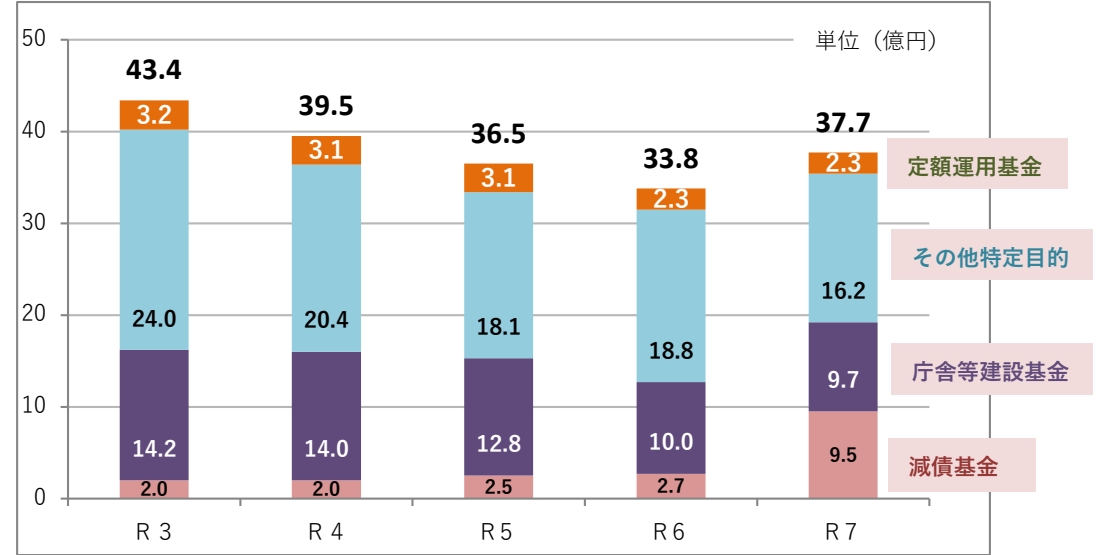
- * 臨時財政対策債については、国全体の国税収入増加に伴い、制度開始以来初めて発行がなくなりました。

図－Ⅴ 基金現在高の状況 （過去10年間／一般会計分）

< 財政調整基金 >



< 特定目的・定額運用基金 >



▶ 特定目的基金（内訳）

減債基金、庁舎等建設基金、前澤友作館山応援基金、中山間地域農村活性化基金、スポーツ振興基金、観光振興基金、フレフレ・たてやま応援基金、環境保全基金、小谷家住宅保存活用支援基金、ダッペエ基金、コミュニティ医療推進基金、やさしいまちづくり推進福祉基金、子ども・子育て支援基金、森林環境譲与税基金、都市計画事業基金、まち・ひと・しごと創生基金、学び舎みらい基金

▶ 定額運用基金（内訳）

土地開発基金、文化振興基金、看護師等修学資金貸付基金

I 一般会計

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名 (単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
1 議会費	議会だより作成事業 【 P 65 議会運営費 】 【 議会事務局 】	2,691	2,310	2,114	+9.3%	「たてやま議会だより」を発行し、市民に議会活動状況の情報提供を行った。 [発行回数] 年4回（6月号、9月号、12月号、3月号） [発行部数] 21,000部／回（全戸配付等） [仕 様] A4版 表紙・裏表紙フルカラー 外2色 12頁×3回・14頁×1回 ・印刷製本費 2,310千円
1 議会費	政務活動費交付金 【 P 67 議会調査活動費 】 【 議会事務局 】	1,800	1,543	1,343	+14.9%	議会における各会派の市政に関する調査研究その他の活動の推進に資するため交付し、議会活動の充実を図った。 [支出内訳] 市民クラブ（6人） 540千円 ・ 広報費外（会派ホームページ作成、視察、書籍購入） 新政クラブ（6人） 596千円 ・ 広報費外（会派ホームページ作成、広報紙作成、新聞折込み、視察、書籍購入） 緑風会（1人） 70千円 ・ 広報費外（会派ホームページ作成、視察） 公明党（2人） 87千円 ・ 広報費外（会派ホームページ作成、研究会参加） じゅん風（1人） 92千円 ・ 資料購入費（新聞購入） 日本共産党（1人） 100千円 ・ 広報費外（会派ホームページ作成、視察、書籍購入） 青海原（1人） 56千円 ・ 調査旅費（視察）
2 総務費	総務事務センター委託料 【 P 67 総務事務センター費 】 【 管財契約課 】	68,878	68,878	49,500	+39.1%	行政内部事務を中心として、部局横断的に職員・会計年度任用職員が担う事務・運転・営繕業務をまとめ、包括的に民間委託することで、業務の効率化・合理化を図った。 [委 託 先] シダックス大新東ヒューマンサービス㈱ [委託期間] 令和7年4月1日～令和10年3月31日 [契 約 額] 206,633千円 ◆ 館山中学校給食配膳業務及び渚の駅たてやま受付業務の追加による増
2 総務費	職員採用ポータルサイト費 【 P 69 総務事務費 】 【 総務課 】	446	446	0	皆増	職員採用に係る事務負担の軽減（募集、受付、選考管理）及び採用PRの強化を図るため、官公庁の採用に特化したプラットフォームサービスを導入した。 月額：45千円×9月×1.1＝446千円 ◆ 令和7年度新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	職員育成事業 【 P 71 職員育成費 】 【 総務課 】	2,548	1,962	1,593	+23.2%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 各種職員研修（派遣研修、集合研修等）を実施し、職員の資質向上を図ることにより、多様化・高度化する各種行政課題への対応力の向上に努めた。 1 派遣研修（千葉県自治研修センター、市町村アカデミー 外） 延べ 76人 ・ 職員の基礎能力及び専門的な実務能力の向上を目的とした研修 ・ 役職（課長、副課長等）に応じた能力向上を目的とした研修 外 2 集合研修（市又は安房郡市広域市町村圏事務組合主催） 延べ140人 ・ 新規採用職員に対する基礎知識・能力習得を目的とした研修 ・ 役職（係長・主査）に応じた能力向上を目的とした研修 外 ・ 各種研修負担金等 1,597千円 ・ 研修に係る旅費 122千円 外
2 総務費	福利厚生事業 【 P 71 福利厚生費 】 【 総務課 】	5,207	4,392	4,802	△8.5%	労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断や、メンタルヘルス対策など職員の福利厚生に必要な事業を行った。 定期健康診断 403人（職員・再任用職員232人、会計年度任用職員171人） メンタルヘルス専門相談等 11人 ・ 定期健康診断委託料 3,428千円 ・ 謝礼金 116千円 外
2 総務費	電子契約導入費 【 P 71 契約事務費 】 【 管財契約課 】	517	457	0	皆増	紙の契約書に印鑑を押す代わりに、インターネット上で電子文書に電子署名をすることで契約締結ができる電子契約システムを導入し、契約事務の効率化や経費削減、ペーパーレス化を図った。また、受注者の事務効率化にも繋がった。 1 電子契約システム導入費 275千円 2 電子契約システム利用料 182千円（6カ月分） [利用期間] 令和7年10月1日～令和12年3月31日 ◆ 令和7年度新規事業による皆増
2 総務費	広報発行事業 【 P 73 広報費 】 【 秘書広報課 】	12,705	11,417	11,912	△4.2%	広報「だん暖たてやま」を発行し、市政情報等を適時かつ的確に提供した。 館山市広報「だん暖たてやま」発行内容 発行号数：12号 [毎月1回発行] 発行部数：1号当たり 21,200部（全世帯配布） 発行頁数：1号当たり 24～32頁程度 内 容：表紙・裏表紙カラー刷り 中ページ2色刷り A4判

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	行政事務委託事業 【 P 73 行政事務委託費 】 【 市民協働課 】	17,899	17,351	17,251	+0.6%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市民への行政に関する事務連絡を円滑に行うため、各町内会へ市広報紙の配布等を委託し、市行政事務の効率的運用に努めた。 1 市から各町内会への配達業務 3,022千円 ① 人材派遣業務委託料 15人×12月 1,433千円 ② 自動車等借上料 7台×12月 1,589千円 2 行政事務委託料（委託先：152町内会等） 14,325千円 1町内会当たり：4千円 1世帯あたり：700円 〔委託内容〕 ① 市広報及び文書の配布に関すること ② 市通達事項の周知伝達に関すること ③ 簡易な調査報告に関すること 3 その他 4千円
2 総務費	情報発信事業 【 P 73 情報発信費 】 【 秘書広報課 】	3,209	3,209	3,367	△4.7%	インターネット媒体を介して市政情報等を的確かつ積極的に発信し、市民の利便性の向上を図った。 1 公式ホームページによる情報発信 2,153千円 ホームページの運用 2 L I N E公式アカウントによる情報発信 1,056千円 ・ 属性（誕生年月・性別・居住地）によるニーズに応じた情報発信 ・ チャットボット機能（自動案内）による情報発信 ・ 安全・安心メール連携機能による情報発信
2 総務費	基本構想・基本計画策定事業 【 P 79 計画策定管理費 】 【 企画課 】	10,191	10,023	8,114	+23.5%	計画期間が令和7年度末までとなる館山市総合計画及び総合戦略について、次期計画を策定した。 〔事業概要〕 第5次総合計画及び第3期総合戦略の策定 〔計画期間〕 令和8年度～令和17年度 〔事業計画〕 令和6年度：基礎調査・市民意識調査・パブリックコメントの実施 外 令和7年度：素案作成、計画策定、計画書の印刷・製本 外 ◆ 計画策定委託料及び計画書印刷費の増
2 総務費	安房郡市広域市町村圏事務組合総務費負担金 【 P 79 一部事務組合負担金 】 【 企画課 】	30,922	30,922	30,902	+0.1%	安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、職員採用試験及び研修の共同実施に係る総務費並びに議会費を構成団体の安房地域4市町が負担し、行政事務の効率化を図った。

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	市街地循環バス運行事業 【 P 79 公共交通対策費 】 【 企画課 】	27,719	27,719	28,857	△3.9%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市街地における移動手段となる市街地循環バスを運行し、回遊性の向上や市街地の魅力アップを図った。また、ノンステップ電気バスによる運行により、高齢者なども利用しやすい移動手段の確保に努めた。 [運行期間] 令和7年4月1日～令和8年3月31日（うち312日運行） [委託業者] 日東交通㈱ [運行概要] ・ 館山駅～市役所～館山病院～南総文化ホール～カインズ館山店～イオンタウン館山～館山駅の周回コース（片側回りのみ） ・ 6便／日運行 ※元日及び日曜日運休 ・ バス台数 1台 [実績] 利用者数 11,546人 1便平均 6.2人 ◆ 電気バス導入に係るリース料の減
2 総務費	地方バス路線維持費補助金 【 P 79 公共交通対策費 】 【 企画課 】	57,833	57,832	51,070	+13.2%	南房総市等と連携してバス路線の運行経費を助成し、地域住民の日常生活を支える移動手段の確保に努めた。 [補助対象] 日東交通㈱（①～⑤） ジェイアールバス関東㈱（⑥） [補助金額] ① 館山市内線 29,008千円 ② 丸線 3,890千円 ③ 豊房線 11,196千円 ④ 白浜千倉館山線 9,374千円 ⑤ 館山鴨川線 1,797千円 ⑥ 南房州本線 2,567千円 ◆ 運行経費等の増加による一部路線の補助対象経費（運行経費の助成）の増
2 総務費	NHK公開番組誘致費 【 P 79 NHK公開番組誘致費 】 【 企画課 】	1,261	1,251	0	皆増	台風被害・新型コロナウイルス感染症の影響から立ち直りつつある館山市を全国にアピールするため、NHK・千葉県南総文化ホールとの共催で「NHKのど自慢」を実施した。 [実施日] 令和7年10月5日 [開催場所] 千葉県南総文化ホール（大ホール） ◆ 令和7年度新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	移住・定住促進事業 【 P 79 移住・定住促進費 】 【 雇用商工課 】	8,188	6,000	10,437	△42.5%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 移住者を増加させるため、都市部からの移住希望者に対する助成金の交付等を行った。 また、関係人口の創出や移住者の増加を目指し、ワーケーション推進サイトによる情報発信に努めた。 1 移住者定住促進助成金 ① 子育て世帯の移住者向け 700千円 助成金額：家賃の1／2（上限20千円／月） 助成件数：7件 ② 東京圏からの移住者向け 4,400千円 助成金額：単身世帯600千円、2人以上の世帯1,000千円 18歳未満の子どもがいる世帯 +1,000千円 助成件数：5件 2 ワーケーション推進サイト管理委託料 110千円 3 その他 790千円 ◆ ワーケーション推進業務委託の減
2 総務費	地域おこし協力隊事業 （食のまちづくり推進業務） 【 P 81 地域おこし協力隊費 】 【 食のまちづくり推進課 】	2,746	2,746	4,710	△41.7%	地域おこし協力隊（食のまちづくり推進業務）として、都市部の人材を積極的に活用し、食のブランド化やプロモーション等に関する調査研究やイベント開催、食のまちづくりを推進するための地域関係者との関係づくりにより、隊員の定住・定着及び食のまちづくりの推進を図った。 [隊 員] 1名委嘱 委嘱期間 令和7年4月1日～令和7年9月30日（最終年） [活動内容] ・ 地域資源、地域課題の洗い出し ・ 地域関係者との意見交換による関係づくり ・ 市内複数飲食店の共同プロモーション支援 外 [報 償 金] 1,746千円（291千円×6カ月） [補助金額] 1,000千円（地域おこし協力隊活動費補助金） 活動経費に対する補助（調査費、広告物制作費など） ◆ 令和7年9月任期満了に伴う減
2 総務費	地域おこし協力隊事業 （ワーケーション推進業務） 【 P 81 地域おこし協力隊費 】 【 雇用商工課 】	5,492	5,492	5,855	△6.2%	地域おこし協力隊（ワーケーション推進業務）として、都市部の人材を積極的に活用し、市内企業等とのネットワークづくりや企業合宿の誘致等に繋がる活動等を行うことにより、隊員の定住・定着及びワーケーションの推進を図った。 1 地域おこし協力隊活動費補助金 [隊 員] 1名委嘱 委嘱期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日（2年目） [報 償 金] 3,492千円（291千円×12カ月） [補助金額] 2,000千円 活動経費に対する補助（交通費、通信費、研修受講等の補助）

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	南房総・館山地域公共交通活性化協議会負担金 【 P 81 定住自立圏構想事業費 】 【 企画課 】	10,331	10,250	9,330	+9.9%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 生活圏を共にする館山市と南房総市が、広域の公共交通施策を検討・実施するための協議会を設立し、利用が減少している既存バス路線の見直しや交通空白解消を図るための実証運行等を実施し、公共交通網の維持・確保を図った。 [主な事業] ・ 平群線（三芳エリア）等チョイソコ南房総・館山本格運行 （令和7年4月～令和8年3月） 事業費：15,222千円（うち館山市負担額：4,001千円） ・ 公共ライドシェア実証運行（令和7年4月～令和8年3月） 事業費：7,176千円（うち館山市負担額：3,588千円） ・ 公共交通計画策定支援業務 事業費：9,328千円（うち館山市負担額：2,201千円）
2 総務費	業務支援ツール等共同調達事業 【 P 81 定住自立圏構想事業費 】 【 情報課 】	2,458	2,457	571	+330.3%	南房総市との共同調達により入力フォーム作成支援ツール及び行政専用チャットサービスを導入し、ペーパーレス化を図るとともに、行政事務の効率化、情報共有及び合意形成の迅速化を図った。 ◆ 新たに行政専用チャットサービスを共同調達したことによる増
2 総務費	支援対象児童等見守り強化事業 【 P 81 定住自立圏構想事業費 】 【 こども家庭センター 】	10,910	10,216	9,511	+7.4%	児童虐待のリスクの高まりから、要保護児童対策地域協議会を中心に把握する支援ニーズの高い児童を対象に見守り強化事業を実施し、虐待の未然防止を図った。 [委託事業者] NPO法人 子ども家庭支援センター オレンジ [主な事業内容] 子どもの状況把握、食事の提供、学習・相談支援など [利用実績] 令和5年度 延べ1,900人 令和6年度 延べ1,784人 令和7年度 延べ2,173人
2 総務費	館山市観光協会補助金 【 P 81 定住自立圏構想事業費 】 【 観光みなと課 】	19,950	19,922	19,825	+0.5%	定住自立圏共生ビジョンにおいて、館山市及び南房総市の観光振興による地域経済の活性化を図るため、両市の観光協会が共同で実施する事業を支援した。 館山市観光協会補助金 19,922千円 館山市及び南房総市両市観光協会が共同で実施する事業に対する補助 （リサーチ事業、プロモーション事業、研究事業、顧客管理事業）

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
2 総務費	移住定住・就業促進事業 【 P 81 定住自立圏構想事業費 】 【 雇用商工課 】	6,500	6,500	6,500	0.0%	南房総市と連携し、圏域内への移住・定住の促進及び圏域企業への就業促進を図るため、都市部からの移住希望者に対する相談業務などの移住支援やトライアルステイ（お試し移住）を両市共同で実施した。 1 移住相談業務委託 4,500千円 ・ 移住希望者への相談業務などの移住支援 令和7年度実績 ※相談件数：310件 移住完了者：12組26人 ・ ふるさと回帰フェア ※相談件数：28件 ・ ふるさと回帰支援センター出張相談デスク ※相談件数：7件 ・ 千葉県安房地域移住相談会 ※相談件数：4件 ・ 館山市、南房総市合同移住相談会 ※相談件数：7件 ・ ちば移住相談会 ※相談件数：40件 ・ ちばミライ暮らし合同移住相談会 ※相談件数：4件 2 移住定住・就業促進業務委託 2,000千円 ・ トライアルステイ（お試し移住） ※参加者：8組19人 ・ 都内イベント（HAPON新宿） ※参加者：36人
2 総務費	中小企業デジタル化支援事業 【 P 81 定住自立圏構想事業費 】 【 雇用商工課 】	8,075	7,027	4,153	+69.2%	経営改善や人材確保等の課題解決のため、圏域内の中小企業者のデジタル化を南房総市と連携して支援した。 また、デジタルを活用した在宅ワークを希望する市民に対して、スキル習得や就労の支援を行った。 1 中小企業デジタル化支援事業負担金 2,186千円 〔対象者〕 市内事業者 〔事業内容〕 ①啓発セミナー 37社 出前セミナー 9団体 ②経営診断 18社 ③専門家による伴走支援 4社 2 デジタル人材育成事業負担金 855千円 〔対象者〕 在宅ワークを希望する市民 〔事業内容〕 セミナーによるデジタルを活用した在宅ワークスキルの習得支援及び就労支援 ①在宅ワーク啓発セミナー（3回：延べ75名）（南房総市在住者等含） ②在宅ワークスキル習得セミナー（全14回：延べ179名）※ 内就業者数6名 3 中小企業業務デジタル化推進補助金 3,986千円 〔対象者〕 中小企業デジタル化支援事業における啓発セミナー・経営診断に参加した市内事業者 10社 〔対象経費〕 デジタル技術の導入に係る費用 〔補助率〕 対象経費の2/3以内（上限500千円） ◆ 中小企業業務デジタル化推進補助金交付件数の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	高齢者運転免許証自主返納促進事業 【 P 83 交通安全対策費 】 【 市民協働課 】	910	552	632	△12.7%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 高齢者の交通事故防止等を図るため、運転免許証を自主的に返納した者（免許証返納時において満75歳以上で館山市に住所を有する者）を対象に、5千円相当の商品券等を交付し、高齢者の運転免許証自主返納を促進した。 1 高齢者運転免許証自主返納促進事業奨励金 465千円 ・ 館山市商業協同組合発行市内共通商品券 2 高齢者運転免許証自主返納促進事業助成金 87千円 ・ 免許返納タクシー利用券 [年齢別自主返納者数] 75～79歳 42人 80～84歳 35人 85～89歳 32人 90歳以上 7人 （合計116人）
2 総務費	交通安全施設整備事業 【 P 83 交通安全対策費 】 【 市民協働課 】	11,647	10,479	15,062	△30.4%	町内会等の要望や現地パトロール、関係機関等との現地診断等に基づく交通危険箇所、道路反射鏡、防護柵及び区画線等の整備を行い、地域での安全確保や交通事故の防止に努めた。 また、「館山市通学路交通安全プログラム」に基づき通学路の安全施設整備を実施するなど、児童生徒の安全を確保した。 1 施設整備工事請負費 9,223千円 ① 地元要望等 反射鏡10基 警戒標識3基 防護柵22m 区画線4,646m 外 ② 通学路整備 区画線2,061m 2 工事（施設）整備用材料費 1,151千円 ・ 反射鏡鏡面21枚 支柱14本 電柱取付金具5組 視線誘導灯8本 外 3 設備・備品等修繕料 105千円 ・ 道路照明の修繕等 2カ所 ◆ 令和6年度と設備・備品等の修繕実施内容が異なることによる減
2 総務費	電算システム管理費 【 P 85 電算システム管理費 】 【 情報課 】	119,322	118,057	176,891	△33.3%	基幹系システムをガバメントクラウド上の標準準拠システムへ移行し、包括的に維持管理することで、システムの安定稼働を図った。 1 基幹系システム運用・維持管理業務委託料 91,774千円 2 番号制度中間サーバー利用負担金 7,230千円 3 ガバメントクラウド利用料、ガバメントクラウド接続回線利用料 外 19,053千円 ◆ 標準準拠システムへの移行完了による減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	電子自治体推進費 【 P 85 電子自治体推進費 】 【 情報課 】	95,460	88,163	72,801	+21.1%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 自治体に求められる情報セキュリティを確保するため、ネットワーク機器やサーバ機器等の適切な維持・管理を行うとともに、行政事務の効率化・合理化を図るための業務支援ツールやソフトウェア等の活用を推進した。 1 サーバー等の運用保守・設定変更 34,195千円 2 システム借上・使用料等 40,549千円 （セキュリティ対策、IT資産管理、コピー機など） 3 セキュリティを確保した接続回線（回線保守含む） 2,336千円 （業務用：LGWAN インターネット用：千葉県自治体情報セキュリティクラウド） 4 ネットワーク機器等 購入 8,990千円 5 その他（消耗品など） 2,093千円 ◆ 既存ネットワークの改修作業による増
2 総務費	町内会連合協議会補助金 【 P 85 町内会活動支援費 】 【 市民協働課 】	5,445	5,445	5,445	0.0%	町内会相互及び市との連絡調整等を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的に設立された館山市町内会連合協議会の活動費の一部を補助し、円滑な活動が行えるよう支援した。 館山市町内会連合協議会補助金 〔補助対象〕館山市町内会連合協議会 〔補助金額〕5,445千円
2 総務費	コミュニティ事業補助金 【 P 85 コミュニティ活動支援費 】 【 市民協働課 】	4,099	3,900	805	+384.5%	市民と行政が分担協働する市民参加のまちづくりを推進するため、地区コミュニティ又は地域コミュニティ組織が実施するコミュニティ事業に対し助成し、円滑な活動が行えるよう支援した。 1 コミュニティ集会施設等整備事業 600千円 補助対象：町内会等 補助金額：上限300千円 補助件数：2町内会等（稲原町内会、作名区） 2 コミュニティ活動推進事業 800千円 補助対象：地区コミュニティ委員会 補助金額：均等割 78千円、残額を人口割で積算 補助件数：8地区 3 宝くじ助成事業（（一財）自治総合センター助成事業） 2,500千円 一般コミュニティ助成事業 ・ 亀ヶ原区大太鼓新調 助成上限 2,500千円 ◆ コミュニティ集会施設等整備事業、宝くじ助成事業を実施したことによる増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	市民協働事業補助金 【 P 85 コミュニティ活動支援費 】 【 市民協働課 】	800	594	94	+531.9%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市民等が自ら考え、実行する事業に対して事業費の一部を補助し、円滑な活動が行えるよう支援した。 補助対象：市内で活動するボランティア団体等 補助金額及び件数 ① チャレンジコース（新規事業） 3 件 570千円 補助率：事業費の10/10（上限200千円） ② ブラッシュアップコース（継続事業2回目） 1 件 24千円 補助率 1回目：事業費の10/10（上限100千円） 2回目：事業費の5/10（上限100千円） ◆ 補助対象事業の増加による増
2 総務費	コミュニティセンター運営事業 【 P 87 コミュニティセンター 施設運営費 】 【 中央公民館 】	30,284	27,675	28,479	△2.8%	生涯学習の中核的な拠点として、サークル活動をはじめ、各種会合や研修、作品展示等、多様な学習ニーズに対応した施設・設備の維持管理などを行い、利用者の「安全・安心」、「快適性」の向上に努めた。 1 利用状況（サークル活動、各種会合・研修等） ・ 利用件数：7,351件 ・ 利用人数：132,059人 2 主な施設維持管理費 ・ 会計年度任用職員報酬等 5,004千円 ・ 電気使用料 5,604千円 ・ 清掃委託料 4,070千円 ・ 植栽管理委託料 3,096千円
2 総務費	学習等供用施設運営事業 【 P 89 豊津地区学習等供用 施設運営費 】 【 P 89 中央地区学習等供用 施設運営費 】 【 中央公民館 】	15,582	14,344	12,610	+13.8%	各施設の設備や学習機能の特性を活かした生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として、サークル活動をはじめ、各種会合等、多様な学習ニーズに対応した施設・設備の維持管理などを行い、利用者の「安全・安心」、「快適性」の向上に努めた。 1 豊津地区学習等供用施設（豊津ホール） 8,367千円 ・ 利用状況： 872件 利用人数：10,894人（サークル活動・各種会合等） ・ 主な施設管理費：受付業務等委託料 7,019千円 2 中央地区学習等供用施設（菜の花ホール） 5,977千円 ・ 利用状況：2,467件 利用人数：25,263人（サークル活動・各種会合等） ・ 主な施設管理費：受付業務等委託料 2,073千円 ◆ 赤山地下壕跡一般公開再開（令和7年4月～11月）に伴う受付業務等委託料の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	ふるさと納税推進事業 【 P 89 ふるさと納税費 】 【 行革財政課 】	338,706	322,405	270,429	+19.2%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） ふるさと納税制度を活用し、地域産業の振興及び自主財源の確保に努めた。 また、地域活性化起業人（民間人材の登用）と連携し、返礼品の新規開発・ブラッシュアップ、効果的なプロモーション施策等を行った。 ・ 寄附者への返礼品代 220,133千円 ・ 宣伝広告費 5,144千円 ・ キャッシュレス収納手数料 1,010千円 ・ システム利用手数料 1,290千円 ・ ふるさと納税推進業務委託料 83,004千円 ・ 受領証明書発送業務委託料 3,565千円 ・ 地域活性化起業人受入事業負担金等 8,260千円 [令和7年度実績] 1 ふるさと納税 ・ 寄附件数 16,824件 (令和6年度：14,213件) ・ 寄附金額 727,787千円 (令和6年度：621,160千円) 2 企業版ふるさと納税 ・ 寄附件数 14件 (令和6年度：14件) ・ 寄附金額 27,289千円 (令和6年度：67,787千円) ◆ 寄附金額の増収に伴う諸経費の増加
2 総務費	土地家屋等評価業務 【 P 93 賦課事務費 】 【 税務課 】	8,140	8,140	8,272	△1.6%	固定資産税システムの地番図データ更新や公図の修正等の課税資料の整備を行い、適正な課税を行った。
2 総務費	不動産鑑定評価業務 【 P 93 賦課事務費 】 【 税務課 】	7,939	7,819	220	+3454.1%	令和9年度固定資産評価替えに向け、土地評価の基礎となる標準地に不動産鑑定業務を行った。 価格基準日 令和8年1月1日時点 標準地 宅地：204地点、田・畑・山林：32地点 ◆ 3年に一度実施する評価替えに伴う業務の実施による増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説明												
2 総務費	徴収対策事務 【 P 95 徴収事務費 】 【 税務課 】	17,617	15,626	13,053	+19.7%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市税の徴収率の向上を図るため各種の徴収対策を講ずるとともに、納税者の利便性の向上を図るため納付環境の整備等を実施し、税収の確保に努めた。 市税徴収率 95.96%（令和6年度 95.32%） 現年度分 98.70%（令和6年度 98.42%） 滞納繰越分 20.25%（令和6年度 20.20%） 1 納期内納税者との均衡を保つため、差押を前提とした滞納整理に努めた。 差押：391件 即時消滅：167件 ※ 国民健康保険税を含む 2 口座振替制度の普及率向上及び納期内納付の促進に努めた。 収納件数 52,289件 収納額 2,888,450千円 3 徴収率の向上と納税者の利便性の向上を図るため、コンビニエンスストア収納、スマホアプリ収納及び地方税統一QRコード（e L-Q R）収納を実施し、税収の確保に努めた。 <table><tr><td></td><td>収納件数</td><td>収納額</td></tr><tr><td>① コンビニエンスストア収納</td><td>50,882件</td><td>749,697千円</td></tr><tr><td>② スマホアプリ収納</td><td>2,463件</td><td>44,332千円</td></tr><tr><td>③ QRコード収納</td><td>32,651件</td><td>1,524,551千円</td></tr></table> ◆ コンビニエンスストア収納委託料改定による1件当たりの単価の増、OCR機器更新による増		収納件数	収納額	① コンビニエンスストア収納	50,882件	749,697千円	② スマホアプリ収納	2,463件	44,332千円	③ QRコード収納	32,651件	1,524,551千円
	収納件数	収納額																
① コンビニエンスストア収納	50,882件	749,697千円																
② スマホアプリ収納	2,463件	44,332千円																
③ QRコード収納	32,651件	1,524,551千円																
2 総務費	戸籍・住民基本台帳等事務 【 P 95 戸籍・住民基本台帳等事務費 】 【 市民課 】	56,227	51,893	39,363	+31.8%	1 戸籍・住民基本台帳・印鑑登録業務と各種証明書発行業務を行うため、各システムの安定的な運用・管理を行い、効率的な窓口サービスを行った。 会計年度任用職員費用 10,916千円（4人） システム通信料 7,623千円（戸籍システム、戸籍附票システム） システム保守管理委託料 3,598千円（住民基本台帳システム） システム改修委託料 1,060千円（戸籍システム、住民基本台帳システム） システム導入委託料 17,428千円（戸籍システム、戸籍附票システム、住民基本台帳システム） 振り仮名通知書作成委託料 2,486千円（戸籍システム） システム借上料 2,561千円（住民基本台帳システム） 外 2 証明書コンビニ交付システムの維持管理を行った。 コンビニ交付運営負担金 2,219千円 コンビニ交付手数料 903千円 3 市民課窓口での各種証明手数料の支払いにキャッシュレス決済を導入し、住民の利便性向上を図った。 備品購入費 1,430千円 外 ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分 2,288千円含む ◆ 戸籍システムの標準化・共通化及び振り仮名関連業務に伴う増												

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	マイナンバーカード交付事務費 【 P 97 マイナンバーカード 交付事務費 】 【 市民課 】	10,121	8,908	6,073	+46.7%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） マイナンバーカードの申請補助、交付、電子証明書の更新等を行い、マイナンバーカードに関する市民サービスを行った。 交付枚数 令和7年度 6,036枚 累計 46,680枚（令和8年3月31日現在） 会計年度任用職員費用（3人） 8,109千円 システム借上料 669千円 外 ◆ 会計年度任用職員の増員（1名）による増
2 総務費	旅券事務費 【 P 97 旅券事務費 】 【 市民課 】	2,912	2,826	2,853	△0.9%	安定的な旅券申請受付、交付等の市民サービスを行った。 会計年度任用職員費用 2,826千円
2 総務費	衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官 国民審査費 【 P 99 衆議院議員選挙及び 最高裁判所裁判官国民審査費 】 【 選挙管理委員会事務局 】	19,334	12,684	11,044	+14.8%	衆議院解散に伴う衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行した。 ・ 投票日：令和8年2月8日 公示日：令和8年1月27日 ・ 立候補者数3人（定数1人）～千葉県小選挙区（第12区） ・ 当日有権者数37,568人 投票者数19,363人 投票率51.54% ◆ 老朽化した投票用紙交付機の更新による増
2 総務費	参議院議員選挙費 【 P101 参議院議員選挙費 】 【 選挙管理委員会事務局 】	19,354	17,634	0	皆増	任期満了に伴う参議院議員選挙を執行した。 ・ 投票日：7月20日 公示日：7月3日 ・ 立候補者数16人（定数3人）～千葉県選出議員 ・ 当日有権者数38,083人 投票者数18,910人 投票率49.65% ◆ 選挙実施年度による増
2 総務費	基幹統計調査費 【 P103 基幹統計調査費 】 【 情報課 】	25,001	22,964	3,194	+619.0%	国勢調査や総務大臣が指定した重要な統計を作成するための調査（基幹統計調査）を行った。 令和7年国勢調査 22,964千円 調査期日 令和7年10月1日現在／調査区数380調査区／指導員37人／調査員229人 ◆ 令和7年国勢調査を実施したことによる増
3 民生費	民生委員業務委託料 【 P105 民生児童委員費 】 【 社会福祉課 】	4,743	4,199	4,178	+0.5%	館山市民生委員児童委員協議会の活動に対する支援業務（事務局として会議運営、研修、機関紙発行等）を館山社会福祉協議会に委託し、民生委員児童委員による地域福祉活動の推進を図った。 〔委員定数〕113人（うち主任児童委員 10人）

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	福祉団体補助費 【 P107 福祉団体補助費 】 【 社会福祉課 】	32,749	32,228	29,662	+8.7%	館山市社会福祉協議会の活動等に対する補助を通じ、地域福祉推進を図るための支援を行った。 1 館山市社会福祉協議会補助金 29,723千円 地域福祉の中心的役割を担う社会福祉法人館山市社会福祉協議会の活動を支援するため、協議会の人件費に対して助成を行い、協議会の基盤安定を図り、地域福祉の総合的な推進を行った。 2 地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金 2,356千円 社会福祉法人館山市社会福祉協議会が実施する社会福祉協議会15支部の活動や地域ボランティアの育成等に対して助成を行い、地域福祉活動の推進を図った。 [補助対象事業] ① 小域福祉圏活動推進事業 ② ボランティア活動促進事業 3 その他団体補助金 149千円 ◆ 館山市社会福祉協議会の人件費単価の上昇による増
3 民生費	包括的相談支援事業 【 P107 福祉相談対策費 】 【 社会福祉課 】	6,236	6,019	5,429	+10.9%	地域共生社会の実現に向け、様々な課題を抱える人の相談を、属性・世代・内容を問わず、包括的な支援体制により受け止め、制度の狭間のニーズへ対応する体制づくりのため、地域福祉の中核となる館山市社会福祉協議会へ事業委託を行った。 [相談窓口実績] 54件 (分野別件数) ※ 相談1件に対し複数分野の相談あり 介 護 11件 障 害 5件 子ども・子育て 0件 生活困窮 3件 権利擁護 7件 ひきこもり 2件 住まい 2件 就 労 0件 その他 24件 [アウトリーチによる継続的支援の取組] 市内5カ所の郵便局と連携した相談ブースの設置（計12回開催：相談3件） 高齢者ボランティアが協力し、夏休みの子どもの居場所自習室を4回実施 （参加支援の取組も兼ねる） [参加支援の取組] 「つながりはじめ」として同じ問題、興味を持つ市民が集まり、つながる場を創設 ・ 男の料理教室を開催
3 民生費	ひとり親家庭及び女性等相談支援事業 【 P107 福祉相談対策費 】 【 社会福祉課 】	2,550	1,648	0	皆増	母子・父子・寡婦・困難な問題を抱える女性に対する相談支援業務に関して、対人援助を担う専門職である母子・父子自立支援員兼女性相談支援員を新規に配置し、より適切な支援を行う体制を整えた。 [配置場所] 社会福祉課児童福祉係 [配置時間] 平日9時00分～16時30分 [配置人数] 1人 [相談件数] 83件 [相談内容] 母子父子寡婦関係64件 DV・困難な問題を抱える女性関係：19件 ◆ 令和7年度新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	生活困窮者自立支援事業 【 P107 生活困窮者自立支援費 】 【 社会福祉課 】	21,486	20,187	18,925	+6.7%	生活困窮者が、生活保護に至る前段階で早期に困窮状態から脱却できるよう、館山市社会福祉協議会に委託し、自立相談支援、家計改善支援、就労支援や住居確保給付金の相談など、生活困窮者自立支援制度に基づく支援を行った。 1 自立相談支援事業委託料 19,767千円 [委 託 先] 社会福祉法人館山市社会福祉協議会 [経費内訳] 自立相談支援員人件費（3人分）、諸経費等 [業務実績] 新規相談件数：94件 支援プラン策定数：43件（就労支援：14件、家計改善支援：11件など） 支援調整会議：11回開催 2 住居確保給付金 420千円（4世帯） ◆ 館山市社会福祉協議会の人件費単価の上昇による増
3 民生費	マザーズホーム運営事業 【 P109 マザーズホーム運営費 】 【 社会福祉課 】	4,383	4,029	4,365	△7.7%	発達に心配な様子がある幼児とその保護者に対し、通所による訓練や相談等を実施する簡易マザーズホームの運営を行った。 1 教室等 発達に心配がある幼児と保護者を対象とした教室（なのはなルーム・ひまわりルーム・土曜日ルーム）、おもちゃ図書館を実施した。 [延参加者数] 1,009人（幼児とその保護者等） 2 保育所等巡回訪問 マザーズホームの職員（保育士・作業療法士・教員OB）が保育所等を訪問し観察を行い、発達に心配な様子がある子どもの情報収集や訪問先施設に対する助言を行った。 [訪問回数] 合計 215回 3 専門家相談 言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・臨床心理士による相談会を開催し、子の発達に関する保護者の悩みに対応した。 [参加者数] 合計 58人 [開催回数] 合計 20回

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	障害手当給付事業 【 P109 障害手当費 】 【 社会福祉課 】	30,452	27,789	27,521	+1.0%	障害者等に各種手当等を給付することにより、障害者等の福祉の増進を図った。 [事業内容] 1 特別障害者手当等 精神又は身体に著しい重度の障害を有するため、日常生活において常時介護が必要とされる在宅の者に対する手当 ① 特別障害者手当（対象：20歳以上） 19,064千円（給付実人数 57人） ② 障害児福祉手当（対象：20歳未満） 3,881千円（給付実人数 22人） 2 重度障害者等福祉手当 4,844千円（給付実人数 47人） 在宅の寝たきり身体障害者、重度知的障害者又はその養育者に対し、障害ゆえに生ずる負担を軽減するための手当
3 民生費	障害自立支援給付事業 【 P109 障害自立支援給付費 】 【 社会福祉課 】	1,740,732	1,724,577	1,610,116	+7.1%	障害者等の状況を踏まえ、適切な介護支援や身体機能及び生活能力向上に必要な訓練等を行うことにより、地域生活を営むための支援を行った。 [主な事業内容] 1 障害介護給付費 1,453,739千円（給付実人数 549人） 障害者総合支援法に基づく介護給付費・訓練等給付費・サービス等計画相談支援費、障害者等が利用したサービスについて、費用の一部を公費により負担 2 障害児通所等給付費 190,462千円（給付実人数 198人） 児童福祉法に基づく障害児通所給付費・障害児相談支援給付費等、障害児が利用したサービスについて、費用の一部を公費により負担 3 自立支援医療費 ① 自立支援医療費（更生医療） 66,709千円（給付者数 115人） 18歳以上の身体障害者手帳所持者を対象に、一般治療で既に治癒した障害の軽減や進行の防止、機能の回復のために行う治療（手術等）に係る費用の一部を公費により負担 ② 自立支援医療費（育成医療） 21千円（給付者数 1人） 身体障害児又はそのまま放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある児童がその障害を除去・軽減する効果が期待できる治療（手術等）に係る費用の一部を公費により負担 4 身体障害者補装具交付扶助費 10,504千円（支給者数 69人） 身体障害者（児）の日常生活の能力向上や社会参加を促進するため、車椅子、補聴器などの補装具の購入・修理にかかる費用を支給 5 療養介護医療費 3,142千円（給付者数 3人） 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関での機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援に係る費用の一部を公費により負担 ◆ 共同生活援助の利用者増加等による介護給付費の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	心身障害者（児）医療費給付事業 【 P111 障害医療給付費 】 【 社会福祉課 】	104,373	94,746	104,465	△9.3%	心身障害者（児）に対し心身障害者医療費を支給し、その生活の安定と福祉の増進を図った。 心身障害者（児）医療費給付扶助費 94,746千円 ① 重度障害者：現物給付 自己負担：通院1回300円、入院1日300円、調剤無料 ※ 市民税所得割非課税世帯は無料 ※ レセプト件数 15,889件 ② 中軽度障害者：償還払い 自己負担：通院1回800円、入院1日800円、調剤1回800円 ※ 領収書件数 7,002件 ◆ 対象者及び自己負担額の見直しによる事業費の減
3 民生費	障害施設支援事業 【 P111 障害施設支援費 】 【 社会福祉課 】	37,619	32,891	29,227	+12.5%	障害者等が安心して暮らすことができるように、障害者総合支援法に基づく施設などの福祉サービス事業の運営を支援した。 [主な事業内容] 1 地域活動支援センター運営費補助金 5,542千円（補助事業所数1カ所） 障害者に対して、創作的活動や生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進等の便宜を供与する基礎的事業に併せて、地域において雇用及び就労が困難な障害者に対して通所により生活訓練、作業訓練等を実施する事業者に対し助成を行い、地域移行の推進を図った。 2 障害者グループホーム等運営費補助金 25,734千円（補助事業所数26カ所） 障害者の地域生活移行を促進するため、共同生活援助事業所の運営に要する経費の一部に対し補助を行った。 ◆ グループホーム利用者の増加及び地域活動支援センターⅢ型事業所の増加に伴う補助金の増
3 民生費	障害日常生活支援事業 【 P111 障害日常生活支援費 】 【 社会福祉課 】	14,138	11,659	17,832	△34.6%	障害者総合支援法に基づく福祉サービスを補完する事業を実施することにより、障害者等の日常生活における自立の促進を図った。 [主な事業内容] 1 福祉タクシー利用助成金 904千円（利用者数 169人） 重度の心身障害者（児）がタクシーを利用した場合に、社会参加の促進を図るため料金の一部を助成した。 2 障害者グループホーム等入居者家賃助成費 10,212千円（助成者数 98人） 障害者の地域生活移行を促進するため、共同生活援助事業所・知的障害者等生活ホーム事業所に支払った家賃の一部を助成した。 ◆ 児童デイサービス利用助成費の廃止による減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	障害地域生活支援事業 【 P111 障害地域生活支援費 】 【 社会福祉課 】	31,651	28,145	29,826	△5.6%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 障害者総合支援法に基づく相談事業や日常生活用具の給付、移動支援事業等を実施することにより、障害者等の自立した社会生活を支援した。 [事業内容] 1 身体障害者入浴サービス委託料 2,540千円（利用実人数5人） 居宅における入浴が困難な寝たきりの身体障害者に対し、保健衛生及び在宅福祉の向上を図るため、入浴援護事業を実施した。 2 基幹相談支援センター委託料 6,000千円 地域の福祉に関する相談・支援の中核的役割を担う基幹相談支援センターを、令和7年10月に設置し、障害者の福祉の充実を図った。 3 地域活動支援センター運営費補助金 1,500千円（補助事業所数1カ所） 障害施設支援費における当該センターの機能強化に係る加算分。 4 心身障害者（児）日常生活用具給付扶助費 13,117千円（給付実人数145人） 在宅の心身障害者及び難病患者等の生活の自立を促すため、頭部保護帽やストマ装具など、日常生活用具の給付又は貸与を行った。 5 地域生活支援事業給付費 3,709千円（給付実人数40人） 障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、移動支援事業（屋外での移動が困難な障害者等への外出支援）、日中一時支援事業（障害者等の日中の活動の場を確保することによる障害者等の家族への就労支援など）、意思疎通支援者派遣事業（聴覚障害者等のコミュニケーション支援）などの事業を実施した。 ◆ 基幹相談支援センターの開設（令和7年10月）に伴う地域生活支援センター委託料の減
3 民生費	国民健康保険特別会計繰出金 【 P113 国民健康保険特別会計繰出金 】 【 市民課 】	417,516	415,782	406,335	+2.3%	国民健康保険事業の安定的な運営を図るため、国民健康保険特別会計に支出した。 1 職員給与費等繰出金（事務に係る職員給与費等に対する繰出金） 84,545千円 2 保険基盤安定繰出金（国民健康保険税の軽減額等に対する繰出金） 292,378千円 3 財政安定化支援事業繰出金 29,995千円 （低所得者層や高齢者が多い地域の負担軽減のための繰出金） 4 出産育児一時金繰出金（出産育児一時金に対する繰出金） 6,667千円 5 未就学児均等割保険税繰出金 1,617千円 （未就学児に係る均等割保険税減額に対する繰出金） 6 産前産後保険税繰出金（産前産後期間に係る保険税免除に対する繰出金） 580千円 ◆ 保険基盤安定繰出金の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	令和6年度住民税非課税世帯給付金 【 P113 重点支援地方交付金費 （住民税均等割非課税世帯） （繰越明許費） 】 【 社会福祉課 】	30,210	20,580	0	皆増	令和6年11月22日、閣議決定のあった「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」における「重点支援交付金」の追加により、低所得世帯支援枠について給付金の支援を行うため、令和6年度住民税均等割非課税世帯に対し3万円の現金給付を行った。 [給付対象世帯] 令和6年度住民税均等割非課税世帯 ※ 住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く [給 付 額] 1世帯当たり30千円 [給付世帯数] 686世帯 ◆ 令和6年度新規事業による皆増
3 民生費	重点支援地方交付金費（こども加算） 【 P115 重点支援地方交付金費 （こども加算） （繰越明許費） 】 【 社会福祉課 】	2,920	1,020	0	皆増	令和6年11月22日、閣議決定のあった「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」における「重点支援交付金」の追加により、低所得世帯支援枠について給付金の支援を行うため、令和6年度住民税均等割非課税世帯において扶養されている18歳以下の児童1人当たり2万円の現金給付を行った。 [給付対象世帯] 令和6年度住民税均等割非課税世帯において18歳以下の児童を扶養している世帯 [給 付 額] 2万円／児童1人当たり [給付世帯数] 51人（30世帯） ◆ 令和6年度新規事業による皆増
3 民生費	低所得者支援及び定額減税を補足する 給付重点支援地方交付金費（調整給付） 【P115 重点支援地方交付金費 （不足額給付） 】 【 社会福祉課 】	174,946	142,150	0	皆増	国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」として、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（給付金・定額減税一体支援枠）」を活用し、定額減税の恩恵を十分に受けられないと見込まれる所得水準の方への現金給付を行った。 [給付対象世帯] 定額減税の対象となる方で、定額減税可能額が「令和6年分推計所得税額」または「令和6年度分個人住民税所得割額」を上回る（減税しきれない）方 [給 付 額] 上限額1人当たり40千円 [給付人数] 5,017人 ◆ 令和7年度新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	高齢者日常生活支援事業 【 P117 日常生活支援費 】 【 高齢者福祉課 】	5,698	4,932	4,160	+18.6%	高齢者が在宅で自立した生活を過ごすことができるように、緊急通報装置貸与、ショートステイ事業、軽度生活援助事業等を実施し、その生活を支援した。 また、中核機関設置運営のための負担金を支出し、高齢者等の権利擁護推進に努めた。 ・ 緊急通報装置貸与 78件 電信料 467千円 ・ ショートステイ事業 6件 委託料 1,154千円 ・ 緊急ショートステイ事業 0件 委託料 0千円 ・ 権利擁護推進センター 負担金 3,242千円 ・ 軽度生活援助事業 外 13件 助成金 69千円
3 民生費	地域生活支援事業 【 P117 地域生活支援費 】 【 高齢者福祉課 】	1,220	676	279	+142.3%	住民主体による地域包括ケアシステムの構築を図るため、地域づくりに資するフォーラムや地域でのワークショップを開催し、地域における「助け合い」の意識向上を図った。 交通弱者対策等地域づくり推進委託料 676千円 [委託先] 館山市社会福祉協議会 [内 容] 地域づくりフォーラムの開催 移動スーパーを導入する地域への支援 ◆ 業務委託費、ワークショップ開催による講師謝礼及び交通費の増
3 民生費	高齢者措置事業 【 P117 高齢者措置費 】 【 高齢者福祉課 】	106,256	92,693	95,529	△3.0%	おおむね65歳以上の高齢者を対象に、必要に応じて養護老人ホーム又は特別養護老人ホームへ入所措置し、高齢者の福祉向上を図った。 1 老人ホーム入所措置扶助費 89,215千円 外 養護老人ホーム入所措置者数 37人（4施設） ※ 令和7年度末現在 2 権利擁護措置費 3,478千円 特別養護老人ホーム入所措置者数 5人（1施設） ※ 令和7年度末現在 ◆ 入所措置者数の減少による減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	高齢者福祉団体補助事業 【 P117 福祉団体補助費 】 【 高齢者福祉課 】	10,348	9,517	9,891	△3.8%	関係団体の運営や事業を支援することにより、高齢者の福祉向上を図った。 1 老人クラブ補助金 1,725千円 ① 単位老人クラブ補助金 1,472千円 〔補助件数〕30クラブ（平均補助額 49千円） 〔補助概要〕均等割：1クラブ当たり 3,100円／月 人数割：会員1人当たり 200円 （他 市老連加入クラブ加算 団体加算：1クラブ当たり7,400円 会員加算：会員1人当たり 170円） ② 館山市老人クラブ連合会補助金 254千円 2 館山市シルバー人材センター補助金 6,650千円 〔補助対象〕就業機会確保提供事業に対する補助 3 地域福祉事業活動費補助金 801千円 〔補助対象〕館山市社会福祉協議会 〔補助事業〕① 地域ボランティア活動の推進 ② ふれあい・いきいきサロンへの支援 外 4 その他（高齢者体力づくり健康づくり事業補助金 外） 341千円
3 民生費	介護保険特別会計繰出金 【 P119 介護保険 特別会計繰出金 】 【 高齢者福祉課 】	1,127,259	1,127,259	1,079,576	+4.4%	介護保険事業の安定的な運営を図るため、介護保険特別会計に支出した。 1 介護給付費繰出金（介護保険財政の市負担分12.5%） 777,672千円 2 職員給与費等繰出金（事務に係る職員給与費等に対する繰出金） 139,957千円 3 事務費繰出金（要介護認定事務費に対する繰出金） 82,533千円 4 介護予防・日常生活支援総合事業費繰出金（総合事業費に対する繰出金） 39,726千円 5 包括的支援事業費等繰出金（包括的支援事業費等に対する繰出金） 25,558千円 6 低所得者保険料軽減繰出金（低所得者の保険料軽減に対する繰出金） 61,813千円 ◆ 介護給付費等の増加による繰出金の増
3 民生費	高齢者保健福祉計画策定事業 【 P119 介護保険総務費 】 【 高齢者福祉課 】	3,696	3,685	0	皆増	老人福祉法及び介護保険法に基づき、第11期高齢者保健福祉計画及び第10期介護保険事業計画を策定のため、アンケート調査を実施した。 アンケート調査業務委託料 3,685千円 （対象者：被保険者・介護保険サービス利用者・介護保険サービス未利用者 ・サービス提供事業者） ◆ 令和8年度計画策定（3年毎）による増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	介護人材確保対策事業 【 P119 介護人材確保対策費 】 【 高齢者福祉課 】	1,000	911	1,349	△32.5%	介護職員初任者研修・実務者研修修了後6カ月以内に安房郡市内の介護事業所に就労した者等に対し、介護資格の取得等に係る費用の一部を助成し、介護における人材確保とキャリアアップを図った。 ・ 介護職員初任者研修 0千円（0人分） ・ 介護福祉士実務者研修 911千円（18人分） ◆ 研修受講者数の減少による減
3 民生費	後期高齢者医療特別会計繰出金 【 P119 後期高齢者医療 特別会計繰出金 】 【 市民課 】	223,474	217,088	215,008	+1.0%	後期高齢者医療の円滑な運営を図るため、後期高齢者医療特別会計に支出した。 1 保険基盤安定繰出金（後期高齢者医療保険料の軽減額等に対する繰出金） 186,581千円 2 事務費繰出金（後期高齢者医療に係る事務費に対する繰出金） 30,507千円 ◆ 後期高齢者医療に係る事務費の増加に伴う事務費繰出金の増
3 民生費	後期高齢者医療負担金支払事務 【 P119 後期高齢者医療 広域連合負担金 】 【 市民課 】	776,884	776,883	746,978	+4.0%	後期高齢者医療の円滑な運営を図るため、千葉県後期高齢者医療広域連合へ負担金を支出した。 また、後期高齢者医療療養給付費の市負担分（12分の1）として、千葉県後期高齢者医療広域連合へ負担金を支出した。 1 後期高齢者医療広域連合負担金 26,017千円 2 後期高齢者医療療養給付費負担金現年度分 750,866千円 ◆ 被保険者数の増加に伴う後期高齢者医療療養給付費負担金現年度分の増
3 民生費	短期人間ドック補助事業 【 P119 後期高齢者医療 人間ドック助成費 】 【 市民課 】	2,600	1,860	2,058	△9.6%	疾病の早期発見、早期治療のため後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック等の検査費用の7割（限度額2万円）を補助し、被保険者の健康保持増進を図った。 [短期人間ドック補助金の状況] 総件数：93件
3 民生費	北条学童クラブ整備事業 【 P121 学童クラブ運営費 】 【 こども課 】	4,125	3,993	0	皆増	学校再編に伴う児童数の増加及び定員数の大幅な拡大に対応するため、新たに整備する北条学童クラブ施設の実施設計を行った。 [事業計画] 令和7年度 実施設計業務委託 令和8年度 建設工事 ◆ 令和7年度新規事業（実施設計業務委託）による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	学童クラブ運営事業 【 P121 学童クラブ運営費 】 【 こども課 】	115,516	115,516	115,805	△0.2%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 保護者の子育て支援と就労等の両立支援や児童の健全育成を図るため、7カ所の学童クラブの運営を民間事業者へ委託した。 [委 託 事 業 者] シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 [公設学童クラブ] 船形・那古・北条・館山・豊房・館野・九重 [対 象 児 童] 小学校6年生まで [利 用 児 童 数] 令和5年度 366人 夏季休業利用児童数54人 令和6年度 376人 夏季休業利用児童数67人 令和7年度 363人 夏季休業利用児童数72人 放課後児童健全育成事業委託料 115,516千円
3 民生費	学童保育補助事業 【 P121 学童クラブ運営費 】 【 こども課 】	1,540	1,540	1,540	0.0%	保護者の子育て支援と就労等の両立支援や児童の健全育成を図るため、学童保育を実施する民設学童クラブに対して運営費の補助を行った。 [民設学童クラブ] 神戸学童クラブ [利 用 児 童 数] 令和7年度 38人 放課後児童健全育成事業補助金 1,540千円
3 民生費	元気な広場運営事業 【 P123 元気な広場運営費 】 【 こども課 】	21,500	21,500	21,000	+2.4%	就学前の乳幼児を持つ親と子及び妊婦が気軽に集い、子育て中の親子の交流や育児相談等を通じ、子育てへの不安解消や児童虐待防止の推進を図った。 また、地域の子育て支援として、出張子育てひろばや会員相互により子育て支援を行うファミリー・サポート・センター事業を行い、子育て支援の充実を図った。 [指 定 管 理 者] 生活協同組合コープみらい [事 業 期 間] 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5カ年） [利 用 状 況] 元気な広場（出張子育てひろば含む） ファミリー・サポート・センター 令和5年度 来館数延べ21,762人 令和5年度 会員数566人 活動件数 45件 令和6年度 来館数延べ23,524人 令和6年度 会員数566人 活動件数 132件 令和7年度 来館数延べ20,978人 令和7年度 会員数594人 活動件数 183件 元気な広場運営委託料 21,500千円
3 民生費	子育てサービス利用者支援事業 【 P123 子育て支援対策費 】 【 こども課 】	6,673	5,982	5,428	+10.2%	利用者支援員「子育てコンシェルジュ」を配置し、子育てサービスを利用しやすい環境整備や利用者ニーズへのきめ細やかな対応を行った。 [配置場所] こども課窓口 外 [配置時間] 平日8時30分～17時15分 [配置人数] 2人 [相談件数] 1,512件 [相談内容] 子育て272件 保育園等912件 学童179件 一時預かり149件 ※ 重複あり

※ 事業欄の下端【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	病児・病後児保育事業 【 P123 子育て支援対策費 】 【 こども課 】	26,459	26,236	10,996	+138.6%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 病気の治療中又は回復期にある児童に対し、病院等の専用スペースで一時的な保育を実施した。 また、保育所内で体調不良となった在園児について、保護者が迎えに来るまでの間、看護師等が施設内の専用スペースで緊急的な対応を行い、保護者の子育てと就労等の両立の支援を行った。 1 病児・病後児保育事業委託料 12,408千円 [委 託 先] 亀田ファミリークリニック館山（亀田病児・病後児保育室たてやま） [利用状況] 令和5年度 利用者数 延べ484人 令和6年度 利用者数 延べ540人 令和7年度 利用者数 延べ529人 2 病児保育事業（体調不良児対応型）委託料 13,828千円 [委 託 先] 認定こども園O U R S 館山 [対象児童] 事業実施施設に通園しており、保育中に体調不良となった児童 ◆ 国が示す基準額の増額に伴う委託料の増及び令和7年度新規事業（体調不良児対応型）による増
3 民生費	一時預かり事業 【 P123 子育て支援対策費 】 【 こども課 】	12,571	8,372	2,171	+285.6%	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった場合や保護者の心理的・身体的負担を軽減するために支援が必要な場合に、乳幼児を一時的に預かり、必要な保育を行うため事業者へ委託した。 1 幼稚園型一時預かり事業委託料 2,225千円 [委 託 先] 館山白百合こども園 [対象児童] 実施施設に在籍する者であって、子ども・子育て支援法第19条第1項第1号に掲げる満3歳以上の小学校就学前子ども（延べ611人） 2 一般型一時預かり事業委託料 6,147千円 [委 託 先] 認定こども園O U R S 館山 [対象児童] 生後56日を経過した小学校就学前子どもであって、保護者の就労、疾病、事故、出産、冠婚葬祭その他の事由により、家庭において保育を受けることが一時的に困難である者（延べ2,088人） ◆ 令和7年度新規事業（一般型一時預かり事業）による増
3 民生費	こども家庭センター事業 【 P123 こども家庭センター費 】 【 こども家庭センター 】	8,540	8,416	0	皆増	こども家庭センターを開設し、母子保健機能と児童福祉機能の一体的な運営を行い、妊産婦及び乳幼児の健康の保持・増進や子どもと子育て家庭の福祉に関する支援、子育てに困難を抱える家庭への更なる支援のほか、児童虐待の防止や早期発見、ヤングケアラーの支援強化等を実施した。 子ども家庭支援員の配置（会計年度任用職員4名：14人工／週） 8,416千円 （延べ相談対応件数8,860件） ・ 児童虐待に関する相談対応、調査、支援及び指導 ・ 子育てに困難を抱える家庭への支援 ・ 他関係機関等との調整 外 ◆ 令和7年4月センター開設に伴う皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	親子関係形成支援事業 【 P123 こども家庭センター費 】 【 こども家庭センター 】	838	837	0	皆増	子育てに困難を抱える家庭に対する支援策として、親子の関係性や発達に応じた児童との関わり方を身に着けるため、ペアレント・トレーニング事業を実施した。 [委託事業者] NPO法人 子ども家庭支援センター オレンジ [主な事業内容] 講義、グループワーク、ロールプレイ等 [利用実績] 令和7年度 延べ36人（6か月分実績） ◆ 令和7年10月事業開始に伴う皆増
3 民生費	児童手当費 【 P123 児童手当費 】 【 社会福祉課 】	598,800	597,570	479,065	+24.7%	児童の健全な育成を社会全体で応援するため、児童を養育している者に児童手当を支給し、子育てに係る経済的な負担を軽減した。 [手当額] 3歳未満（第1子・第2子） 月額15千円 3歳以上高校生年代（第1子・第2子） 月額10千円 第3子以降 月額30千円 [給付額] 延児童数 46,384人 給付額 597,570千円 ◆ 令和6年10月の制度改正（対象児童の拡大、所得制限の撤廃、第3子以降の児童に係る支給月額の拡充）による増
3 民生費	児童扶養手当費 【 P125 児童扶養手当費 】 【 社会福祉課 】	144,102	142,703	143,810	△0.8%	児童を養育しているひとり親家庭等に手当を支給し、その生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図った。 [手当額（令和6年11月分～令和7年3月分）] 第1子 45,500円～10,740円 第2子以降 10,750円～5,380円 [手当額（令和7年4月分以降）] 第1子 46,690円～11,010円 第2子以降 11,030円～5,520円 ※ 手当額は自動物価スライド制により増減する [給付額] 延児童数 4,749人 給付額 142,703千円 ◆ 給付児童数の減少による減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	子ども医療費給付金 【 P125 子ども医療費助成金 】 【 社会福祉課 】	137,313	134,242	139,761	△3.9%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 子どもの健やかな成長と、子どもの医療費に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもの保険診療に係る患者負担額を対象として助成を行った。 [助成対象] 高校3年生相当年齢まで（入院・通院・調剤） [保護者負担額] 入院1日につき300円、通院1回につき300円、調剤は無料 ※ 市民税所得割非課税世帯は無料 ※ 月額上限有（医療機関毎、月毎に入院11日、通院6回以降は無料） [助成実績] 給付児童数：4,905人 給付額：134,242千円 ※ 給付児童数については、年齢区分の変更（乳児から小児等）により、同一児童が重複している場合有 ◆ 給付児童数の減少による減
3 民生費	ひとり親家庭等支援事業 【 P125 ひとり親家庭等支援費 】 【 社会福祉課 】	22,567	19,452	20,047	△3.0%	保険診療の患者負担額に対する助成及び自立を図るための経済的支援を実施し、ひとり親家庭の福祉増進を図った。 1 ひとり親家庭等医療費等助成費 [助成対象] 18歳までの児童を監護するひとり親家庭の父母 （一定以上の障害を有する児童は20歳まで対象） [自己負担額] 入院1日300円・通院1回300円・調剤：無料 （市民税所得割非課税世帯は無料、所得制限あり） [助成実績] 助成対象者数 399人 助成額16,313千円 2 母子・父子自立支援給付金 [給付概要] 母子家庭の母（父子家庭の父）の就業等への支援 （資格取得に係る費用一部を給付、生活の安定を図るための給付金の給付） [給付実績] ① 自立支援教育訓練給付金 給付者数 3件 給付額 170千円 ② 高等職業訓練促進給付金 給付者数 3件 給付額 2,844千円 ③ 高等職業訓練修了支援給付金 給付者数 3件 給付額 125千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	私立保育所運営支援事業 【 P125 私立保育所運営支援費 】 【 こども課 】	673,909	660,903	848,380	△22.1%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市内外の私立保育園及び市外の公立保育所等における運営費の一部を負担することで、保育の推進及び子育て環境の充実を図った。 1 私立保育園運営委託料 263,704千円 [委託先] 私立保育園（市内4園、南房総市3園、その他1園） 延べ1,784人 2 施設型給付費負担金 333,560千円 [委託先] 私立こども園（市内2園、南房総市1園、鴨川市1園） 延べ3,545人 3 保育所運営費補助金 63,639千円 [補助対象] [対象施設] [補助額] ① 保育士配置改善分 聖アンデレ、館山教会附属、館山ユネスコ、 館山白百合、O U R S 館山 35,877千円 ② 保育士処遇改善分 聖アンデレ、館山教会附属、館山ユネスコ、 子育、館山白百合、O U R S 館山 21,620千円 ③ 給食材料費等高騰対応支援給付金 聖アンデレ、館山教会附属、館山ユネスコ、 子育、館山白百合、O U R S 館山 4,680千円 ④ 保育所等におけるICT化推進事業 聖アンデレ、館山教会附属 1,462千円 ◆ 私立認定こども園の施設整備の終了に伴う減
3 民生費	認可外保育所等運営支援費 【 P125 認可外保育所等 運営支援費 】 【 こども課 】	2,318	547	2,886	△81.0%	幼児教育保育の無償化に伴い認可外保育施設を利用した保護者の保育料を負担することで、保育の推進及び子育て環境の充実を図った。 [対象施設] 認可外保育施設 5施設（静和保育園 外） [利用実人数] 令和7年度 7人 ◆ 認可外保育施設2か所の閉所に伴う減
3 民生費	中央保育園園舎解体事業 【 P127 公立保育所運営費 】 【 こども課 】	37,226	35,618	0	皆増	令和8年3月末をもって閉園となった中央保育園の園舎解体工事を行った。 ① 実施設計委託料 3,828千円 ② 園舎解体工事費 31,790千円 ◆ 令和7年度新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
3 民生費	物価高対応子育て応援手当費 【 P131 物価高対応子育て応援手当費 】 【 社会福祉課 】	97,700	91,400	0	皆増	国の令和7年度補正予算における物価高対応子育て応援手当の実施に基づき、子育て世帯を支援するため、手当を支給した。 [支給対象者]児童手当支給対象児童を養育する父母等 [基準日]令和7年9月30日（令和8年3月31日までに生まれる新生児も含む） [手当額]こども一人当たり一律2万円 [実績]支給児童数：4,570人 支給額：91,400千円（令和8年3月末時点） ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分 6,300千円含む ◆ 令和7年度新規事業による皆増
3 民生費	生活保護事業 【 P133 生活保護事業 】 【 社会福祉課 】	1,176,000	1,138,632	1,096,095	+3.9%	生活保護法に基づき、生活に困窮する方の困窮の程度に応じた必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立助長に向けた支援を行った。 [支給額（世帯数・人数）] ・生活扶助費 246,210千円（396世帯・454人）※1 ・住宅扶助費 155,216千円（393世帯・455人）※1 ・教育扶助費 1,306千円（6世帯・10人）※1 ・医療扶助費 693,184千円（470世帯・526人）※1 ・出産扶助費 0千円（0世帯・0人） ・生業扶助費 771千円（3世帯・4人）※1 ・葬祭扶助費 1,821千円（11世帯・11人）※2 ・介護扶助費 35,781千円（152世帯・156人）※1 ・施設事務費 3,866千円（3世帯・3人）※2 ・就労自立給付金 116千円（4世帯・4人）※2 ・委託事務費 261千円（1世帯・1人）※2 ・進学準備給付金 100千円（1世帯・1人）※2 ※1 世帯数と人数は月平均 ※2 世帯数と人数は実数 [生活保護世帯数・人数] ・令和8年3月 517世帯・589人（+2世帯・0人） ・令和7年3月 515世帯・589人 ◆ 診療報酬改定等による医療扶助費の増
4 衛生費	保健事務費 【 P133 保健事務費 】 【 健康課 】	10,617	9,765	11,379	△14.2%	保健事務を円滑に遂行したほか、安房4市町の保健衛生部門の各種事業に関し、遺漏なく速やかに実施できるよう、安房医師会内の調整や取り纏めなどの業務委託を行った。 1 保健衛生等業務委託料（委託先：安房医師会） 1,259千円 [理事会審議案件] 49件（うち館山市分28件） 2 会計年度任用職員費用 8,225千円 外 ◆ 令和6年度における自動車購入費の減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
4 衛生費	健康づくり推進事業 【 P135 健康づくり推進費 】 【 健康課 】	2,610	2,340	2,329	+0.5%	保健推進員の保健推進活動（母子・栄養・高齢者）の充実を図り、地域に密着した健康づくりを推進するための活動を行った。 また、保健推進員としてのスキルアップを図るため、研修会等を実施した。 1 家庭訪問による問題点の発見及び行政との連絡調整 2 各種健康診査、健康相談等の受診勧奨 3 食生活の改善に関する地区の自主活動促進 ・ 保健推進事業委託料 1,767千円 ・ 館山市保健推進協議会補助金 314千円 外
4 衛生費	歯科保健事業 【 P135 歯科保健費 】 【 健康課 】	1,488	1,031	1,130	△8.8%	妊婦及び子どもの歯科疾患予防のため、正しい知識の普及啓発を行った。 1 フッ化物歯面塗布業務委託料 554千円 [受診者数] 168人（受診率 43.9%） 2 妊婦歯科健康診査委託料 456千円 [受診者数] 76人（受診率 40.0%） 外
4 衛生費	母子保健育児支援事業 【 P135 母子保健育児支援費 】 【 健康課 】	31,097	26,685	30,751	△13.2%	母子保健の推進及び安心した子育て生活のため、支援が必要とされる人に対するサポート事業を実施した。 1 産後ケア事業委託料 2,992千円 出産後、産後ケアを希望する産婦に対し、心身のケアや育児支援を行った。 [利用者数（実／延）] 日帰り型 13／24人 宿泊型 26／39人 訪問型 22／37人 2 妊婦支援給付金 17,900千円 妊娠期から出産・子育てまで一貫した相談支援とともに、経済的支援として給付金を支給した。 ・ 妊娠届出をした妊婦（妊婦1人当たり5万円） 9,500千円 [支給件数] 190件 ・ 産婦（子ども1人当たり5万円） 8,400千円 [支給件数] 168件 3 未熟児養育医療給付費 3,213千円 未熟児の生命保護・健康増進のため、出生後の入院医療費の給付を行った。 外 [給付者数] 3人 ◆ 妊婦支援給付金の支給対象者の減少による

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
4 衛生費	母子健康診査事業 【 P137 母子健康診査費 】 【 健康課 】	24,885	23,243	24,139	△3.7%	安心して出産や子育てができるように、母子保健法に基づき、妊婦・乳児一般健康診査事業等を実施した。 1 妊婦・乳児一般健康診査委託料 19,160千円 2 新生児聴覚スクリーニング検査委託料 352千円 3 1歳6カ月児精密健康診査委託料 9千円 4 3歳児健康診査等委託料 119千円 外
4 衛生費	安房郡市広域市町村圏事務組合保健衛生総務費負担金 【 P137 一部事務組合負担金 】 【 健康課 】	51,500	51,500	50,485	+2.0%	地域住民の生命と健康を守るため、安房郡市広域市町村圏事務組合が実施する救急医療に関する保健衛生総務費を負担し、救急医療体制の確保・充実に努めた。 1 夜間急病診療事業 13,513千円 毎夜間（19時～22時）における急病患者の初期診療を行った。 〔実績・件数〕1,381件（うち館山市分722件） 2 病院群輪番制病院運営事業 33,242千円 救急医療体制の二次医療機関として、土曜午後（12時～17時）、日曜休日昼間（8時～17時）及び毎夜間（17時～翌朝8時）の病院群輪番制運営事業を行った。 〔実績・件数〕9,924件（うち館山市分4,889件） 3 在宅当番医制事業 862千円 国民の休日及び日曜日における一次医療機関として、在宅当番医制事業を行った。 〔実績・件数〕336件（うち館山市分72件） 4 安房地域医療センター救急センター建設事業等補助事業 3,883千円 ◆ 診療件数に基づく負担割合の増加による
4 衛生費	救急医療事業運営費補助金 【 P137 地域医療体制推進費 】 【 健康課 】	67,791	65,567	67,790	△3.3%	救急医療体制の充実を図るため、二次救急医療を担う救急告示病院に対し、救急医療事業運営費の補助を行った。 〔補助対象及び補助額〕 社会福祉法人太陽会 60,721千円 医療法人徳洲会及び医療法人社団慶勝会 4,846千円 ◆ 補助金額の算出に係る財政力指数の変化による減
4 衛生費	コミュニティ医療推進活動支援補助金 【 P137 地域医療体制推進費 】 【 健康課 】	3,090	3,090	3,172	△2.6%	地域の健康や医療体制の充実強化を図るため、ふるさと納税寄付金を原資としたコミュニティ医療推進基金を活用し、地域医療団体が実施するコミュニティ医療推進活動を支援した。 〔補助対象〕 社会福祉法人太陽会 〔補助事業〕 ① 安房医療福祉専門学校における看護師養成に対する支援 2,565千円 （コミュニティ医療推進基金充当） ② 安房医療福祉専門学校学生寮など看護学生の修学環境向上への支援 525千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
4 衛生費	生活習慣病等予防対策事業	51,399	47,474	47,409	+0.1%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 生活習慣病、結核及びびがん等の早期発見・治療のため、効果的な各種検診を行った。
	【 P139 健康診査費 】					
	【 P139 がん検診費 】					
	【 P139 歯周病検診費 】					
	【 健康課 】					

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説明																																																																																																																																																																										
4 衛生費	予防接種事業	121,350	93,351	138,799	△32.7%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）																																																																																																																																																																										
	【 P139 予防接種費 】 【 健康課 】					乳幼児・学童・高齢者の疾病予防のため、各種予防接種を行った。 <table><tr><th colspan="2">主な予防接種</th><th>対 象 者</th><th>予防効果</th><th>決算額 (千円)</th><th>人数 (人)</th><th>単価(円)</th><th>受診率</th><th>公費負担割合</th></tr><tr><td rowspan="15">乳 幼 児 ・ 学 童</td><td rowspan="10">定 期</td><td>ロタ</td><td>生後2カ月～32週未満</td><td>急性胃腸炎</td><td>5,061</td><td>341</td><td>9,990 15,020</td><td>65.7%</td><td>全額</td></tr><tr><td>B型肝炎</td><td>1歳未満</td><td>B型肝炎</td><td>3,512</td><td>509</td><td>6,900</td><td>98.1%</td><td>全額</td></tr><tr><td>ヒブ</td><td>生後2～60カ月未満</td><td>細菌性髄膜炎</td><td>210</td><td>22</td><td>9,550</td><td>3.2%</td><td>全額</td></tr><tr><td>小児用肺炎球菌</td><td>生後2～60カ月未満</td><td>細菌性髄膜炎</td><td>8,854</td><td>701</td><td>12,630</td><td>101.3%</td><td>全額</td></tr><tr><td>五種混合</td><td>生後2～90カ月未満</td><td>ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・Hib</td><td>14,276</td><td>686</td><td>20,810</td><td>100.3%</td><td>全額</td></tr><tr><td>四種混合</td><td>生後2～90カ月未満</td><td>ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ</td><td>917</td><td>77</td><td>11,910</td><td>11.3%</td><td>全額</td></tr><tr><td>二種混合</td><td>11～13歳未満</td><td>ジフテリア・破傷風</td><td>1,274</td><td>240</td><td>5,310</td><td>82.8%</td><td>全額</td></tr><tr><td>B C G</td><td>1歳未満</td><td>結核</td><td>2,076</td><td>175</td><td>11,860</td><td>101.2%</td><td>全額</td></tr><tr><td>麻しん・風しん</td><td>1歳児 小学校就学前1年間</td><td>麻しん・風しん</td><td>4,029</td><td>354</td><td>11,380</td><td>99.4%</td><td>全額</td></tr><tr><td>水痘</td><td>生後12～36カ月未満</td><td>水痘</td><td>3,101</td><td>321</td><td>9,660</td><td>98.5%</td><td>全額</td></tr><tr><td rowspan="2">日本脳炎</td><td>生後36～90カ月未満</td><td rowspan="2">日本脳炎</td><td>4,364</td><td>527</td><td>8,280</td><td>92.5%</td><td>全額</td></tr><tr><td>9～13歳未満 外</td><td>1,895</td><td>254</td><td>7,460</td><td>42.4%</td><td>全額</td></tr><tr><td>子宮頸がん</td><td>中学1年～高校1年相当年齢の女子 平成9～18年度生れの女性</td><td>ヒトパピローマ ウイルス感染症</td><td>10,809</td><td>391</td><td>17,080 27,700</td><td>78.5%</td><td>全額</td></tr><tr><td rowspan="5">成 人</td><td>高齢者インフルエンザ</td><td>65歳以上 60歳～65歳診 腎・呼吸器機能不全 (身障手帳1級)</td><td>インフルエンザ</td><td>16,080</td><td>10,480</td><td>1,500</td><td>59.4%</td><td>一部</td></tr><tr><td>高齢者肺炎球菌</td><td>65から66歳未満</td><td>高齢者の肺炎</td><td>270</td><td>164</td><td>1,500</td><td>29.0%</td><td>一部</td></tr><tr><td>新型コロナウイルス</td><td>65歳以上 60歳～65歳診 腎・呼吸器機能不全 (身障手帳1級)</td><td>新型コロナウイルス</td><td>7,457</td><td>1,596</td><td>4,500</td><td>9.0%</td><td>一部</td></tr><tr><td>帯状疱疹</td><td>65歳以上 60歳～65歳診 腎・呼吸器機能不全 (身障手帳1級)</td><td>帯状疱疹ウイルス</td><td>8,417</td><td>1,467</td><td>3,000 6,000</td><td>19.3%</td><td>一部</td></tr><tr><td>麻しん・風しん</td><td>S37.4.2～S54.4.1生れの男性 (予防接種は抗体検査の陰性者)</td><td>麻しん・風しん</td><td>84</td><td>8</td><td>10,560</td><td>11.1%</td><td>全額</td></tr><tr><td rowspan="2">任 意</td><td>中学3年生インフルエンザ</td><td>中学3年生</td><td>インフルエンザ</td><td>281</td><td>187</td><td>1,500</td><td>56.8%</td><td>一部</td></tr><tr><td>麻しん・風しん</td><td>妊娠を希望する20～ 41歳代の女性と夫</td><td>麻しん・風しん</td><td>176</td><td>38</td><td>3,000 5,000</td><td>0.7%</td><td>一部</td></tr></table>	主な予防接種		対 象 者	予防効果	決算額 (千円)	人数 (人)	単価(円)	受診率	公費負担割合	乳 幼 児 ・ 学 童	定 期	ロタ	生後2カ月～32週未満	急性胃腸炎	5,061	341	9,990 15,020	65.7%	全額	B型肝炎	1歳未満	B型肝炎	3,512	509	6,900	98.1%	全額	ヒブ	生後2～60カ月未満	細菌性髄膜炎	210	22	9,550	3.2%	全額	小児用肺炎球菌	生後2～60カ月未満	細菌性髄膜炎	8,854	701	12,630	101.3%	全額	五種混合	生後2～90カ月未満	ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・Hib	14,276	686	20,810	100.3%	全額	四種混合	生後2～90カ月未満	ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ	917	77	11,910	11.3%	全額	二種混合	11～13歳未満	ジフテリア・破傷風	1,274	240	5,310	82.8%	全額	B C G	1歳未満	結核	2,076	175	11,860	101.2%	全額	麻しん・風しん	1歳児 小学校就学前1年間	麻しん・風しん	4,029	354	11,380	99.4%	全額	水痘	生後12～36カ月未満	水痘	3,101	321	9,660	98.5%	全額	日本脳炎	生後36～90カ月未満	日本脳炎	4,364	527	8,280	92.5%	全額	9～13歳未満 外	1,895	254	7,460	42.4%	全額	子宮頸がん	中学1年～高校1年相当年齢の女子 平成9～18年度生れの女性	ヒトパピローマ ウイルス感染症	10,809	391	17,080 27,700	78.5%	全額	成 人	高齢者インフルエンザ	65歳以上 60歳～65歳診 腎・呼吸器機能不全 (身障手帳1級)	インフルエンザ	16,080	10,480	1,500	59.4%	一部	高齢者肺炎球菌	65から66歳未満	高齢者の肺炎	270	164	1,500	29.0%	一部	新型コロナウイルス	65歳以上 60歳～65歳診 腎・呼吸器機能不全 (身障手帳1級)	新型コロナウイルス	7,457	1,596	4,500	9.0%	一部	帯状疱疹	65歳以上 60歳～65歳診 腎・呼吸器機能不全 (身障手帳1級)	帯状疱疹ウイルス	8,417	1,467	3,000 6,000	19.3%	一部	麻しん・風しん	S37.4.2～S54.4.1生れの男性 (予防接種は抗体検査の陰性者)	麻しん・風しん	84	8	10,560	11.1%	全額	任 意	中学3年生インフルエンザ	中学3年生	インフルエンザ	281	187	1,500	56.8%	一部	麻しん・風しん	妊娠を希望する20～ 41歳代の女性と夫	麻しん・風しん	176	38	3,000 5,000	0.7%
主な予防接種		対 象 者	予防効果	決算額 (千円)	人数 (人)	単価(円)	受診率	公費負担割合																																																																																																																																																																								
乳 幼 児 ・ 学 童	定 期	ロタ	生後2カ月～32週未満	急性胃腸炎	5,061	341	9,990 15,020	65.7%	全額																																																																																																																																																																							
		B型肝炎	1歳未満	B型肝炎	3,512	509	6,900	98.1%	全額																																																																																																																																																																							
		ヒブ	生後2～60カ月未満	細菌性髄膜炎	210	22	9,550	3.2%	全額																																																																																																																																																																							
		小児用肺炎球菌	生後2～60カ月未満	細菌性髄膜炎	8,854	701	12,630	101.3%	全額																																																																																																																																																																							
		五種混合	生後2～90カ月未満	ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・Hib	14,276	686	20,810	100.3%	全額																																																																																																																																																																							
		四種混合	生後2～90カ月未満	ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ	917	77	11,910	11.3%	全額																																																																																																																																																																							
		二種混合	11～13歳未満	ジフテリア・破傷風	1,274	240	5,310	82.8%	全額																																																																																																																																																																							
		B C G	1歳未満	結核	2,076	175	11,860	101.2%	全額																																																																																																																																																																							
		麻しん・風しん	1歳児 小学校就学前1年間	麻しん・風しん	4,029	354	11,380	99.4%	全額																																																																																																																																																																							
		水痘	生後12～36カ月未満	水痘	3,101	321	9,660	98.5%	全額																																																																																																																																																																							
	日本脳炎	生後36～90カ月未満	日本脳炎	4,364	527	8,280	92.5%	全額																																																																																																																																																																								
		9～13歳未満 外		1,895	254	7,460	42.4%	全額																																																																																																																																																																								
	子宮頸がん	中学1年～高校1年相当年齢の女子 平成9～18年度生れの女性	ヒトパピローマ ウイルス感染症	10,809	391	17,080 27,700	78.5%	全額																																																																																																																																																																								
	成 人	高齢者インフルエンザ	65歳以上 60歳～65歳診 腎・呼吸器機能不全 (身障手帳1級)	インフルエンザ	16,080	10,480	1,500	59.4%	一部																																																																																																																																																																							
		高齢者肺炎球菌	65から66歳未満	高齢者の肺炎	270	164	1,500	29.0%	一部																																																																																																																																																																							
新型コロナウイルス		65歳以上 60歳～65歳診 腎・呼吸器機能不全 (身障手帳1級)	新型コロナウイルス	7,457	1,596	4,500	9.0%	一部																																																																																																																																																																								
帯状疱疹		65歳以上 60歳～65歳診 腎・呼吸器機能不全 (身障手帳1級)	帯状疱疹ウイルス	8,417	1,467	3,000 6,000	19.3%	一部																																																																																																																																																																								
麻しん・風しん		S37.4.2～S54.4.1生れの男性 (予防接種は抗体検査の陰性者)	麻しん・風しん	84	8	10,560	11.1%	全額																																																																																																																																																																								
任 意	中学3年生インフルエンザ	中学3年生	インフルエンザ	281	187	1,500	56.8%	一部																																																																																																																																																																								
	麻しん・風しん	妊娠を希望する20～ 41歳代の女性と夫	麻しん・風しん	176	38	3,000 5,000	0.7%	一部																																																																																																																																																																								
4 衛生費	後期高齢者生活習慣病等予防対策事業	19,227	16,338	14,906	+9.6%	生活習慣病の早期発見・治療や介護予防のため、後期高齢者健康診査を行った。 [主な内容] 後期高齢者健康診査 16,338千円 1,770人 ◆ 受診者数の増加による																																																																																																																																																																										
	【 P141 後期高齢者生活習慣病 予防費 】 【 健康課 】																																																																																																																																																																															

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
4 衛生費	浄化槽設置事業補助金 【 P141 浄化槽普及対策費 】 【 下水道課 】	2,000	800	800	0.0%	生活排水による河川・海域等公共水域の水質汚濁を防止するため、「単独処理浄化槽」又は「くみ取り便槽」を撤去して「合併処理浄化槽」を設置する者に対し補助金を交付し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 [補助対象] 合併処理浄化槽の設置費、単独処理浄化槽・くみ取り便槽の撤去費 [補助金額] 200千円（設置補助：150千円 撤去補助：50千円） [補助件数] 4件（単独処理浄化槽からの転換：3件 くみ取り便槽からの転換：1件）
4 衛生費	水質検査等委託事業 【 P141 公害対策費 】 【 環境課 】	1,947	1,698	1,479	+14.8%	市民の健康を守るとともに、快適な生活環境を保全するため、水質の調査・測定を実施した。 1 河川水質調査 814千円 河川 8カ所 年2回実施 汐入川・平久里川・巴川・どんどん川 河川 1カ所 年2回実施 最終処分場水処理施設からの放流水 2 浸出水等水質調査 824千円 浸出水 7カ所 年1回実施 埋立地・工場跡地等の浸出水 3 地下水水質調査 60千円 地下水 2カ所 年1回実施 クリーニング店等の地下水
4 衛生費	住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 【 P141 温暖化対策費 】 【 環境課 】	5,720	4,722	3,284	+43.8%	千葉県補助金を活用して、住宅用設備等を導入した者に対して補助金を交付し、地球温暖化対策及び脱炭素化を推進した。 [対象] 設置者（個人） [補助金額（件数）] 1 定置用リチウムイオン蓄電システム 2,310千円（33件） （上限70千円） 2 窓の断熱改修 1,022千円（19件） （補助対象経費の1／4 上限80千円） 3 電気自動車（EV車） 600千円（4件） （住宅用太陽光発電設備・V2H充放電設備併設 上限150千円） 4 プラグインハイブリッド自動車（PHV） 150千円（1件） （住宅用太陽光発電設備・V2H充放電設備併設 上限150千円） 5 プラグインハイブリッド自動車（PHV） 300千円（3件） （住宅用太陽光発電設備併設 上限100千円） 6 V2H充放電設備 340千円（3件） （補助対象経費の1／10 上限250千円） ◆ 申請件数の増加による補助金の増
4 衛生費	安房郡市広域市町村圏事務組合火葬場 運営費負担金 【 P143 一部事務組合負担金 】 【 環境課 】	56,985	56,985	56,912	+0.1%	安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、火葬場運営事業に係る負担金を支出し、構成市として応分の負担をした。 安房聖苑 : 南房総市山名345番地 長狭地区火葬場：鴨川市東町1850番地の17

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
4 衛生費	一般廃棄物処理基本計画策定事業 【 P143 清掃総務事務費 】 【 環境課 】	1,760	1,760	2,035	△13.5%	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図りつつ一般廃棄物の適正な処理を行うため、一般廃棄物処理基本計画の策定を行った。 [策定期間] 令和6年度・令和7年度（令和8年2月策定） 令和7年度実施内容 各項目の整理、素案作成、パブリックコメント実施・整理 [計画期間] 令和8年度～令和22年度 一般廃棄物処理基本計画策定業務委託 令和7年度 1,760千円（総額 3,795千円）
4 衛生費	ボランティア用ごみ袋費 【 P143 清掃総務事務費 】 【 環境課 】	2,067	2,066	0	皆増	ボランティア用ごみ袋を製造し、市民や団体に配布したことで、環境美化活動に活用され、市内の環境美化が図られた。 製造数 45L：320箱（1箱50組500枚） 材 質 バイオマスプラスチック（植物由来の原料） ◆ 在庫減少による皆増
4 衛生費	ごみ指定袋費 【 P145 ごみ指定袋費 】 【 環境課 】	19,761	19,041	22,018	△13.5%	可燃ごみの搬出に用いるごみ指定袋の製造、保管及び配送業務を委託し、ごみ指定袋の適正な保管・在庫管理及び取扱店への配送を行った。 1 可燃ごみ用指定袋製造業務 12,741千円 製造数 45L：1,300箱 30L：1,200箱 15L：800箱（1箱50組500枚） 材 質 バイオマスプラスチック（植物由来の原料） 2 可燃ごみ用指定袋保管・配送業務 6,300千円 事業概要 ① 市が製造した可燃ごみ用指定袋の保管・在庫管理 ② 可燃ごみ用指定袋取扱店からの発注受付及び配送 ◆ ごみ指定袋の種類（45L、30L、15L）の製造割合の変更による減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
4 衛生費	ごみ収集費（可燃ごみ） 【 P145 ごみ収集費（可燃ごみ） 】 【 環境課 】	121,721	121,672	122,394	△0.6%	可燃ごみ用指定袋の取扱店に対し、ごみ処理手数料の徴収及び可燃ごみ用指定袋の交付事務（可燃ごみ用指定袋の販売）を委託した。 また、ごみ搬出場所に搬出された可燃ごみの収集運搬業務を委託し、可燃ごみの適正処理を行った。 1 ごみ処理手数料徴収事務委託（可燃ごみ用指定袋） 5,892千円 取扱店数：109店舗（令和7年度末現在） 交付組数：計196,399組（45L：90,092組 30L：64,448組 15L：41,859組） 2 可燃ごみ収集運搬業務委託 115,104千円 搬出場所数：1,741カ所（令和7年度末現在） 収集回数：各地区週2回（1月1日～3日を除く） [令和7年度可燃ごみ搬入量] 委託業者収集分 約 8,369 t その他（許可業者・自己搬入等） 約 6,660 t 計 約15,029 t 3 動物死体回収業務委託 外 676千円
4 衛生費	ごみ収集費（再資源化ごみ） 【 P145 ごみ収集費（再資源化ごみ） 】 【 環境課 】	223,181	207,762	209,942	△1.0%	粗大ごみ処理券の取扱店に対し、ごみ処理手数料の徴収及び粗大ごみ処理券の交付事務（粗大ごみ処理券の販売）を委託した。 また、再資源化ごみの収集運搬及び処理業務等を委託し、再資源化ごみの分別処理及び、可燃ごみの焼却処理量の削減を行い、循環型社会の形成を推進した。 1 再資源化ごみ収集運搬・処理業務委託 207,058千円 搬出場所数：1,741カ所（令和7年度末現在） 収集回数：各地区月2～5回（1月1日～3日を除く） ※品目により異なる [再資源化対象] 金属類、ガラス類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、古紙類、飲料用紙パック [令和7年度再資源化量] 2,242 t 2 ごみ処理手数料徴収事務委託（粗大ごみ処理券） 外 704千円 ◆ 処理量の減少に伴う委託料の減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
4 衛生費	清掃センター定期点検修繕事業 【 P147 清掃センター運営費 】 【 環境センター 】	108,889	105,589	89,760	+17.6%	清掃センター（ごみ焼却施設）を安定稼働させるため、主要設備の点検修繕を行った。 [実施内容] 焼却施設定期点検修繕 ・ 受入供給設備点検整備 ・ 燃焼設備点検整備 ・ 燃焼ガス冷却設備整備 ・ 排ガス処理設備点検整備 ・ 通風設備点検整備 ・ 計装制御設備点検整備 ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる増
4 衛生費	粗大ごみ処理設備管理運営事業 【 P147 清掃センター運営費 】 【 環境センター 】	49,599	49,599	49,599	0.0%	清掃センターに搬入された資源ゴミのリサイクルに係る管理運営業務の委託を行った。 [事業名] マテリアルリサイクル設備管理運営業務 [事業期間] 令和5年度～令和7年度 [事業総額] 148,797千円（うち令和7年度分：49,599千円） [処理量] 616,875kg
4 衛生費	清掃センター設備・機械等改修事業 【 P147 清掃センター運営費 】 【 環境センター 】	28,597	28,597	36,561	△21.8%	清掃センター（ごみ焼却施設）を安定稼働させるため、設備等の改修を行った。 [実施内容] 1 監視カメラ設備更新工事 19,239千円 2 受水槽更新工事 6,930千円 3 灰汚水槽蓋更新工事 1,438千円 4 深井戸ポンプ交換工事 990千円 ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる減
4 衛生費	最終処分場水処理設備・機械等改修事業 【 P149 最終処分場運営費 】 【 環境センター 】	6,468	5,049	4,818	+4.8%	最終処分場を安定稼働させるため、設備等の改修を行った。 [実施内容] 1 電気設備修繕工事 3,817千円 2 給水ポンプ配管更新工事 1,232千円
4 衛生費	衛生センター定期点検修繕事業 【 P149 衛生センター運営費 】 【 環境センター 】	32,329	24,858	20,592	+20.7%	衛生センター（し尿処理施設）を安定稼働させるため、主要設備の点検修繕を行った。 [実施内容] 1 前処理機点検整備 14,168千円 2 遠心脱水機点検補修 9,920千円 3 深井戸ポンプ引揚据付 770千円 ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
4 衛生費	し尿収集運搬運営事業費補助金 【 P151 し尿収集運搬費 】 【 環境課 】	55,000	42,318	30,174	+40.2%	市民の衛生的な生活環境の確保と負担軽減を図るとともに、し尿収集運搬事業の安定と円滑な運営を支援するため、し尿収集運搬運営事業に対し補助金を交付した。 [補助対象] し尿収集運搬業許可業者 [補助金額] 売上高等から一般管理費等を差し引いた損失額の補助 売上高等：し尿収集運搬売上高等 79,536千円 一般管理費等：給料、し尿処理手数料等 121,854千円 ◆ 補助金の算定方法を見直したことによる増
4 衛生費	安房郡市広域市町村圏事務組合水道事業統合協議事務費負担金 【 P151 一部事務組合負担金 】 【 環境課 】	66,219	66,219	33,106	+100.0%	安房地域における水道事業の統合を推進するため、安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、構成市として応分の負担をした。 水道事業統合支援業務委託 外 ◆ 水道事業システム統合に要する経費の増
4 衛生費	三芳水道企業団負担金及び出資金 【 P151 一部事務組合負担金 】 【 環境課 】	270,131	270,123	217,383	+24.3%	安全で良質な水の安定供給を確保するため、三芳水道企業団に対し、構成市として応分の負担をした。 1 三芳水道企業団負担金 227,085千円 (県水道料金との格差是正のための負担) 2 三芳水道企業団出資金 43,038千円 (災害対策・末端水道管耐震化に対する出資) ◆ 地方公営企業繰出金基準の改正による出資金の増
6 農林水産業費	新規就農者育成総合対策経営開始資金 【 P153 農業者育成費 】 【 農水産課 】	2,250	2,250	5,700	△60.5%	青年の就農意欲喚起及び就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後（5年以内）の若手農業者に対し支援を行った。 経営開始資金 1,500千円／年 （給付対象：2名） ◆ 給付対象者の減少による
6 農林水産業費	農業経営所得安定対策事業 【 P153 水田農業推進費 】 【 農水産課 】	11,543	10,896	10,712	+1.7%	農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、もって食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持することを目的とした「経営所得安定対策」の推進を行った。 ・ 農業経営所得安定対策推進事業補助金 4,639千円 ・ 飼料用米等拡大支援事業補助金 1,595千円 ・ 植物防疫事業補助金 420千円 ・ その他（会計年度任用職員報酬・手当 外） 4,242千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	中山間地域等直接支払交付金 【 P155 中山間地域等 直接支払制度費 】 【 農水産課 】	3,685	3,684	4,143	△11.1%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 耕作放棄地の発生を防止し、農地の持つ多面的機能の維持を図るため、中山間地域などの農業生産条件が不利な地域において、協定に基づき5年以上農業生産活動続ける農業者に対して交付金の交付を行った。 ・ 集落協定 6集落(加藤、久所、鴨田、畑中、横枕、田辺) 参加農家戸数：87戸、面積：52.7ha、交付金：3,374千円 ・ 個別協定 認定農業者 1名 面積：3.6ha、交付金：310千円
6 農林水 産業費	「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業補助金 【 P155 生産団体支援費 】 【 農水産課 】	2,214	2,082	501	+315.6%	産地間競争への対応、経営の強化を目的として整備される園芸生産施設及び機械の整備について支援を行い、園芸の振興を図った。 [補助対象] 認定農業者2件（花卉生産者） [補助内容] 鉄骨ハウス改修等 [補助率] 事業費の1／4以内 ◆ 補助対象事業費等の増加による
6 農林水 産業費	廃プラスチック処理対策推進事業補助金 【 P155 農業環境対策費 】 【 農水産課 】	1,410	956	887	+7.8%	園芸用廃プラスチック類の適正な処理及び利活用を推進するため、資源の有効利用を図る取組に対し支援を行い、農村環境の保全と園芸の振興を図った。 [補助対象] 館山市廃プラスチック対策協議会（構成団体：13団体） [回収処理実績] 年4回（通常回収4回） 処理量：19,770kg [負担割合] ① 処理経費分（全農千葉11% 県11% 市28% 受益者50%） ② 運搬経費分（市50% 受益者50%）

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
6 農林水 産業費	有害鳥獣対策費 【 P155 有害鳥獣対策費 】 【 農水産課 】	52,809	52,774	40,574	+30.1%	鳥獣による農作物の被害等を抑えるため、鳥獣の捕獲事業、防護柵の設置及び地域ぐるみの活動について支援等を行った。 1 有害鳥獣対策事業委託料 30,354千円 ・ イノシシ 2,675頭、シカ 67頭、キョン 168頭、サル 7頭、その他 615頭 2 鳥獣被害防止対策事業補助金 4,494千円 ・ 防護柵整備補助 2,855千円（定額） ・ 捕獲用わな購入補助 1,639千円（県1／2 市1／2） 3 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金 16,554千円 4 鳥獣被害防止対策設備設置事業補助金 899千円 ・ 防護柵整備市単独補助 599千円（市1／2） ・ 捕獲用わな作製用資材費補助 300千円（市1／2） 5 狩猟免許取得等補助金 317千円 ① わな猟免許及び第一種銃猟免許取得に係る費用支援 ② 猟銃所持許可（新規）に係る費用支援 ③ 猟銃及び猟銃・装弾保管庫購入に係る費用支援 ④ 猟銃所持許可（更新）に係る費用支援 6 放射能測定装置校正点検、旅費 156千円 ◆ イノシシ捕獲頭数増加に伴う事業費の増
6 農林水 産業費	有害鳥獣対策費（施設費） 【 P157 有害鳥獣対策費 （施設費） 】 【 農水産課 】	12,367	10,470	9,234	+13.4%	捕獲従事者の捕獲個体処分に係る労力軽減と埋却処分による環境汚染対策のため、焼却処理施設を運営した。 [設備種類] 有害鳥獣専用焼却炉、焼却前冷凍保管庫 外 [処理能力] 0.4 t／日 [受入体制] 月曜日～日曜日 7：30～11：30（水曜日・金曜日のみ7：30～12：30） 会計年度職員各日2名 [受入実績] イノシシ1,204頭（25,584kg） 他合計1,523頭（27,762kg） 1 会計年度任用職員報酬等 5,231千円（5名） 2 その他燃料費 1,712千円 3 焼却灰処理業務委託料 589千円 外 ◆ 会計年度任用職員の人件費増加に伴う報償費の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
6 農林水 産業費	食のまちづくり拠点施設指定管理事業 【 P157 食のまちづくり 拠点施設費 】 【 食のまちづくり推進課 】	20,543	20,294	21,418	△5.2%	民間事業者のノウハウ等を活用し、食のまちづくりの推進を図るため、指定管理者制度により、拠点施設の維持管理及び運営を行った。 1 指定管理料 19,690千円 [指定管理者] (株)ロードサイドステーション館山 [期間] 令和6年2月～令和25年3月 [業務] 食のまちづくり拠点施設の維持管理及び運営に関する業務 ・ 建築物や設備等の保守管理、清掃、警備、修繕などの施設の維持管理 ・ トイレ、駐車場、情報発信、物販、飲食、加工などの施設の運営 2 誘導案内看板作製委託料 604千円 [業務] 誘導案内看板の設置 1箇所 ◆ 令和6年度に実施した実証事業を、令和7年度は実施しなかったことによる減
6 農林水 産業費	ジビエ加工処理施設指定管理事業 【 P159 ジビエ加工処理施設費 】 【 食のまちづくり推進課 】	2,859	2,706	3,083	△12.2%	民間事業者のノウハウ等を活用し、ジビエ事業の推進を図るため、指定管理者制度により、加工処理施設の維持管理及び運営を行った。 [指定管理者] 合同会社アルコ [指定期間] 令和3年12月24日～令和18年3月31日（約15年間） [業務内容] 捕獲されたイノシシ等の解体、飲食店等への供給 外
6 農林水 産業費	飼料高騰緊急支援給付金 【 P159 飼料高騰緊急支援給付金費 】 【 農水産課 】	24,560	19,640	0	皆増	国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用して、輸入飼料等の価格高騰により影響を受けた畜産農家等を支援した。 【給付対象者】 畜産業（乳牛・肉牛・豚・鶏）を営む個人又は法人 【給付基準額】※乳牛の採食量を基準とする 乳牛一頭当たり 20,000円 × 812頭 = 16,240千円 肉牛一頭当たり 約6,700円 × 166頭 = 1,100千円 豚一頭当たり 2,000円 × 0頭 = 0千円 鶏一羽当たり 約45円 × 51,000羽 = 2,300千円 ◆ 令和7年度臨時的事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	土地改良施設維持管理適正化事業 【 P159 土地改良費 】 【 農水産課 】	1,330	1,328	4,772	△72.2%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 施設の機能維持及び農業用水の安定供給を図るための土地改良施設の維持管理適正化事業に対して、事業費の一部を負担した。 [事業主体] 安房中央土地改良区 [事業内容] 防潮堰整備補修、揚水機場整備補修 [負担割合] 国30% 県30% 市20% 土地改良区20% 1 平久里川防潮堰負担金 76千円 2 国分高井揚水機場負担金 434千円 3 菌揚水機場負担金 200千円 4 湊高井揚水機場負担金 86千円 5 農業用施設監視カメラ負担金 406千円 6 国分高井堰負担金 126千円 ◆ 対象事業負担金の減少による減
6 農林水 産業費	農業基盤整備促進事業補助金 【 P159 土地改良費 】 【 農水産課 】	3,150	2,677	2,698	△0.8%	安房中央土地改良区が実施する農業用用水路及びパイプライン等の維持補修工事について補助を行い、安定した農業用水の確保を図った。 [補助対象] 安房中央土地改良区 [事業箇所] 安房中央地区 [事業内容] パイプライン、排水路の補修 [事業負担割合] 国55% 県14% 市21% 土地改良区10%
6 農林水 産業費	農業用ため池廃止事業 【 P161 農業用施設費 】 【 農水産課 】	10,000	9,789	0	皆増	防災重点農業用ため池に指定されている二子下堰を廃止するため、ため池廃止に係る実施計画を策定した。 [委託場所] 二子下堰（館山市二子地内） [委託内容] ため池廃止実施計画策定委託 ◆ 令和7年度新規事業による皆増
6 農林水 産業費	補修修繕用材料費 【 P161 農業用施設費 】 【 農水産課 】	4,450	3,716	4,416	△15.9%	農道、農業用排水路等の維持管理・改修等を行う団体（集落）に対して必要な補修用資材を交付し、農林業生産基盤の整備を行った。 [申 請 者] 農業協力員 [地 区 数] 34地区 [支給資材] 生コンクリート、砕石、コンクリート二次製品等

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	小規模土地改良事業補助金 【 P161 農業用施設費 】 【 農水産課 】	2,011	2,002	1,809	+10.7%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） ため池・農道・用排水路等の破損補修や新規施設の設置など、小規模な土地改良事業を実施する地域団体に対して補助を行った。 [事業主体] 佐野地区 外 [事業件数] 4件 [事業内容] 農業用ポンプ交換 外 [補 助 率] 該当事業費の1／2以内 [補 助 額] 2,002千円
6 農林水 産業費	多面的機能支払交付金 【 P161 農地等保全管理費 】 【 農水産課 】	29,000	28,895	26,860	+7.6%	過疎化・高齢化の進行を踏まえ、集落を支える体制の強化や農村環境の保全と向上を図るため、地域ぐるみで農地や農業用水等の資源を守る共同活動の取組みを行う集落（組織）に対して支援した。 [支援対象] 活動範囲内の農地面積により交付 [負担割合] 国50% 県25% 市25% [対象地区] 16組織 [交付金額] 28,895千円 ◆ 令和7年度新規組織設立に伴う事業費の増
6 農林水 産業費	漁業共済事業補助金 【 P163 水産振興支援費 】 【 農水産課 】	2,500	2,380	2,290	+3.9%	災害等による損失補てんを目的とする漁業共済に加入した漁業者に対して、補助金を交付し漁業経営の安定を図った。 [交付対象] 市内3漁業協同組合（館山漁協、西岬漁協、波左間漁協） [補 助 率] 自己負担率（共済組合）の10% [補助金額] 館山漁協2,034千円 西岬漁協223千円 波左間漁協123千円
6 農林水 産業費	東京湾漁業総合対策事業補助金 【 P163 水産振興支援費 】 【 農水産課 】	2,015	2,015	1,930	+4.4%	作業の省力化を目的に導入する資機材を購入する漁業協同組合に対して、補助金を交付し漁業経営の安定を図った。 事業主体：館山漁業協同組合 フォークリフト [補 助 率] 県5／10 市1.5／10 [補助金額] 2,015千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	稚貝放流事業補助金 【 P163 栽培漁業支援費 】 【 農水産課 】	2,397	1,708	1,798	△5.0%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市内3漁業協同組合が実施する磯根資源（さざえ、あわび、はまぐり）の保護・繁殖のための稚貝放流や藻場回復事業に対し補助を行い、沿岸漁業の振興と漁家経営の安定を図った。 1 あわび種苗放流事業補助金 644千円 [補 助 率] 事業費の1/2 [補助金額] 館山漁協321千円 西岬漁協303千円 波左間漁協20千円 2 東京湾漁業総合対策事業補助金（さざえ） 850千円 [補 助 率] 事業費の1/2（県3/10 市2/10） [補助金額] 館山漁協600千円 西岬漁協200千円 波左間漁協50千円 3 東京湾漁業総合対策事業補助金（藻場） 182千円 [補 助 率] 事業費の70%（県7/10 市0） [補助金額] 西岬漁協42千円 波左間漁協140千円 4 はまぐり種苗放流事業補助金 32千円 [補 助 率] 事業費の2/10（2/10） [補助金額] 波左間漁協32千円
6 農林水 産業費	漁港管理事業 【 P163 漁港管理費 】 【 P163 漁港管理費 （繰越明許費） 】 【 農水産課 】	32,283	16,236	31,784	△48.9%	漁船航行の安全性確保や漁港機能を維持するため、漁港の泊地に堆積した土砂撤去や既設漁港施設の補修工事を行った。 また、補修用資材の支給により漁港施設の補修を行い漁港施設の維持を図った。 1 測量調査委託料 649千円 波左間漁港進入路 測量業務委託 2 漁港維持工事 14,981千円 ① 漂砂除去 480m³（波左間） 5,053千円 ② その他維持工事等（伊戸・洲崎・波左間） 822千円 ③ 道路護岸補修工事 L=47m（波左間）前払金 7,450千円 ③ 船曳場補修（下原（塩見））（繰越明許費） 1,656千円 3 漁港施設補修用材料費 606千円 航路標識灯、耐候性大型土のう、集水桝蓋等 ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分15,050千円含む ◆ 令和6年度とは事業内容が異なることによる減

※ 事業欄の下端【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
6 農林水 産業費	県営漁港工事負担金 【 P163 漁港建設費 】 【 農水産課 】	2,250	909	12,012	△92.4%	千葉県が実施する県営漁港の整備に対して、事業費の一部を負担した。 1 富崎漁港 集水桝補修 N=2箇所 蓋版設置（撤去） N=12枚 2 船形漁港 防砂柵補修 L=21m 防風柵設置 L=6m 負担金割合：漁港整備事業 県 50.0% 市 50.0% 海岸保全事業 県 87.5% 市 12.5% ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分 1,250千円含む ◆ 令和6年度とは事業内容が異なることによる減
7 商工費	消費生活推進事業 【 P165 消費生活相談対策費 】 【 市民協働課 】	2,469	2,232	2,014	+10.8%	多様化する消費生活トラブルに対し、消費者相談業務や啓発活動を実施し、市民の安全確保や被害の未然防止に努めた。 [相談件数] 146件（令和6年度130件 令和5年度143件 令和4年度207件） [啓発活動（実施回数）] 振り込め詐欺防止キャンペーン（6回） 出前講座（8回） ・ 会計年度任用職員報酬 1,362千円 外

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
7 商工費	中小企業融資事業 【 P165 中小企業融資費 】 【 雇用商工課 】	58,247	57,777	56,479	+2.3%	中小企業の振興を図るため、館山市中小企業融資等の借入を行った中小企業者に対して、保証料及び利子の一部を補給した。 1 小規模事業者経営改善資金利子補給金 4,516千円（121件） 小規模事業者経営改善資金を受けた中小企業者に対して、3年以内を限度にその資金に対する利子の一部を補給 [利子補給率]1.0% 2 中小企業融資保証料補給金 1,127千円（51件） 館山市中小企業融資の借入を行った中小企業者に対して、3年以内を限度に保証料の一部を補給 [保証料補給率]50% 3 中小企業融資利子補給金 1,852千円（73件） 館山市中小企業融資の借入を行った中小企業者に対して、3年以内を限度に利子の一部を補給 [利子補給率]1.0% 4 中小企業融資預託金 50,000千円 中小企業者の事業資金の融資の円滑化を図るため、市内各金融機関の預託 5 その他 282千円 ◆ 小規模事業者経営改善資金及び中小企業融資の利子補給額の増
7 商工費	商工関係団体支援事業 【 P167 商工関係団体支援費 】 【 雇用商工課 】	8,213	8,063	8,420	△4.2%	商工業や伝統工芸品産業の振興を図るため、商工関係団体の運営や事業の支援を行った。 1 房州うちわ振興協議会補助金 150千円 国指定の伝統的工芸品である房州うちわの振興のための助成 2 商店会連合会補助金 674千円 商店会の組織強化・育成等への助成 3 館山たばこ販売組合補助金 100千円 啓発事業に対する助成 たばこ販売促進や清掃美化活動、20歳未満喫煙防止啓発キャンペーン等 4 館山商工会議所補助金 7,071千円 小規模事業者の経営改善普及事業の推進、税務指導の充実等、商工業の総合的な改善発展のための事業助成 5 その他（会議等出席負担金） 68千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	企業誘致推進事業 【 P167 企業融資推進費 】 【 雇用商工課 】	1,975	1,947	4,879	△60.1%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市内経済の活性化及び雇用の場の確保を図るため、企業立地及び雇用の促進に関する条例に基づき、企業立地奨励金を支出した。 また、新たな魅力ある雇用の創出等、地域経済の振興を図るため、サテライトオフィス誘致のノウハウを有する専門事業者と連携し支援を行った。 1 企業立地奨励金 1,375千円 [助成対象]新設・増設分にかかる固定資産税・都市計画税収納額 [助成件数]1社※継続 [交付対象]操業を開始した日の翌年の4月1日から3年間 2 サテライトオフィス誘致支援業務委託 550千円 ① 令和6年度に実施した商談企業26社へのフォローアップ ② 効率的な業務遂行と効果的な誘致活動のためのミーティングの開催 年2回 3 その他 22千円 ◆ 業務委託内容変更による減
7 商工費	起業支援事業 【 P167 起業支援費 】 【 雇用商工課 】	1,620	1,620	3,140	△48.4%	地域課題の解決や地域資源の活用に繋がる起業に対する資金補助を行った。 なお、当該事業の実施にあたっては、ふるさと納税制度を活用して資金調達を行った。 1 地域課題解決チャレンジ補助金 1,600千円 [補助対象者]市内の個人事業主または法人 寄附金が目標額に達しなくても事業を実施する者 [補助金額及び補助件数] 800千円×2事業者 [対象経費]事業の開設に係る費用及び事業者等の賃借に係る費用 2 謝礼金 20千円 ◆ 補助金額等の見直しによる減
7 商工費	重点支援地方交付金事業 【 P167 物価高騰重点支援地方 交付金費 】 【 雇用商工課 】	399,013	10,327	0	皆増	食料品等の物価高騰による生活者の負担軽減を図るために、館山市商業協同組合と連携し、域内消費を喚起するための商品券事業を行った。 1 館山くらし応援商品券事業補助金 10,000千円 [事業主体]館山市商業協同組合 [事業概要]3億8,700万円分の商品券作成及び啓発活動（市民一人当たり9千円） 2 その他 327千円 ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分388,781千円を含む ◆ 令和7年度新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
7 商工費	観光振興費 【 P167 観光振興費 】 【 観光みなの課 】	24,967	24,785	19,341	+28.1%	1 観光客誘致のための宣伝や受入体制の強化、体験観光などの推進による地域経済の活性化を図るため、民間団体が行う事業を支援した。 ① 館山市観光協会補助金 14,640千円 (一社)館山市観光協会が実施する各種観光振興事業に対する補助 ② 館山市温泉事業組合補助金 10,000千円 温泉事業推進のため、配湯にかかる経費やPR事業に対する支援 ③ その他負担金 30千円 2 持続的な観光の発展のための安定的な財源としての宿泊税の導入等について検討するため、館山市観光事業審議会を開催した。 委員報酬・会場使用料等 115千円 ◆ 補助対象事業の拡充に伴う補助金額の増
7 商工費	観光振興費（広域連携費） 【 P169 観光振興費(広域連携費) 】 【 観光みなの課 】	1,486	1,411	1,422	△0.8%	観光振興による地域経済活性化を図るため、南房総地域の自治体等との広域連携による各種観光振興事業及び観光プロモーションを実施した。 1 南房総観光連盟負担金 250千円 [事業内容] 観光パンフレットの作成・配布及び千葉県と連携した駅前などでの観光キャンペーンを実施 [構成団体] 安房3市1町及び各観光協会 2 宿泊・滞在型観光推進協議会負担金 1,130千円 [事業内容] ㈱東京湾フェリーとの連携による各種プロモーションの実施やグルメ・ペットなどに着目したプロモーション用動画の作成 [構成団体] 安房3市1町及び富津市 3 その他負担金等 31千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	観光プロモーション費 【 P169 観光プロモーション費 】 【 観光みなの課 】	2,840	2,549	5,061	△49.6%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 首都圏をはじめとする国内での観光プロモーションを行ったほか、台湾の宜蘭県蘇澳鎮との姉妹都市締結式や「台湾ウィーク」を開催した。 1 普通旅費 212千円 各種観光キャンペーンを実施 2 姉妹都市関係（需用費等） 488千円 宜蘭県蘇澳鎮との姉妹都市締結式、「台湾ウィーク」を開催（10月21日～11月7日） 3 負担金（（一社）ロケツーリズム協議会負担金 外） 700千円 4 サーバー管理費 473千円 5 印刷製本費（パンフレット増刷 外） 474千円 6 その他（消耗品費 外） 202千円 ◆ 台湾へ渡航してのトップセールスを行わなかったことによる減
7 商工費	観光イベント費 【 P169 観光イベント費 】 【 観光みなの課 】	11,975	11,975	11,975	0.0%	観光イベントによる地域活性化を図るため、各種イベントの実施に係る経費の補助を行った。 1 館山市観光行事補助金 ① 館山観光まつり 補助対象：館山観光まつり実行委員会 ・ 館山オープンウォータースイムフェスティバル 450千円 ・ 館山湾花火大会 6,525千円 ② 里見のまちづくり事業 補助対象：里見のまちづくり実行委員会 5,000千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
7 商工費	海水浴場費 【 P169 海水浴場費 】 【 観光みなと課 】	20,804	20,695	20,587	+0.5%	市内4カ所の海水浴場（北条・新井・沖ノ島・波左間）の開設に伴い、利用者が安心・安全で快適に利用できるようにブイの設置や監視船・監視員を配置するとともに、監視所や仮設トイレの設置を行った。 [海水浴場開設期間] 7月19日～8月24日【37日間】 開設期間中、毎日海岸パトロールを実施 ※入込数 54,893人（北条・新井・沖ノ島・波左間海水浴場） 1 海水浴場監視船委託料 3,309千円 遊泳客の安全確保のため、市内漁業協同組合へ監視を委託（合計3隻） 館山漁協（北条・新井・沖ノ島・波左間海域） 2 海水浴場監視委託料 15,000千円 各海水浴場に監視員を配置し安全確保に努めた。 3 遊泳区域区画整備設置委託料 783千円 4 海水浴場の遊泳区域を示すブイの設置、撤去を市内漁業協同組合へ委託 4 監視所救護所等設置工事請負費 589千円 監視所放送設備等設置及び撤去 5 仮設トイレ借上料 435千円 6 その他（消耗品費 外） 579千円
7 商工費	観光施設管理運営費 【 P171 観光施設管理運営費 】 【 観光みなと課 】	69,064	65,331	77,341	△15.5%	来訪者が快適に観光地めぐりができるよう、観光施設の維持管理、花き植栽・清掃等により観光地の美化に努めた。 1 会計年度任用職員報酬等（海岸清掃等） 12,785千円 2 公衆トイレ等清掃委託料（常設19カ所、仮設2カ所） 6,987千円 3 し尿浄化槽維持管理委託料 2,756千円 4 夏期海岸ごみ回収委託料 4,859千円 5 観光地美化事業委託料 4,125千円 6 館山集団施設地区管理委託料（浜田・見物地区 A=7,298㎡） 3,520千円 7 沖ノ島警備業務委託料 16,664千円 8 沖ノ島環境保全協力金受領業務等委託料 3,179千円 9 飛砂防止網設置及び撤去工事請負費 1,100千円 10 駐車場整備工事請負費 968千円 11 その他維持管理費（仮設トイレ借上、消耗品、光熱水費 外） 8,388千円 ◆ 建物の修繕が少なかったこと及び観光地美化事業委託における委託エリアの縮小に伴う減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説明
7 商工費	渚の駅たてやま施設管理費 【 P173 渚の駅たてやま 施設管理運営費 】 【 観光みなと課 】	54,672	49,230	52,893	△6.9%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） “渚の駅”たてやまを適切に管理運営し、あわせて来訪者の増加及び満足度向上のため、施設の魅力向上に努めた。 館山の海の魅力を伝えるとともに、海洋教育や海洋環境保全への関心を高めることを目的として、さかなクングャラリーをリニューアルし展示内容を充実させたほか、館山おさかな大使であるさかなクンによる特別講座を開催した。 1 会計年度任用職員報酬等 2,888千円 2 光熱水費 16,082千円 3 建物等修繕料 2,739千円 4 販売用物品費 3,456千円 5 清掃委託料 6,574千円 6 警備委託料 5,039千円 7 展示物等作製委託料（さかなクングャラリーリニューアル等） 5,000千円 8 土地借上料 1,538千円 9 LED照明器具賃貸料 1,003千円 10 その他維持管理費（消耗品費、各種管理委託料 外） 4,911千円 ◆ 渚の博物館受付業務を、総務事務センターの委託に含めたことによる指定管理料の皆減
8 土木費	市道植栽管理等維持事業 【 P177 道路等維持補修費 】 【 建設課 】	32,926	30,792	39,787	△22.6%	市道内にある街路樹等の適正な植栽管理や幹線市道の路肩の草刈り作業を行い、道路環境の保全を図った。 1 植栽管理委託料 16,554千円 市道3016号線植栽管理業務委託 6,215千円 市道1236号線植栽管理業務委託 外3件 10,339千円 2 除草管理委託料 14,238千円 市道1194号線外3線除草等管理業務委託 外5件 ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
8 土木費	道路維持補修事業 【 P177 道路等維持補修費 】 【 建設課 】	60,820	59,356	69,662	△14.8%	市道等の適正な維持管理のため維持補修工事等を実施し、道路機能の維持を図った。 また、地域ボランティアに対する支援を行い、道路環境の保全を図った。 1 道路維持補修工事請負費 19,514千円 ① 道路舗装補修工事 8,109千円（17件） ② 道路維持工事 4,088千円（16件） ③ 道路排水維持工事 889千円（3件） ④ 法定外道・水路補修工事 4,855千円（14件） ⑤ 道路法面補修工事 1,573千円（1件） 2 市道飛砂防止網設置及び撤去工事費 2,761千円 北条・新井・那古・海岸沿線（設置延長 494m 撤去 494m） 3 市道等維持修繕業務委託料（日常管理） 25,263千円 4 補修修繕用材料費 11,818千円 アスファルト合材、砕石、生コンクリート、側溝蓋、グレーチング蓋、草刈機の燃料 ※ 市道に係る各地区の除草ボランティアに対し燃料を支給（内60千円） ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる減
8 土木費	道路新設改良事業 【 P179 道路新設改良費 】 【 P179 道路新設改良費 （繰越明許費） 】 【 建設課 】	225,287	190,866	256,225	△25.5%	市道の改良等に伴う測量、調査及び設計並びに改良工事、舗装補修工事等を行い、生活環境及び道路機能の向上、交通機能の確保を図った。 ※ 一部（国）道路メンテナンス事業補助金、交通安全対策事業補助金 1 市道9028号線道路整備事業（大井地内） 23,569千円 道路改良工事費・登記委託料 2 市道5025号線道路整備事業（坂井・布沼・洲宮地内） 23,822千円 測量調査委託料・登記委託料・道路改良工事費・移設移転補償費 3 市道152号線道路整備事業（館山地内） 27,515千円 実施設計委託料・鑑定調査等委託料・土地購入費 4 道路改良事業（大神宮地内）外 24,360千円 実施設計委託料・測量調査委託料・道路改良工事費・移設移転補償費 5 道路舗装補修事業 17,788千円 市道1001号線道路舗装補修工事（北条地内）外 6 大形トンネル補修事業（畑地内） 10,087千円 道路改良工事費 （以下、繰越明許費） 1 市道7035号線外1線道路整備事業（神余地内） 26,585千円 道路改良工事費 2 市道9028号線道路整備事業（大井地内） 22,544千円 道路改良工事費 3 道路改良事業（大神宮地内）外 14,596千円 実施設計委託料・道路改良工事費 ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分 31,401千円含む ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
8 土木費	橋梁整備事業 【 P179 橋梁整備費 】 【 建設課 】	55,188	52,147	23,704	+120.0%	安全・円滑な交通機能確保するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づく補修工事及び道路法に基づく定期点検を行った。※ 一部（国）道路メンテナンス事業補助金 1 測量調査委託料 18,073千円 橋梁定期点検業務委託（5年毎の法定点検）：55橋／全140橋 2 橋梁改修工事請負費 31,286千円 館山大橋橋梁補修工事（正木・湊地内）（1年目／3年計画） （以下、繰越明許費） 1 橋梁改修工事請負費 2,788千円 根本橋橋梁補修工事（伊戸地内） ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる増
8 土木費	河川等維持事業 【 P181 河川等維持管理費 】 【 建設課 】	49,000	41,268	40,026	+3.1%	河川等の適正な維持管理に伴う浚渫工事、護岸工事等の維持工事を行い、河川環境の改善を図った。 河川等整備工事費 41,268千円 普通河川笠沼川 河川維持工事（古茂口地内） 外15件 ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる増
8 土木費	港湾施設整備費 【 P181 港湾施設整備費 】 【 P183 港湾施設整備費 （繰越明許費） 】 【 観光みなと課 】	62,947	29,102	90,509	△67.8%	千葉県が実施する港湾整備事業に対し、事業費の一部を負担し事業の推進を図った。 1 館山港多目的栈橋改修事業 ① 国庫補助事業（統合補助 社会資本整備総合交付金） 〔事業費〕22,327千円（市負担額：4,186千円・負担割合 18.75%） ② 国庫補助事業（改修 社会資本整備総合交付金） 〔事業費〕16,436千円（市負担額：2,769千円・負担割合 16.85%） ③ 県単独事業 〔事業費〕13,966千円（市負担額：4,190千円・負担割合 30.00%） ④ 県単独事業＜繰越明許費＞ 〔事業費〕8,363千円（市負担額：2,509千円・負担割合 30.00%） 2 館山港港湾施設整備事業 ① 国庫補助事業 〔事業費〕15,672千円（市負担額：2,939千円・負担割合 18.75%） ② 国庫補助事業＜繰越明許費＞ 〔事業費〕65,503千円（市負担額：12,281千円・負担割合 18.75%） ③ 県単独事業 〔事業費〕759千円（市負担額：228千円・負担割合 30.00%） ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分 27,785千円含む ◆ 県の事業費が減少したことに伴う負担金の減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
8 土木費	みなと振興費 【 P183 みなと振興費 】 【 観光みなと課 】	6,526	4,508	6,401	△29.6%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） “渚の駅”たてやま、館山夕日桟橋及び館山湾の利活用による観光振興・地域経済の活性化を図るため、客船等の誘致活動や受け入れ環境の整備などを行うとともに、海辺の賑わい創出のためのイベントや、海浜空間の安全・安心を確保する活動を実施した。 1 客船等歓迎行事委託料 3,597千円 [委託先] 館山市客船等歓迎委員会 (船舶寄港実績) ・クルーズ船 にっぽん丸 寄港（令和7年8月8日、9月21日） ・貨客船 さるびあ丸 寄港（令和7年6月5日） ・高速ジェット船 『セブンアイランド』春の季節運航 乗下船者8,805人（令和8年2月7日～4月5日 58日間） （参考）令和6年度 6,855人 令和5年度 8,661人 令和4年度 8,056人 令和3年度 4,026人 (その他) ・館山港周辺観光マップ「ぐるりくるり館山マップ」 来航客の回遊性・利便性を向上させるため、館山港から観光スポットへの所要時間を明記した観光ガイドマップを作成 ・「ありがとう にっぽん丸」展 令和8年5月に引退する「にっぽん丸」への感謝を込め、“渚の駅”たてやまにてこれまでの航跡や写真を展示する「ありがとう にっぽん丸」展を開催 2 たてやま海まちフェスタ委託料 405千円 [委託先] たてやま海まちフェスタ実行委員会 ・“渚の駅”たてやま周辺を会場に、たてやま海まちフェスタを開催し、「海辺のまちづくり」の一環として、市民や観光客が海や船に親しむ機会を創出 3 安全・安心な海浜空間のための事業 453千円 ・備品等（水上オートバイ）修繕料 外 381千円 ・印刷製本費（「海・浜ルール」リーフレット） 72千円 4 その他経費（消耗品 外） 53千円 ◆ シンポジウム開催経費の減（数年ごとに開催予定）等による減
8 土木費	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定事業 【 P185 都市計画調査費 】 【 都市計画課 】	31,527	14,674	0	皆増	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を策定するため専門業者へ業務委託を行った。 [事業概要] 都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画の新規策定 [目標年次] 策定年度から概ね20年後 [業務期間] 令和7年度から令和8年度まで [令和7年度事業] 現行計画や統計データ等の調査・分析、都市づくりの方針・区域の検討 外 ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分 15,180千円含む ◆ 令和7年度新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
8 土木費	花のまちづくり事業 【 P185 花のまちづくり費 】 【 都市計画課 】	2,436	2,436	2,290	+6.4%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 公共施設等への花木植栽や地区花壇の運営を市民、各種団体及び行政の協働により実施し、「花と園芸福祉のまちづくり」の推進を図った。 1 公共施設等への花木植栽 494千円 2 公共施設への花苗配布 194千円 3 植栽管理委託 411千円 4 地区花壇運営費 1,256千円 5 消耗品費 81千円
8 土木費	船形館山線道路整備事業 【 P187 都市計画道路 整備管理費 】 【 P187 都市計画道路整備管理費 (繰越明許費) 】 【 都市計画課 】	58,228	34,176	81,326	△58.0%	道路ネットワークの整備、地域の活性化、歩行者の安全対策、災害時の避難路確保、冠水被害の解消を図ることを目的とした船形バイパスの整備を推進した。 ※ 一部（国）社会資本整備総合交付金 1 用地取得事務手数料 240千円 2 鑑定調査等委託料 88千円 3 資材価格等調査業務委託料 1,198千円 4 登記委託料 2,749千円 5 樹木剪定伐採委託料 495千円 6 道路維持補修工事請負費 82千円 7 工事整備用材料費 163千円 8 土地購入費 873千円 9 千葉県地方土地開発公社預託金 1,800千円 10 物件等補償費 1,136千円 11 その他消耗品費等 507千円 [路線概要] 延長1,128m 幅員14m (令和7年度末時点の用地取得率：93.7%) (以下、繰越明許費) 1 実施設計委託料 24,845千円 ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分 6,710千円含む ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明																
8 土木費	雨水排水路修繕事業 【 P187 雨水排水路管理費 】 【 都市計画課 】	17,358	17,277	8,468	+104.0%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 排水路等の適正な維持管理のため、必要な補修工事を実施し安全・安心で快適な居住環境の確保を図った。 <table><tr><td>1 堂ノ下排水路転落防止柵補修工事</td><td>3,397千円</td></tr><tr><td>2 北条中央排水路補修工事</td><td>3,344千円</td></tr><tr><td>3 船形芝2号排水路転落防止柵補修工事</td><td>1,458千円</td></tr><tr><td>4 関伽井下排水路陥没補修工事</td><td>1,253千円</td></tr><tr><td>5 その他排水路補修工事 5件</td><td>699千円</td></tr><tr><td>6 湊排水路（外2）清掃委託</td><td>4,244千円</td></tr><tr><td>7 その他排水路清掃委託 8件</td><td>2,530千円</td></tr><tr><td>8 その他消耗品費等</td><td>352千円</td></tr></table> ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる増	1 堂ノ下排水路転落防止柵補修工事	3,397千円	2 北条中央排水路補修工事	3,344千円	3 船形芝2号排水路転落防止柵補修工事	1,458千円	4 関伽井下排水路陥没補修工事	1,253千円	5 その他排水路補修工事 5件	699千円	6 湊排水路（外2）清掃委託	4,244千円	7 その他排水路清掃委託 8件	2,530千円	8 その他消耗品費等	352千円
1 堂ノ下排水路転落防止柵補修工事	3,397千円																					
2 北条中央排水路補修工事	3,344千円																					
3 船形芝2号排水路転落防止柵補修工事	1,458千円																					
4 関伽井下排水路陥没補修工事	1,253千円																					
5 その他排水路補修工事 5件	699千円																					
6 湊排水路（外2）清掃委託	4,244千円																					
7 その他排水路清掃委託 8件	2,530千円																					
8 その他消耗品費等	352千円																					
8 土木費	都市公園指定管理事業 【 P189 公園管理運営費 】 【 都市計画課 】	48,750	48,750	66,461	△26.6%	館山城・城山公園等を併せた管理・運営業務を指定管理者により実施し、効率的かつ魅力的な公園運営を図った。 第2期 [事業概要] 城山公園を含む市内7園の管理・運営業務 [業務期間] 令和6年12月1日～令和11年11月30日（5年間） ◆ 博物館との予算按分率の変更による減																
8 土木費	公園等施設整備事業 【 P189 公園管理運営費 】 【 都市計画課 】	15,710	14,348	7,454	+92.5%	公園の適正な維持管理のため、必要な工事等を実施し利用者及び公園周辺の安全・安心な環境の確保を図った。 <table><tr><td>1 沖ノ島公園トイレ等解体撤去工事</td><td>2,989千円</td></tr><tr><td>2 城山公園日本庭園表門及び裏門修繕工事</td><td>1,892千円</td></tr><tr><td>3 根岸公園複合遊具設置工事</td><td>4,352千円</td></tr><tr><td>4 根岸公園ブランコ購入費</td><td>1,122千円</td></tr><tr><td>5 根岸公園先行取得用地購入費</td><td>2,906千円</td></tr><tr><td>6 その他整備費 2件</td><td>1,087千円</td></tr></table> ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる増	1 沖ノ島公園トイレ等解体撤去工事	2,989千円	2 城山公園日本庭園表門及び裏門修繕工事	1,892千円	3 根岸公園複合遊具設置工事	4,352千円	4 根岸公園ブランコ購入費	1,122千円	5 根岸公園先行取得用地購入費	2,906千円	6 その他整備費 2件	1,087千円				
1 沖ノ島公園トイレ等解体撤去工事	2,989千円																					
2 城山公園日本庭園表門及び裏門修繕工事	1,892千円																					
3 根岸公園複合遊具設置工事	4,352千円																					
4 根岸公園ブランコ購入費	1,122千円																					
5 根岸公園先行取得用地購入費	2,906千円																					
6 その他整備費 2件	1,087千円																					
8 土木費	下水道事業会計負担費 【 P189・下水道事業会計負担費 】 【 下水道課 】	386,644	386,644	419,903	△7.9%	経営健全化の促進及び経営基盤強化のため、地方公営企業である公共下水道事業に対し、負担金等を支出した。 <table><tr><td>1 下水道事業会計負担金</td><td>205,501千円</td></tr><tr><td>総務省の繰出基準に基づく負担</td><td></td></tr><tr><td>2 下水道事業会計補助金</td><td>181,143千円</td></tr><tr><td>経営収支不足分に対する補助</td><td></td></tr></table> ◆ 経営収支不足改善に伴う減	1 下水道事業会計負担金	205,501千円	総務省の繰出基準に基づく負担		2 下水道事業会計補助金	181,143千円	経営収支不足分に対する補助									
1 下水道事業会計負担金	205,501千円																					
総務省の繰出基準に基づく負担																						
2 下水道事業会計補助金	181,143千円																					
経営収支不足分に対する補助																						

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
9 消防費	安房郡市広域市町村圏事務組合常備消防費負担金 【 P191 一部事務組合負担金 】 【 危機管理課 】	981,358	979,915	952,991	+2.8%	安房郡市広域市町村圏事務組合が担う常備消防の施設整備や運営等の経費を負担し、常備消防の円滑な運営を図った。 ・ 市町割・人口割・職員数割の負担金（人件費 外） 940,592千円 ・ 特別負担金（地方債償還負担金 外） 39,323千円 ◆ 給与改定に伴う人件費の増加による負担金の増
9 消防費	消防団運営費 【 P193 消防団運営費 】 【 危機管理課 】	31,938	27,445	31,298	△12.3%	火災や風水害などの災害から市民の生命・身体・財産を守る消防団員に対し、消防団条例に基づく報酬並びに消防操法訓練の実施及び火災出動等に対する費用弁償を支給するとともに、消防団活動に必要な被服等を支給した。 ・ 消防団員報酬 13,664千円 ・ 費用弁償（訓練、災害警戒、捜索、夜警等） 11,058千円 ・ 被服等購入費（活動服、帽子、ヘルメット、編上長靴等） 2,723千円 ◆ 費用弁償の減
9 消防費	消防機材費 【 P193 消防機材費 】 【 危機管理課 】	2,654	2,642	29,718	△91.1%	消防団が使用する各種資機材を整備し、消防力の充実及び強化を図った。 ・ 機械器具費（消防用ホース、吸管） 2,562千円 外 ◆ 消防車両の更新がなかったことによる減
9 消防費	消防団詰所整備事業 【 P195 消防施設費 】 【 危機管理課 】	45,965	44,704	46,742	△4.4%	消防力の充実強化を図るため、老朽化が著しく津波想定区域内にある消防団詰所の移転建替工事を行った。 ・ 第14部詰所 ※新設詰所：木造平家建（延床面積：89.43㎡） （波左間→浜田） 建築工事請負費 42,328千円 工事監理委託料 2,376千円 ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる減
9 消防費	防火水槽整備事業 【 P195 消防施設費 】 【 危機管理課 】	2,401	1,980	3,441	△42.5%	消防水利の拡充や安全性・機能性を高めるため、防火水槽の蓋掛け整備を行い、消防力の充実及び強化を図った。 ・ 防火水槽整備工事（蓋掛1カ所：広瀬地区） ◆ 整備カ所数の減少（令和6年度2カ所）による減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
9 消防費	急傾斜地崩壊対策事業 【 P195 防災対策費 】 【 危機管理課 】	92,781	33,771	19,749	+71.0%	千葉県が指定する「急傾斜地崩壊危険区域」において、崩落の危険性が高まっていることから、崩落対策工事に着手した。 1 資材価格調査業務委託料 801千円 2 急傾斜地崩落対策工事請負費 32,970千円（那古地区） ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分 59,010千円含む ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる増
9 消防費	防災行政無線整備事業 【 P195 防災対策費 】 【 危機管理課 】	25,649	25,649	113,593	△77.4%	災害時における情報連絡体制を確保するため、同報系防災行政無線等の保守点検及び既存防災行政無線の補修工事及び既存防災行政無線（子局）、全国瞬時警報システム受信機の更新を行い、安全安心なまちづくりを推進した。 1 防災行政無線設備更新 15,620千円 ・屋外拡声子局更新2局（福祉作業所、高井鶴戸川橋） 2 防災行政無線保守点検業務 4,152千円 （同報系親局子局、移動系基地局中継局） 3 防災行政無線維持補修工事 2,082千円 4 全国瞬時警報システム受信機更新 3,795千円 ◆ 防災行政無線更新工事の対象局数が異なることによる減
9 消防費	自主防災組織補助金 【 P197 地域防災対策費 】 【 危機管理課 】	862	705	1,592	△55.7%	各地区の自主防災組織の充実のため、自主防災組織が実施する防災機材の購入や非常食等の備蓄などに補助金を交付し、災害時の迅速かつ効率的な救援活動を推進した。 [補助対象] 自主防災会 [補助金額及び件数] ① 施設整備補助（補助率1／2 上限1,000千円） 実績なし ② 備品購入補助（補助率1／2 上限 200千円） 705千円（佐野西自主防災会 外6件） ◆ 施設整備補助対象が無いことによる減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
9 消防費	防災用備蓄食料購入費 【 P197 災害対応費 】 【 危機管理課 】	3,262	3,037	5,184	△41.4%	災害時の食糧として3日分の食糧30,000食を確保することを目標として、年次的に備蓄を進めた。 [購入品目] フリーズドライ米 3,000食 おかゆ 750食 保存水(490ml) 9,720本 (4,763L) 液体ミルク 200ml×120本 [現状備蓄量]（令和8年3月末時点） アルファ米+フリーズドライ米+保存パン 18,382食 保存水 15,199L ◆ 備蓄食糧購入数が異なることによる減
9 消防費	災害時情報伝達システム事業 【 P197 災害対応費 】 【 危機管理課 】	2,105	1,708	1,729	△1.2%	目の不自由な方や独居の高齢者など、防災行政無線の放送が聞きづらい方に対応するため、電話による一斉情報伝達や安全安心メール等により、防犯・防災・消防等の緊急情報を市民へ提供し、安全安心なまちづくりを推進した。 1 災害時情報伝達システム通信料（たてやま安心電話） 203千円 [登録者数] 206人（令和8年3月末時点） 2 安全安心情報配信業務委託料（安全安心メール） 1,505千円 [登録者数] 14,140人（令和8年3月末時点） [配信実績] 268回 防災情報 118回、火災情報 62回、防犯情報 2回、行方不明者情報 21回、 熱中症関係 39回、その他 26回
9 消防費	電源設備改修工事請負費 【 P197 災害対応費 】 【 危機管理課 】	4,689	4,565	5,445	△16.2%	停電時、指定避難所施設の電源確保のため非常電源切替盤を設置し、避難環境の充実及び安全性の向上を図った。 設置した指定避難所3カ所：旧神戸小、豊房小、九重小
9 消防費	避難所用備品購入事業 【 P199 災害対応費 （繰越明許費） 】 【 危機管理課 】	3,795	3,733	0	皆増	新設した館山中学校を避難所に再指定し、避難環境の向上を図るため、備蓄品を整備した。 マンホールトイレ台座 5台 トイレハウス 5台（コンパクト4台、車いす対応ワイド1台） パーテーション 52張 ◆ 令和6年度からの繰越事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	体育振興事業 【 P201 保健体育費 】 【 教育総務課 】	8,639	6,907	7,232	△4.5%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 児童生徒の体力づくりや運動能力の向上など、学校体育及び部活動の振興を図るため、関連団体や中学校へ補助金等を交付した。 1 小中学校体育振興会補助金 2,768千円 [交付対象]館山市小中学校体育振興会 [補助事業]小学校（体操教室等費用） 中学校（千葉県総合体育大会及び新人体育大会、関東大会等への参加費） 2 中学校部活動補助金 3,302千円 [交付対象]館山市立中学校 [補助対象]各種大会参加に要する費用（千葉県大会安房支部予選会等） 部活動備品購入費 3 千葉県小中学校体育連盟安房支部負担金 837千円 [負担内訳]各種大会開催経費・千葉県小中学校体育連盟負担金
10 教育費	特別支援教育体制推進費 【 P203 特別支援教育費 】 【 教育総務課 】	37,538	36,549	32,711	+11.7%	1 特別支援教育学習支援員 36人 特別な支援を必要とする児童生徒の学習支援のため、各小中学校に支援員を配置した。 [支援内容] 1 支援が必要な児童等に対する学習支援 2 特別な支援が必要な児童等に対する健康・安全確保の支援 3 運動会等、学校行事における支援 4 周囲の児童等の障害理解の促進 2 特別支援教育巡回指導員 2人 専門的な知見を有する指導員が各小中学校を巡回し、特別な支援を必要とする児童生徒の観察、教員への助言及び小中学校への入学前検査を実施した。 ◆ 報酬単価の増額に伴う増
10 教育費	特別支援教育就学奨励費 【 P203 特別支援教育費 】 【 教育総務課 】	9,105	7,342	7,467	△1.7%	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学に必要な経費の一部を補助し、特別支援教育の普及奨励を図った。 [対象経費] 学用品等購入費・新入学学用品費等・修学旅行費・通学費 校外活動等参加費・学校給食費・交流及び共同学習交通費 職場実習交通費（中学校のみ）・体育実技用具費（中学校のみ） [支給対象者] 小学校 174人 中学校 57人 [支給額] 小学校 4,377千円 中学校 2,965千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
10 教育費	要保護及び準要保護児童生徒援助費 【 P203 要保護・準要保護費 】 【 教育総務課 】	21,169	19,494	21,536	△9.5%	経済的な理由により就学困難な児童生徒に対し、義務教育が円滑に受けられるよう必要な援助を行った。 [対象経費] 学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・新入学学用品費等 通学費・医療費・学校給食費・体育実技用具費（中学校のみ） [認定者] 小学校 117人 中学校 102人 [支給額] 小学校 8,252千円 中学校 11,242千円 ◆ 想定より認定者が少なかったことによる減
10 教育費	教育相談事業 【 P203 教育相談費 】 【 教育総務課 】	9,194	8,202	9,486	△13.5%	1 教育支援センター運営費 3,747千円 小中学校において不登校となっている児童生徒の学校復帰を支援するため、学習支援や生活支援を行う教育支援センターを運営した。 [通級実績] 登録者数30人（中学生20人、小学生10人） 年間延べ通級人数 1,157人 [支 援 員] 3人（常時2人配置） [設置場所] 館山市コミュニティセンター内（平成30年4月設置） 2 いじめ相談室運営費 2,464千円 「いじめ問題アドバイザー」を配置し、市内小中学生のいじめに関する相談等の対応を行った。 [相談実績] 年間延べ3件 [アドバイザー] 1人 [設置場所] 館山市コミュニティセンター内（平成25年3月設置） 3 校内教育支援センター指導員 360千円 校内教育支援センターに指導員を配置し、不登校や不登校傾向のある児童が学校に来た際の対応を行った。 [利用実績] 年間16件 [指 導 員] 1人 [設置場所] 北条小学校（令和7年10月設置） 4 児童生徒心理検査費 1,631千円 児童生徒を対象とした心理テスト（hyper-Qテスト）を実施し、客観的・多面的な診断結果によって、いじめの早期発見や学級状態の現状把握及び問題点の改善を図った。 [実施対象] 小学校4年生～中学校3年生（年2回実施） ◆ 不登校対策支援の見直しによる減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	スクールバス運行費 【 P205 遠距離通学対策費 】 【 教育総務課 】	28,304	27,831	27,247	+2.1%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 遠距離通学の児童生徒に対する支援として、房南小学校区・館山中学校区・那古小学校区においてスクールバスを運行した。 1 運行台数 6台 ① 房南小学校 布良・相浜・大神宮・竜岡・中里・犬石の一部 ② 那古小学校 亀ヶ原・正木地区の一部 ③ 館山中学校 西岬便（西岬地区全域） ④ 館山中学校 豊房便（東長田の一部・西長田の一部・出野尾の一部・岡田の一部・古茂口の一部・作名の一部・山萩の一部・畑全域・神余全域） ⑤ 館山中学校 九重・館野便（九重地区全域・広瀬・腰越・稲） ⑥ 館山中学校 館山便（宮城の一部・笠名・大賀） 2 使用の範囲 ① 通常運行 登下校運行 ② 特別運行 小中学校の学習活動や部活動の各種大会への参加 ・ スクールバス運行委託料 通常運行 27,121千円 特別運行 710千円
10 教育費	遠距離通学児童生徒通学費補助金 【 P205 遠距離通学対策費 】 【 教育総務課 】	2,841	2,123	2,355	△9.9%	遠距離通学の児童生徒に通学費を補助し、保護者負担軽減を図った。 [補助対象者] 小学校2km以遠、中学校4km以遠から通学する児童生徒 ※ 学区外通学者除く 1 小学校 2,018千円（登下校に要する路線バス運賃の補助） ① 館山小：64名 ② 西岬小：20名 ③ 房南小：4名 2 中学校 105千円 登下校に要する自転車の維持管理費 館山中：7名
10 教育費	英語指導講師派遣事業 【 P205 学力向上対策費 】 【 教育総務課 】	20,790	20,789	15,895	+30.8%	民間の英語指導講師（ALT）を小中学校に派遣し、児童生徒の英語力向上、教員の指導力向上及び負担軽減を図った。 英語指導講師業務委託料 20,789千円 小学校：3～6年生 12,473千円（配置人数3人） 中学校：1～3年生 8,316千円（配置人数2人） ◆ 委託者の人件費の増額による増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
10 教育費	I C T支援業務委託事業 【 P205 学力向上対策費 】 【 教育総務課 】	16,080	15,180	27,720	△45.2%	各学校にI C T支援員を配置し、I C T機器の管理・運用、障害発生時の対応、授業支援等の業務を委託し、児童生徒への1人1台タブレット端末を活用したI C T教育の推進及び教職員の業務負担軽減を図った。 I C T支援業務委託料 15,180千円 [業務内容] 1 機器管理（アカウント・端末管理等） 2 障害・故障・不具合対応支援 3 授業支援・授業計画の作成支援 [I C T支援員] 3名（市内小中学校13校を毎週1回または隔週1回巡回支援） ◆ 現在のタブレット端末の最終使用年度であり、I C T支援員の配置時間を縮小したことによる減
10 教育費	タブレット端末更新費 【 P205 学力向上対策費 】 【 教育総務課 】	124,129	123,149	0	皆増	G I G Aスクール構想により整備した1人1台端末の一斉更新を行った。 [整備台数] [更新前の使用端末] 小学生用 1,738台 令和元年度から令和2年度購入分 中学生用 1,059台 合 計 2,797台 ◆ タブレット端末更新による皆増
10 教育費	教職員働き方改革推進費 【 P205 教職員働き方改革 推進費 】 【 教育総務課 】	8,367	8,048	8,163	△1.4%	1 中学校部活動指導員（2人） 1,627千円 校内に専門的な指導者が配置できない部活動に対して、部活動指導員を配置した。 ・ 会計年度任用職員報酬・通勤費 2 校務支援システム運用委託料（令和5年度導入） 5,177千円 校内グループウェア・学籍管理・成績管理・保健管理等のシステム運用により、事務処理の効率化を図った。 3 メール配信システム保守業務委託料（令和6年度導入） 792千円 教育委員会・学校・園から保護者へ迅速な情報伝達や双方向の情報伝達を可能とし、学校・園及び保護者の利便性の向上と負担軽減を図った。 4 採点支援システム利用料（令和6年度導入） 452千円 採点事務のデジタル化による採点事務の効率化及びテスト結果の解析により、学習指導の充実を図った。

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
10 教育費	学校施設営繕事業 【 P207 小学校施設管理費 】 【 P211 中学校施設管理費 】 【 建築施設課 】	34,064	32,567	43,085	△24.4%	小学校・中学校の建物及び工作物の修繕、施設整備等を行った。 [小学校] 10,404千円 1 修繕料 ・ 点検結果等に伴う修繕 8,085千円 2 施設整備工事請負費 ・ 小学校防災設備改修工事 外 1,345千円 3 施設改修工事請負費 ・ 神余小1階女子トイレ改修工事 974千円 [中学校] 22,164千円 1 修繕料 ・ 点検結果等に伴う修繕 3,999千円 2 施設整備工事請負費 ・ 第一柔剣道場空調機設置工事 13,662千円 ・ 中学校防災設備改修工事 520千円 3 施設改修工事請負費 ・ 房南中学校防火戸改修工事 3,982千円 ◆ 令和6年度とは実施箇所、内容が異なることによる減
10 教育費	学校再編対策費 【 P209 学校再編対策費 】 【 教育総務課 】	44,545	39,610	0	皆増	「館山市立小中学校再編計画」に基づき、学校の統廃合に係る事業を実施した。 【業務内容】 1 印刷製本費 939千円 閉校記念誌作成（船形小学校・那古小学校） 2 廃棄物処理委託料 1,165千円 船形小学校・那古小学校の統合及び館山小学校統合改修工事に伴い排出される 不要物の廃棄処理費用 3 自動車購入費 35,719千円 那古船形小学校（船形地区） スクールバス購入 2台 小規模特認校まなびの杜房南小学校 （布良・相浜・大神宮・竜岡・中里・犬石の一部）スクールバス更新 1台 4 学校閉校記念行事補助金 100千円 閉校となる学校の閉校記念を目的に実行委員会等が実施する事業に対する補助 5 その他（消耗品費、運搬料 外） 1,687千円 ◆ 学校再編に伴う新規事業実施による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
10 教育費	学校再編施設改修事業 【 P209 学校再編対策費 】 【 建築施設課 】	1,282,973	959,191	30,525	+3042.3%	館山市立小中学校再編計画に基づく統合校開校に向けた施設改修事業を行った。 1 館山小学校：校舎・外構等の改修工事・設計業務・監理業務 令和7年度 改修工事（繰越明許費） 462,905千円 改修工事（現年） 233,668千円 設計業務 1,000千円 監理業務 11,169千円 ※令和7～8年度に実施 2 那古小学校：校舎・体育館・外構等の改修工事 令和7年度 改修工事 226,469千円 3 北条小学校：校舎・外構等の改修設計業務 令和7年度 実施設計 23,980千円 ※改修工事は、令和8年度に実施 ※ 予算現額には、令和8年度への繰越分 323,670千円含む ◆ 令和6年度とは実施箇所、内容が異なることによる増
10 教育費	中学校教師用教科書・指導書購入費 【 P213 中学校教育振興費 】 【 教育総務課 】	10,367	10,149	0	皆増	中学校で使用する教科書の採択替え（4年ごと）に伴い教師用教科書・指導書を購入した。また、教師用デジタル教科書を本格導入し、学習指導の充実とGIGAスクール構想の更なる推進を図った。 [購入内訳] ・ 教師用教科書 203千円 ・ 教師用指導書 8,246千円 ・ 教師用デジタル教科書 1,700千円 ◆ 4年に一度の採択替えとデジタル教科書の本格導入による皆増
10 教育費	預かり保育費 【 P217 預かり保育費 】 【 こども課 】	18,605	11,865	28,935	△59.0%	幼稚園における教育時間の開始前や終了後、また夏休みなどの幼稚園休業日に預かり保育を実施することで、子育て環境の充実を図った。 [実 施 園] 館山市立那古幼稚園 [利用状況] 延べ97人 ・ 会計年度任用職員報酬等 11,618千円 ・ 消耗品費外 247千円 ◆ 北条幼稚園の閉園による減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
10 教育費	私立幼稚園支援費 【 P217 私立幼稚園支援費 】 【 こども課 】	104,141	101,680	63,620	+59.8%	1 市内外の認定こども園に施設型給付費を支給することで、幼児教育の増進を図った。 施設型給付費負担金 99,020千円 〔委託先〕 私立認定こども園（市内2園、南房総市1園） 延べ983人 2 国が実施する「地域子ども・子育て支援事業」について、「多様な集団活動事業の利用支援事業」の対象施設の利用者に対し、利用料の一部を負担した。 〔対象施設〕 森のようちえんはっぴー（南房総市） 〔利用児童数〕 13人（館山市在住） 〔負担額〕 児童1人当たり月額20千円×12カ月 2,660千円 ◆ 公定価格の増及び私立認定こども園の開園による増
10 教育費	放課後子供教室推進事業 【 P219 放課後子供教室運営費 】 【 生涯学習課 】	3,663	2,592	2,369	+9.4%	放課後等に小学校の余裕教室等を活用し、地域住民にスタッフとして参加してもらい、勉強や体験活動、地域住民との交流活動等を行うことで、子どもたちの安全安心な居場所づくりを推進した。 〔対象〕 全10教室（全小学校区で開催） 〔回数〕 各小学校149回実施/160回（各校年間16回予定） 〔参加児童数〕 述べ2,326人（実人数：594人）
10 教育費	青少年相談員連絡協議会補助金 【 P219 青少年健全育成費 】 【 生涯学習課 】	2,197	1,744	1,209	+44.3%	青少年相談員による地域活動及びキッズフェスタ等の全市的な活動に対し補助することで、青少年健全育成を推進した。 青少年相談員連絡協議会補助金 ・ 青少年相談員活動費 88名 1,136千円 ・ ユニフォーム購入費（ブルゾン・ボロシャツ59人分）608千円 〔実施活動〕 ・ 市内一斉パトロール 8月 3日 相談員43名参加 ・ 第51回館山市親子写真大会 10月26日 雨天により中止 ・ 第10回キッズフェスタ館山 11月23日 相談員41名参加 ◆ 青少年相談員任期替えによる事業費（ユニフォーム購入費）の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説明
10 教育費	地区公民館運営事業 【 P219 地区公民館管理運営費 】 【 中央公民館 】	25,315	23,834	23,725	+0.5%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市内10カ所の地区公民館の適正な管理運営を図り、利用者へのサービス向上、市民の社会教育活動の推進に努めた。 [利用状況] 館山地区公民館 723件 9,245人 那古地区公民館 476件 6,039人 船形地区公民館 310件 2,898人 西岬地区公民館 364件 4,913人 西岬地区公民館分館 64件 1,161人 神戸地区公民館 303件 2,205人 富崎地区公民館 191件 2,076人 豊房地区公民館 487件 4,193人 館野地区公民館 525件 5,225人 九重地区公民館 880件 11,899人 合 計 4,323件 49,854人 [施設管理]（会計年度任用職員報酬等） ・ 地区公民館館長・副館長・書記 18,073千円
10 教育費	生涯学習講座事業 【 P221 社会教育講座費 】 【 中央公民館 】	12,239	11,009	10,048	+9.6%	生涯学習の拠点とする中央公民館（コミュニティセンター）の専門機能（人材・設備）を活かし、NPOや民間企業等との連携による各種の生涯学習講座をはじめ、こども園・幼稚園・小学校等との連携による家庭教育学級等を開催した。 各地区公民館においては、各地区の特性を活かした生涯学習講座を開催した。 1 中央公民館 ・ 生涯学習講座／講師謝礼 292千円 ・ 館山市成人式～二十歳のつどい～／会場借上料 外 991千円 2 地区公民館（10館） ・ 生涯学習講座／講師謝礼 1,044千円 3 社会教育・家庭教育指導員（4人） ・ 会計年度任用職員報酬等 7,909千円
10 教育費	図書館管理運営費 【 P221 図書館管理運営費 】 【 図書館 】	4,896	4,863	5,829	△16.6%	市民の学習や課題解決に応えるため、新刊図書・郷土資料及び視聴覚資料等を購入し、図書館資料の整備充実に努めた。 [利用実績] 貸出者数：延べ28,451件 貸出冊数：109,215点 登録者数：5,464件 [購入図書] 1,456冊（一般書：898冊 児童書：558冊） [購入視聴覚資料] 20点（紙芝居：20点） [購入逐次刊行物] 31タイトル（新聞：7紙 雑誌：24誌） 電子図書館分 [利用実績] 貸出者数：延べ146件 貸出回数：945回 [購入図書] 149冊

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
10 教育費	館山市芸術文化協会補助金 【 P223 文化振興活動費】 【生涯学習課】	1,490	1,315	1,490	△11.7%	地域文化の振興を図り市民生活の向上に寄与することを目的に活動する館山市芸術文化協会（25団体）に館山市文化祭実施経費として補助金を交付した。 第75回館山市文化祭 〔期日〕令和7年10月25日（土）～12月7日（日） 〔参加団体数〕25団体
10 教育費	文化財保存活用地域計画策定事業 【 P223 文化財保護・調査費 】 【生涯学習課】	2,069	1,104	891	+23.9%	地域の歴史文化の特性を理解・把握した上で、市内に所在する指定・未指定文化財を総合的・一体的に保存活用するために、「文化財保存活用地域計画」策定作業を進めた。 令和6年度から開始し、令和7年度に計画案を策定、令和8年度に文化庁の認定を受ける予定。（文化庁の文化芸術振興費補助金を活用） 令和7年度 館山市文化財保存活用地域計画作成協議会 年3回実施（うち1回書面） 文化庁協議 年1回実施（オンライン） 計画案策定及びパブリックコメント実施 会計年度任用職員 412千円 作成協議会委員報酬 51千円 計画掲載用地図・図表作成委託 594千円 その他 47千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	博物館管理運営事業 【 P225 博物館管理運営費 】 【 博物館 】	49,882	46,658	33,278	+40.2%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 博物館を適正に運営管理し、地域の歴史、民俗などに関する資料の収集、保存、調査研究、公開、普及活動に努めた。 〔入館者数〕（本館・館山城）65,082人（渚の博物館）231,695人 〔講座参加者数〕 延べ1,115人 1 施設の適正な運営管理 ① 博物館本館消火設備ハロン容器弁更新工事 9,713千円 ② 博物館空調補給水槽入替工事 1,683千円 ③ 館山城等の指定管理 16,250千円 [契約期間] 令和6年12月1日～令和11年11月30日（5年間） [業務内容] 館山城運営・施設管理業務、博物館本館受付業務 2 地域の歴史・文化等に関する資料・図書の収集、保管 452千円 ① 展示資料、図書等の購入 ② 資料保存管理機器等の購入 3 資料収集・調査研究の成果紹介及び普及活動 ① 常設展（本館、館山城、渚の博物館） ② テーマ展示（本館、渚の博物館） ③ 収蔵資料展（新収蔵資料展、収蔵資料展） ④ 企画展「東京湾要塞と館山」 ⑤ 教育普及（古文書を読んでみよう、絵図士養成講座 外） ⑥ 成果物発行（企画展図録、年報、館報、文化財マップの発行） ◆ 設備の更新及び修繕、指定管理料の支払額按分変更による増
10 教育費	スポーツ団体支援費 【 P229 スポーツ団体支援費 】 【 スポーツ課 】	6,872	6,324	6,221	+1.7%	市民の健康増進・体力向上、青少年の健全育成及び生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図った。 1 館山市スポーツ協会補助金 5,079千円 競技スポーツ及び生涯スポーツの推進 2 館山市スポーツ少年団育成補助金 1,245千円 スポーツによる青少年の健全育成

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
10 教育費	スポーツイベント費 【 P229 スポーツイベント費 】 【 スポーツ課 】	2,142	1,658	1,997	△17.0%	市民の健康増進・体力向上、青少年の健全育成及び生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図った。 [実施イベント] ・ 一流選手に学ぼう水泳教室 参加者 24人 ・ 一流選手に学ぼうバレーボール教室 参加者 42人 ・ 鏡ヶ浦サンセットウォーキング 参加者 雨天中止 ・ 若潮旗争奪千葉県小学生剣道大会 参加者 264人 ・ 若潮旗争奪関東中学生剣道大会 参加者 500人 ・ 若潮旗争奪全国高校剣道大会 参加者 717人 ・ ポッチャ大会 参加者 240人 ・ 私の体力チェック 参加者 71人
10 教育費	若潮マラソン大会費 【 P229 若潮マラソン大会費 】 【 スポーツ課 】	57,448	56,793	51,617	+10.0%	市民の健康増進・体力向上及びスポーツ観光による地域経済活性化を目的とし「第46回館山若潮マラソン大会」を開催した。 [開催日] 令和8年1月25日（日） [エントリー者数] フルの部 4,334人 10kmの部 2,092人 ファンランの部 1,018人（398組） 合計 7,444人 ・ 館山若潮マラソン大会委託料 56,793千円 ◆ 人件費、物件費の高騰による交通警備委託料や備品等借上料等の増
10 教育費	運動場施設管理運営費 【 P229 運動場施設管理運営費 】 【 スポーツ課 】	21,534	18,440	28,835	△36.0%	市民の生涯スポーツ・競技スポーツの活動の場として、また、スポーツ合宿等での利用促進のため、市民運動場等について、適切な維持管理を行った。 [利用状況]（延べ人数） ・ 市民運動場 17,700人 ・ 出野尾多目的広場 8,541人 [維持管理概要] ・ 会計年度任用職員報酬等 11,625千円 ・ 花木肥料類購入費 1,201千円 ・ 土地借上料 3,009千円 外 ◆ 工事請負費の皆減及び芝切替作業取止めによる機械器具等借上料等の減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	市民体育館管理運営費 【 P231 市民体育館管理運営費 】 【 スポーツ課 】	2,350	2,282	2,903	△21.4%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市民の生涯スポーツ・競技スポーツの活動の場及びスポーツ合宿等での利用促進のため、市民体育館等について、適切な維持管理を行った。 [利用状況]（延べ人数） - 市民体育館 4,581人 - 第一柔剣道場 5,808人 - 弓道場、遠的射場 4,480人（指定管理） [維持管理概要] - 電気使用料 783千円 外
10 教育費	プール施設管理運営費 【 P231 プール施設管理運営費 】 【 スポーツ課 】	10,257	8,104	12,977	△37.6%	市民の生涯スポーツ・競技スポーツの活動の場及びスポーツ合宿等での利用促進のため、50mプールの適切な維持管理を行った。 また、閉所した温水プールに代わる市民の水泳場所の確保として、民間室内温水プール利用の業務委託を行った。 [利用状況]（延べ人数） 50mプール 5,929人 - 民間室内温水プール 1,167人 [維持管理概要] - 会計年度任用職員報酬等 1,527千円 - 水道使用料 1,876千円 - プール利用業務委託料 2,803千円 外 ◆ 庁用器具費、工事請負費の皆減及び修繕料の減
10 教育費	学校給食センター維持管理運営事業 【 P233 学校給食管理運営費 】 【 学校給食センター 】	195,945	195,137	199,384	△2.1%	P F I 方式による学校給食センターの施設管理運営を実施することで、安全かつ安定した事業運営を図った。 1 施設管理運営委託料 173,369千円 P F I 事業者への学校給食センター施設管理運営業務委託 [期 間] 令和2年度～令和22年度 [業務内容] 施設管理業務（施設・設備・厨房機器等） 運営業務（調理・搬送） 2 P F I モニタリング支援業務委託料 1,397千円 P F I 事業に係る相談及び各種モニタリング支援業務委託 3 給食センター施設整備費負担金 20,371千円 P F I 方式による学校給食センター整備費の割賦払い [期 間] 令和2年度～令和22年度 ◆ 施設管理運営委託の提供食数が減少したことによる委託料の減

※ 事業欄の下端【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
11 災害復旧費	土木施設災害復旧事業 【 P235 災害復旧事業 】 【 P235 災害復旧事業 (繰越明許費) 】 【 建設課 】	60,001	41,961	29,499	+42.2%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 令和6年9月の豪雨による災害に伴い被災した道路及び河川について、災害復旧工事を実施した。 ※ 一部（国）公共土木施設災害復旧事業 災害復旧工事請負費 1,647千円 応急復旧工事等 1,647千円 ・ 倒木等撤去 393千円（1件） ・ 土砂撤去等 1,254千円（1件） (以下、繰越明許費) 災害復旧工事請負費 40,268千円 ・ 普通河川見物川 河川災害復旧工事（6年災 第4号）（見物地内）外2件 ・ 普通河川巴川 河川災害復旧工事（神余地内） 補償補填及び賠償金 46千円 ・ 普通河川巴川 河川災害復旧工事に伴う電気工作物移設に関する協定に伴う補償費 ◆ 令和6年度とは実施内容が異なることによる増

Ⅱ 特別会計

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）
国民健康 保険特別 会計	レセプト点検委託事業 【 P257 国民健康保険事務費 】 【 市民課 】	2,637	2,012	1,831	+9.9%	医療費支給の適正化を図るため、国民健康保険被保険者の医科・歯科・調剤・訪問看護療養費の診療報酬明細書及び柔道整復施術等療養費支給申請書の点検を委託した。 [レセプト点検の状況] ①診療報酬明細書 年4回点検 173,573件 1,719千円 ②柔道整復施術等療養費支給申請書 年4回点検 2,302件 293千円
国民健康 保険特別 会計	徴収対策事務 【 P259 徴収事務費 】 【 税務課 】	2,204	1,823	1,136	+60.5%	国民健康保険税の徴収率の向上を図るため各種の徴収対策を講ずるとともに、納税者の利便性の向上を図るため納付環境の整備等を実施し、税収の確保に努めた。 国民健康保険税徴収率 78.79%（令和6年度 76.21%） 現年度分 92.80%（令和6年度 92.87%） 滞納繰越分 18.05%（令和6年度 16.16%） 1 口座振替制度の普及率向上及び納期内納付の促進に努めた。 収納件数 12,800件 収納額 299,983千円 2 徴収率の向上と納税者の利便性の向上を図るため、コンビニエンスストア収納、スマホアプリ収納及び地方税統一QRコード（e L-Q R）収納を実施し、税収の確保に努めた。 収納件数 収納額 ① コンビニエンスストア収納 14,463件 260,017千円 ② スマホアプリ収納 774件 15,682千円 ③ QRコード収納 7,708件 203,075千円 ◆ コンビニエンスストア収納委託料改定による1件当たりの単価の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
国民健康 保険特別 会計	療養給付費支給事務 【 P259 療養給付費 】 【 市民課 】	3,407,671	3,315,387	3,296,301	+0.6%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 被保険者が医療機関等において診療を受けた場合、その医療費の原則7割（義務教育就学前は8割、70歳以上は7割または8割）を国保連合会を通じて医療機関等に支払った。 [療養給付費の状況] ① 支給額 3,315,387千円 ② 費用額 170,167件 4,505,623千円 〈内訳〉 ・入院（食事を含む） 2,770件 1,927,730千円 ・入院外 88,982件 1,756,285千円 ・歯科 17,905件 203,687千円 ・調剤 60,510件 617,921千円 ※ 一人当たり費用額 462,827円 ◆ 一件当たり支給額の増加に伴う療養給付費支給額の増
国民健康 保険特別 会計	療養費支給事務 【 P259 療養費 】 【 市民課 】	22,581	22,581	20,310	+11.2%	被保険者が医療機関等において自費で診療を受けた場合や、コルセット等の治療用装具を購入した場合などに、後日その診療等に要した費用のうち、自己負担分を除いた額を支給した。 [療養費の状況] 総件数：2,646件 ◆ 一件当たり支給額の増加に伴う療養費支給額の増
国民健康 保険特別 会計	高額療養費支給事務 【 P261 高額療養費 】 【 市民課 】	597,091	560,849	539,979	+3.9%	被保険者の医療費の自己負担を軽減するため、所得や年齢に応じて定める一定限度額を超える医療費を支払った場合、その超えた金額を支給した。 [高額療養費の状況] 総件数：9,706件 ◆ 一件当たり支給額の増加に伴う高額療養費支給額の増
国民健康 保険特別 会計	葬祭費支給事務 【 P261 葬祭費 】 【 市民課 】	4,500	2,850	4,000	△28.8%	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行った者に5万円を支給した。 [葬祭費の状況] 総件数：57件 ◆ 支給件数の減少に伴う葬祭費支給額の減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
国民健康 保険特別 会計	出産育児一時金支給事務 【 P261 出産育児一時金 】 【 市民課 】	10,500	10,000	8,500	+17.6%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 被保険者の出産等に対し、一時金50万円を支給した。 [出産育児一時金の状況] 総件数：20件 ◆ 支給件数の増加に伴う出産育児一時金支給額の増
国民健康 保険特別 会計	生活習慣病予防事業 【 P263 生活習慣病予防費 】 【 健康課 】	35,078	27,601	27,666	△0.2%	糖尿病等の生活習慣病の発症・重症化を予防するため、内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査・若年健康診査や生活習慣改善のための保健指導を行った。 [主な内容] ① 特定健康診査（40歳以上） 22,967千円 2,617人 ② 若年健康診査（35～39歳） 456千円 53人 ③ 特定保健指導 4,179千円（動機づけ支援121件 積極的支援30件）
国民健康 保険特別 会計	短期人間ドック補助事業 【 P263 疾病予防費 】 【 市民課 】	5,200	4,720	4,418	+6.8%	疾病の早期発見、早期治療のため40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック等の検査費用の7割（限度額2万円）を補助し、被保険者の健康保持増進を図った。 [短期人間ドック補助金の状況] 総件数：236件
後期高齢 者医療特 別会計	後期高齢者医療広域連合納付金支払事務 【 P281 後期高齢者医療 広域連合納付金 】 【 市民課 】	965,659	959,630	915,466	+4.8%	千葉県後期高齢者医療広域連合に対し、後期高齢者医療保険基盤安定負担金及び後期高齢者医療保険料等負担金を納付した。 ・ 後期高齢者医療保険基盤安定負担金 186,581千円 ・ 後期高齢者医療保険料等負担金 773,049千円 ◆ 被保険者数の増加に伴う負担金の増
介護保険 特別会計	介護認定事業 【 P303 介護認定審査会運営費 】 【 P303 介護認定調査費 】 【 高齢者福祉課 】	82,533	67,621	63,983	+5.7%	介護認定審査会の運営及び介護認定調査に係る事務経費。 1 介護認定審査会委員報酬 10,871千円 2 会計年度任用職員報酬等（介護認定調査員） 43,744千円 3 医師意見書作成料・介護認定用健康診断手数料 12,794千円 4 要介護認定調査委託料 120千円 5 その他（駐車場使用料） 16千円 外 ◆ 会計年度任用職員報酬等の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
介護保険 特別会計	居宅介護サービス等給付費 【 P303 居宅介護サービス等 給付費 】 【 高齢者福祉課 】	5,787,500	5,350,645	5,263,874	+1.6%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 要介護1～5と認定された被保険者に対して適正な保険給付を行った。 [給付額（総件数）] ① 居宅介護サービス給付費 1,837,886千円（41,973件） ② 地域密着型介護サービス給付費 1,019,263千円（8,905件） ③ 施設介護サービス給付費 2,215,903千円（7,960件） ④ 居宅介護福祉用具購入費 6,432千円（218件） ⑤ 居宅介護住宅改修費 8,577千円（114件） ⑥ 居宅介護サービス計画給付費 262,583千円（19,008件） ◆ 居宅介護サービス・施設介護サービス・居宅介護福祉用具購入にかかる給付費の増
介護保険 特別会計	介護予防サービス等給付費 【 P305 介護予防サービス等 給付費 】 【 高齢者福祉課 】	136,000	114,534	117,198	△2.3%	要支援と認定された被保険者に対して適正な保険給付を行った。 [給付額（総件数）] ① 介護予防サービス給付費 84,601千円（5,911件） ② 地域密着型介護予防サービス給付費 796千円（11件） ③ 介護予防福祉用具購入費 1,835千円（64件） ④ 介護予防住宅改修費 5,361千円（74件） ⑤ 介護予防サービス計画給付費 21,940千円（4,771件） ◆ 介護予防サービス・介護予防サービス計画にかかる給付費の減
介護保険 特別会計	高額介護(予防)サービス費 【 P305 高額介護サービス費 】 【 P305 高額介護予防サービス 費 】 【 高齢者福祉課 】	141,838	141,831	136,881	+3.6%	介護（予防）サービスの利用に係る自己負担額（1割、2割または3割）が上限を超える場合にその超過分を支給した。 [給付額（総件数）] ① 高額介護サービス費 141,755千円（11,387件） ② 高額介護予防サービス費 76千円（93件） ◆ 高額介護サービス費の支給件数の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
介護保険 特別会計	高額医療合算介護(予防)サービス費 【 P305 高額医療合算 介護サービス費 】 【 P305 高額医療合算介護予防 サービス費 】 【 高齢者福祉課 】	17,050	16,853	14,573	+15.6%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 医療費と介護サービス費の自己負担額が一定の額を超える場合にその超過分を支給した。 [給付額（総件数）] ① 高額医療合算介護サービス費 16,806千円（586件） ② 高額医療合算介護予防サービス費 47千円（ 9 件） ◆ 高額医療合算介護サービス費の支給件数の増
介護保険 特別会計	特定入所者介護(予防)サービス費 【 P307 特定入所者介護 サービス費 】 【 P307 特定入所者介護予防 サービス費 】 【 高齢者福祉課 】	134,292	126,585	120,086	+5.4%	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院の入所者及びショートステイ利用者の食費・居住費について、所得の少ない要介護者への補足給付を行った。 [給付額（総件数）] ① 特定入所者介護サービス費 126,583千円（4,616件） ② 特定入所者介護予防サービス費 2千円（ 1 件） ◆ 特定入所者介護サービス費の増
介護保険 特別会計	介護予防・日常生活支援総合事業 【 P307 介護予防・生活支援 サービス事業費 】 【 P307 介護予防ケア マネジメント事業費 】 【 P307 介護予防普及啓発 事業費 】 【 P307 地域介護予防活動 支援事業費 】 【 P309 地域リハビリテーション 活動支援事業費 】 【 高齢者福祉課 】	162,400	157,806	148,730	+6.1%	地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参加し、多様なサービスを充実することにより、地域の支えあいの体制づくりを推進し、介護保険の要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指し取り組んだ。 1 介護予防・生活支援サービス事業 137,095千円 2 介護予防ケアマネジメント事業 14,118千円 3 介護予防普及啓発事業 0千円 4 地域介護予防活動支援事業 6,220千円 5 地域リハビリテーション活動支援事業 373千円 ◆ 要支援者に対する給付費の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
介護保険 特別会計	地域包括支援事業 【 P309 地域包括支援事業費 】 【 高齢者福祉課 】	90,825	89,599	90,469	△1.0%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が続けられるよう、介護、福祉、健康、医療等の面から総合的に支援していく拠点として、市内4箇所に「地域包括支援センター」を設置・運営委託した。/保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門的なスタッフを配置し、互いに連携をとり、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務などを行った。 1 総合相談事業委託料 27,750千円 2 権利擁護事業委託料 8,538千円 3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業委託料 52,963千円 4 地域包括支援センター運営協議会 117千円 外
介護保険 特別会計	地域包括ケアシステム構築事業 【 P309 在宅医療・介護連携推進 事業費 】 【 P309 生活支援体制整備 事業費 】 【 P309 認知症総合支援事業費 】 【 高齢者福祉課 】	16,539	11,529	11,659	△1.1%	介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが、一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築を目指し取り組んだ。 1 在宅医療・介護連携の推進 20千円 2 生活支援サービスの体制整備 7,575千円 3 認知症施策の推進 3,934千円
介護保険 特別会計	地域支援事業（任意事業分） 【 P311 家族介護支援事業費 】 【 P311 地域支援事業費 】 【 高齢者福祉課 】	28,073	21,612	20,241	+6.8%	1 低所得の高齢者に対し家族介護用品を支給することにより、家族介護負担の軽減を図った。 ① 家族介護支援事業委託料 16千円 ② 家族介護用品支給扶助費 1,783千円 2 高齢者に対し配食サービスを行うことにより、食生活の改善及び健康の増進を図るとともに 安否の確認を行い、高齢者の福祉の増進を図った。 ① 口座振替委託料 6千円 ② 配食サービス事業委託料 17,408千円 3 成年後見人等への報酬を扶助することにより、高齢者福祉の増進を図った。 ① 成年後見制度利用助成費 1,854千円 ◆ 家族介護用品及び配食サービスの単価の増

地方自治法第241条第5項の規定による定額運用基金の運用状況調書

基 金 名	主 要 な 施 策 の 成 果			
土 地 開 発 基 金	令和7年度において、根岸公園再整備事業用地及び都市計画道路船形館山線道路整備事業用地として用地の先行取得を行った。また、当該年度中による買戻しを行ったほか、基金の運用利子相当額を積み立てた。 土 地 購 入 4,973千円 (146.65㎡) 土 地 売 却 (一般会計へ) 2,903千円 (86.65㎡) [参 考] 一般会計からの繰入金 (利子相当額) 232千円 令和6年度末基金残高 100,833千円 令和7年度末基金残高 98,995千円			
文 化 振 興 基 金	令和7年度において、本基金によって展示資料の購入・売却はなかった。 博物館展示資料購入 該当なし [参 考] 博物館展示資料売却 該当なし 令和6年度末基金残高 30,000千円 令和7年度末基金残高 30,000千円			
看護師等修学資金 貸 付 基 金	将来安房郡市内において看護師等の業務に従事しようとする修学者に対し、修学資金の貸し付けを行い、看護師等の人材の育成を図った。 貸 付 金 (6 人) 2,160千円 返 還 金 (5 人) 3,450千円 [参 考] 減 免 措 置 額 (2 人) 1,860千円 令和6年度末基金残高 99,986千円 一般会計からの繰入金 (利子相当額及び寄附金) 7,169千円 令和7年度末基金残高 105,295千円			

目的税（入湯税・都市計画税）の使途に関する説明書

1 入湯税

入湯税は、地方税法第701条の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるため、課税するものとされている。館山市においては、地方税法に基づく館山市市税条例の規定により、鉱泉浴場における入湯に対し一人一日150円（宿泊を伴わない場合は50円）を課税しており、令和7年度決算における収入済額は、3,555万3千円となっている。

一方、入湯税を充当すべき事業については、環境衛生施設整備事業、消防用建物整備事業や消防自動車整備事業などの消防施設整備事業、観光地整備事業や観光イベントの開催などの観光振興事業があり、令和7年度決算における事業費総額は、2億6,349万8千円となっている。これらの事業に対し、入湯税として収入した3,555万3千円を、また、入湯税を積立てている観光振興基金の繰入金3,907万9千円を充当し、環境衛生施設及び消防施設整備の充実と観光振興を図った。

（1）令和7年度入湯税について

（単位：千円）

款	項	予 算 現 額	収 入 済 額
1 市税	9 入湯税	30,626	35,553

（2）令和7年度入湯税充当事業について

（単位：千円）

事業区分	事 業 内 容 等	事業費 総額	財 源 内 訳					
			国 県 支出金	地方債	その他	うち観光振興基金	一般財源	うち入湯税
環境衛生施設整備事業	一般廃棄物処理施設の整備を行い、廃棄物処理に努めた。	34,138	158	24,400	0		9,580	1,169
消防施設整備事業	消防車両、消火栓及び消防団詰所等の整備を行い、消防力の充実を図った。	67,140	3,562	32,200	0		31,378	3,831
観光振興事業	観光地の整備や観光イベントの開催など、観光振興の発展に努めた。	89,971	9,990	0	43,686	39,079	36,295	4,317
観光振興基金へ積立	観光振興に資する事業の財源とするため、館山市観光振興基金へ積立を行った。	72,249	0	0	46,013		26,236	26,236
合 計		263,498	13,710	56,600	89,699	39,079	103,489	35,553

2 都市計画税

都市計画税は、地方税法第702条第1項の規定により、都市計画法に基づいて行う都市計画事業に要する費用に充てるため、課税することができるものとされている。館山市においては、地方税法に基づく館山市市税条例の規定により、都市計画区域として設定された市域全域のうち、農業振興地域の整備に関する法律第8条の規定により定められた農用地区域以外の区域内に所在する土地及び家屋に対して、税率0.3%で課税しており、令和7年度決算における収入済額は、5億2,105万8千円となっている。

一方、都市計画税を充当すべき都市計画事業については、館山都市計画道路事業、館山都市計画下水道事業及び過去に実施した都市計画事業に係る地方債償還があり、令和7年度決算における事業費総額は、4億4,436万3千円となっている。これらの事業の一般財源に対し、都市計画税として収入した4億3,515万円を充当し、都市基盤の充実と高質な生活環境の創出を図った。

なお、都市計画税収入済額と事業費への充当額の差額8,590万8千円については、都市計画事業基金へ積立て、当該事業の財源として活用する。

(1) 令和7年度都市計画税について

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	収 入 済 額
1 市税	10 都市計画税	513,220	521,058

(2) 令和7年度都市計画事業について

(単位：千円)

都市計画事業の種類 及び名称等	事業内容等	都市計画事業に要した経費					
		事業費 総額	財 源				内 訳
			国 県 支出金	地方債	その他	一般財源	
館山都市計画道路事業 船形館山線道路整備事業	船形館山線の整備を推進した。	81,807	7,513	1,700		72,594	72,594
館山都市計画下水道事業 館山市第1号公共下水道	公共下水道事業に対し充当した。	281,134				281,134	281,134
地方債償還（一般会計分）	過去に実施した都市計画事業に係る地方債償還を行った。	81,422				81,422	81,422
合 計		444,363	7,513	1,700		435,150	435,150

差額（税収入済額 — 事業充当額）：翌年度繰越額	85,908
--------------------------	--------

森林環境譲与税の使途に関する説明書

森林環境譲与税（平成31年4月1日施行）は、その使途について森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第1項の規定により、「森林の整備に関する施策」及び「森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進その他の森林の整備の促進に関する施策」に要する費用に充てるものとされている。館山市における森林環境譲与税の令和7年度決算額は1,006万9千円となっている。

一方、森林環境譲与税を充当すべき事業については、森林管理事業及び館山小学校統合改修事業があり、令和7年度決算における事業費総額は、7億596万5千円となっている。これらの事業に対し、森林環境譲与税として収入した1,006万9千円を充当し、財源確保を図った。

(1) 令和7年度 森林観光譲与税について (単位：千円)

款	項	予 算 現 額	収 入 済 額
2 地方譲与税	3 森林環境譲与税	9,740	10,069

(2) 令和7年度 森林環境譲与税充当事業について (単位：千円)

事 業 区 分	事 業 内 容 等	事業費総額	財 源 内 訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち森林環境譲与税
森林管理事業	自然災害や病害虫による被害から森林機能の保全を図るための補助事業を実施するとともに、森林クラウドの活用や千葉県森林経営管理協議会への参加により、効率的な事業の推進を図った。	568				568	568
館山小学校統合改修事業	館山小学校統合改修工事に伴う国産木材活用の財源とするため、森林環境譲与税を充当した。	705,397	172,082	485,200	28,049	20,066	9,501
合 計		705,965	172,082	485,200	28,049	20,634	10,069

消費税率引上げ分に係る地方消費税交付金の使途に関する説明書

平成26年4月1日から消費税率（国・地方）は、段階的に引き上げられたが、その趣旨は、今後も増加が見込まれる「社会保障4経費」（年金、医療及び介護の社会保障給付費並びに少子化に対処する施策に要する経費）の財源確保にあることから、その使途について地方税法により「社会保障施策に要する経費」に充てるものとされている。

館山市における地方消費税交付金の令和7年度決算額は12億8,088万3千円であり、そのうち「社会保障施策に要する経費」に充てるものとされている額は、6億6,442万4千円となり、その使途については以下のとおりである。

（1）令和7年度 地方消費税交付金予算

（単位：千円）

款	項	予算現額	収入済額
6 地方消費税交付金	1 地方消費税交付金	1,300,000（うち社会保障財源化分668,000）	1,280,883（うち社会保障財源化分664,424）

（2）令和7年度 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

（単位：千円）

事業区分	事業概要	事業費 総額	財 源 内 訳			
			国県 支出金	地方債	その他	一般財源 うち地方消費 税交付金
障害者福祉	障害自立支援給付費、障害地域生活支援費、障害医療給付費 など	1,995,293	1,385,273	0	60	609,960 101,293
高齢者福祉	日常生活支援費、高齢者措置費 など	126,341	1,342	0	33,192	91,807 15,246
児童福祉	子育て支援対策費、子ども医療費助成金、保育所・こども園関連費 など	2,625,121	1,247,708	78,000	356,083	943,330 156,654
生活保護	生活困窮者自立支援費、自立支援費、生活保護費	1,209,400	843,682	0	36,798	328,920 54,622
社会保険	国民健康保険特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金	2,109,443	355,662	0	0	1,753,781 291,240
保健衛生	母子健康診査費、地域医療体制推進費、各種検診費、予防接種費 など	337,544	23,360	0	40,983	273,201 45,369
合 計		8,403,142	3,857,027	78,000	467,116	4,000,999 664,424

令和 7 年 度

館山市下水道事業会計

決算参考資料

下水道事業会計

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び目・節

(単位：千円)

会計	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）						
収益的収入及び支出						
1 款：下水道事業費用						
1 項：営業費用						
	鏡ヶ浦クリーンセンター維持管理 業務包括的民間委託事業 【 P350・351 】 【 2 目：処理場・ポンプ施設費 】	99,000	99,000	99,000	0.0%	鏡ヶ浦クリーンセンターの施設管理、設備の保守点検、各種消耗品や資材等の調達に加え、施設の簡易修繕の実施までを業務委託内容に含むことにより、受託者の持つ技術を最大限に活用し、業務の効率化及び維持管理に係る費用の削減を図った。 ・ 鏡ヶ浦クリーンセンター維持管理業務包括的民間委託料 99,000千円 委託業者：ミザック(株)千葉支店 委託期間：令和5年4月～令和10年3月
	下水道使用料賦課徴収業務委託事業 【 P350・351 】 【 4 目：業務費 】	5,752	5,575	4,924	+13.2%	下水道使用料の収納事務を民間に委託し、業務の効率化及び収納率の向上を図った。 1 下水道使用料賦課徴収業務委託 委託期間：令和7年4月～令和8年3月 2 コンビニエンスストア収納事務委託 件数：4,849件／年（コンビニ納付分） 件数：1,046件／年（スマホアプリ納付分）

下水道事業会計

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び目・節

(単位：千円)

会計	事業	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	決算額 増減比	説 明
◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）						
資本的収入及び支出						
1 款：資本的支出						
1 項：建設改良費						
	公共下水道整備事業 【 P356・357 】 【 1 目：管渠費 】 【 節：工事請負費・材料費 】	10,561	9,575	13,585	△29.5%	公共下水道による衛生的で快適な住環境の確保、海や川の水質汚濁防止に努めた。 ・ 公共下水道普及のための枝線管渠工事請負費 3,845千円 整備件数 11件 ・ その他（マンホールの蓋交換等） 5,730千円 ◆ 令和6年度とは工事内容等が異なることによる減
	処理場・ポンプ施設関係委託事業 【 P356・357 】 【 2 目：処理場・ポンプ施設費 】	30,000	25,890	56,280	△54.0%	鏡ヶ浦クリーンセンターの耐震実施計画、ストックマネジメント計画に基づき、管理棟の耐震補強詳細設計と再構築詳細設計を行った。 ・ 鏡ヶ浦クリーンセンター実施設計業務委託 委託業者：地方共同法人 日本下水道事業団 委託金額：25,890千円 委託期間：令和7年4月28日～令和8年3月6日 ◆ 令和6年度とは委託内容が異なることによる減
	固定資産購入費 【 P356・357 】 【 3 目：固定資産購入費 】	8,950	8,809	5,757	+53.0%	鏡ヶ浦クリーンセンターの老朽化した機械及び計装設備を更新し、施設の安定稼働及び延命化を図った。 [対象機械] 1 ガス検知器更新 253千円 2 ジブクレーン更新 3,135千円 3 汚泥棟高圧ケーブル更新 1,285千円 4 汚泥棟床排水ポンプ更新 1,452千円 5 場外マンホールポンプ更新 2,684千円 ◆ 令和6年度とは購入資産が異なることによる増